

鈴鹿市男女共同参画に関する アンケート調査結果報告書

平成22年3月

鈴 鹿 市

はじめに

男女共同参画社会基本法は、少子高齢化の進展、国内経済活動の成熟化等我が国の社会経済情勢の急速な変化に対応していく上で、男女が、互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現は、21世紀の我が国社会を決定する最重要課題と位置付けています。

鈴鹿市では、平成9年に男女共同参画プランを策定し、平成14年には男女共同参画センターを設置、平成17年に男女共同参画プランを改定、平成18年には男女共同参画推進条例を制定し、男女共同参画社会の実現に向けて積極的に取り組んでまいりました。

しかし、多くの組織において、意思決定が男性中心に行われるなど、性別によって男女の役割を固定的に分ける社会制度や慣行が根強く残っており、男女共同参画社会はまだ実現できていない状況です。

そこで、男女共同参画に関する市民の生活実態や意識について調査するため、「男女共同参画に関するアンケート調査」を実施いたしました。今後、この調査を踏まえ、男女共同参画社会の実現に向けて取り組んでまいります。

また、この報告書が、関係機関はもとより、多くの市民の皆様方に御活用いただければ幸いです。

最後に、本調査の実施にあたり御協力を賜りました市民の皆様と関係者の方々に厚くお礼を申し上げます。

平成22年3月

鈴鹿市長 川岸光男

目次

I 調査の概要

1-1	調査の目的	1
1-2	調査の設計及び有効回収数	1
1-3	報告書の見方	2

II 調査結果

1 回答者の属性

1-1	性別	3
1-2	年齢	4
1-3	職業	4
1-4	居住地区	5
1-5	結婚の有無	6
1-6	配偶者の職業	6
1-7	子どもの有無	7
1-8	一番下の子どもの状況	8
1-9	家族構成	8

2 男女平等意識について

2-1	「男女共同参画」という言葉の認知度	9
2-2	分野別男女の地位評価	10
2-3	「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方について	13

3 家庭生活について

3-1	男女の家事分担の理想	14
3-2	出生率低下の原因	15
3-3	子育ての環境	17
3-4	子育てについての考え方	18
3-5	子育てに対する意見	19
3-6	子どもの将来の理想	21
3-7	手助けが必要な高齢者の有無	23
3-8	主に介護をする人	24
3-9	介護者の多くが女性であることについて	26
3-10	介護を依頼したい人	28

4 就労・職業について	
4-1 収入を伴う仕事について	30
4-2 就労意向の有無	31
4-3 就労形態の希望	32
4-4 女性の職業へのかかわり方	33
4-5 女性の就労の障がいについて	35
5 社会活動について	
5-1 地域における社会活動について	37
5-2 男女が家事・子育て等に積極的に参加するために必要なこと	39
6 女性の人権について	
6-1 女性の人権について	41
6-2 メディアにおける性・暴力表現について	43
6-3 ドメスティック・バイオレンス行為の認知度	45
6-4 セクシュアル・ハラスメントやストーカー行為の認知度	47
6-5 ドメスティック・バイオレンスやセクシュアル・ハラスメント、 ストーカー行為などを受けたときに相談できる機関の認知度	49
6-6 女性に対する暴力をなくすために必要なこと	51
7 男女共同参画社会について	
7-1 見たり聞いたりしたことがある言葉	53
7-2 政治や行政での政策企画や方針決定の過程に女性の参画が少ない理由	55
7-3 仕事・家事・プライベートの優先度の希望と現実	57
7-4 男女共同参画社会を実現するために必要なこと	59
7-5 男女共同参画を推進するために県や市が力を入れるべきこと	61
8 鈴鹿市男女共同参画センター「ジェフリーすずか」について	
8-1 鈴鹿市男女共同参画センター「ジェフリーすずか」の認知度	63
8-2 鈴鹿市男女共同参画センターの利用について	64
8-3 鈴鹿市男女共同参画センターのホームページの閲覧の有無	65
8-4 鈴鹿市男女共同参画センターに充実してほしいこと	66
9 男女共同参画に関する意見について	68
Ⅲ 参考資料（アンケート調査用紙）	83

I 調査の概要

1 調査の概要

1-1 調査の目的

本調査は、鈴鹿市男女共同参画基本計画平成22年度～平成26年度版の策定に際し、市民の意識や実態、ニーズ等を把握し、今までのプランに対する評価の基礎データ収集を目的として実施した。

1-2 調査の設計及び有効回収数

①一般調査

調査対象：鈴鹿市に居住する満20歳以上の男女

標本数：3,000

調査方法：郵送配布，郵送回収

調査時期：平成21年5月19日～6月6日

有効回収数：1,335件（有効回収率44.5%）

1-3 報告書の見方

- ①比率はすべてパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。このため、合計が100%にならないこともある。
- ②基数となるべき実数は、件数として掲載した。したがって比率は、件数を100%として算出している。
- ③複数回答が可能な質問の場合は、その項目を選んだ人が、回答者全体のうち何%なのかという見方をする。このため、各項目の比率の合計は通常100%を超える。
- ④本報告書中の文章、表、グラフ等の見出しの回答選択肢は、本来の意味を損なわない程度に省略・変更して掲載している場合がある。
- ⑤性・年代別の集計について
一般調査及び就業者調査の性・年代別集計で、属性により件数が10件以下のものについては、標本誤差が大きいため、分析の対象から除いている。
- ⑥調査結果分析の中で、今回の調査結果と前回の鈴鹿市、三重県、国の調査結果との比較を盛り込んでいる。比較調査の詳細及び比較している調査項目は以下のとおりである。

※前回の鈴鹿市調査結果：平成16年1月「男女共同参画に関するアンケート調査」

※県の調査結果：平成18年3月「男女共同参画に関する県民意識と生活基礎調査」

※国の調査結果：平成19年8月「男女共同参画社会に関する世論調査」

1-4 調査内容

調査項目	
1	回答者の属性
2	男女平等意識について
3	家庭生活について
4	就労・職業について
5	社会活動について
6	女性の人権について
7	男女共同参画社会について
8	鈴鹿市男女共同参画センター「ジェフリーすずか」について
9	男女共同参画に関する意見について

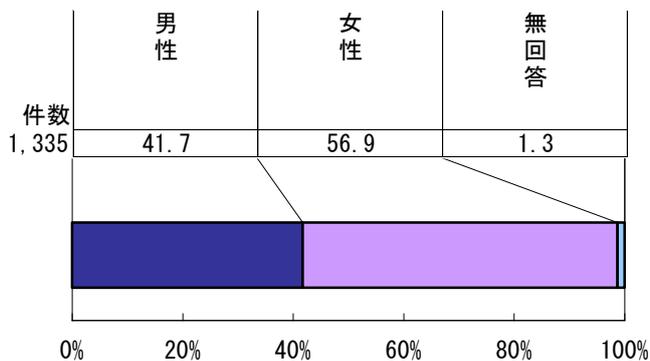
II 調査結果

1 調査対象者の属性

(1) 回答者

問A あなたの性別は。

◆ 回答者の性別は、「男性」が41.7%、「女性」が56.9%となっている。



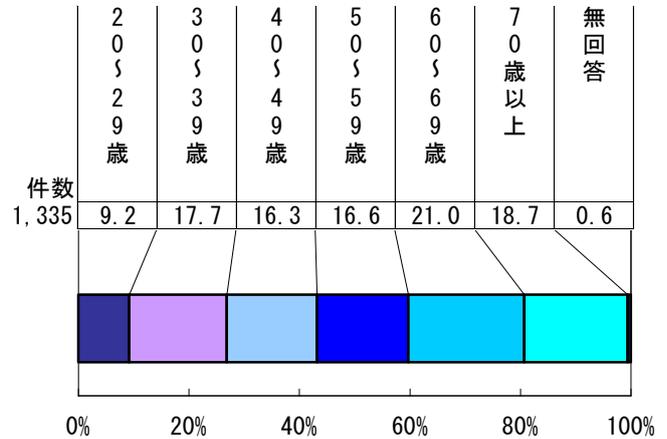
◆ 年代別にみると、「30～39歳」と「50～59歳」で女性の比率が高いものの、その他の年代では、全体と同じような構成比となっている。

	全体	男性	女性	無回答
全体	1335 100.0	557 41.7	760 56.9	18 1.3
20～29歳	123 100.0	57 46.3	66 53.7	-
30～39歳	236 100.0	85 36.0	151 64.0	-
40～49歳	217 100.0	91 41.9	126 58.1	-
50～59歳	221 100.0	83 37.6	138 62.4	-
60～69歳	280 100.0	132 47.1	144 51.4	4 1.4
70歳以上	250 100.0	107 42.8	132 52.8	11 4.4

(2) 年齢

問B あなたの年齢は。

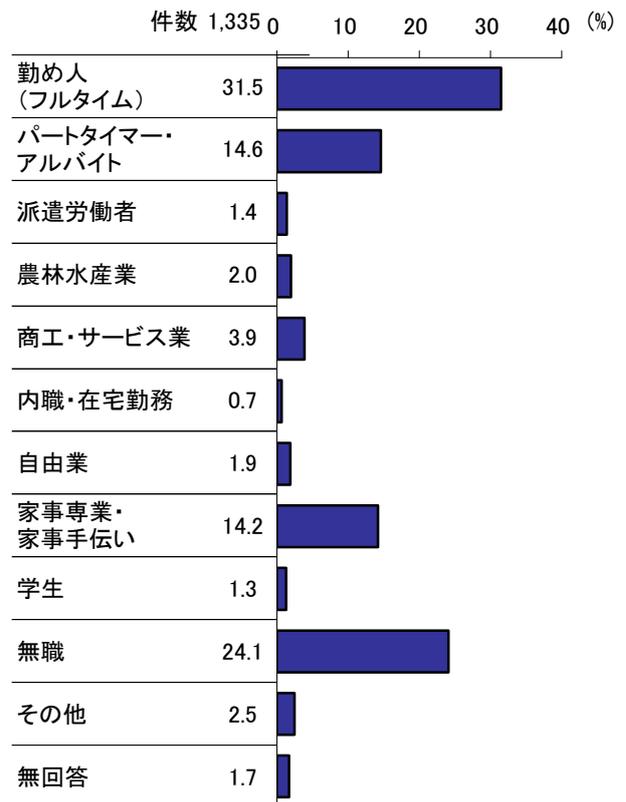
- ◆ 回答者の年齢構成は、「60～69歳」が21.0%と最も多く、「20～29歳」は9.2%と最も少なくなっている。



(3) 職業

問C あなたの職業は（産前・産後休暇，育児休業中の人も，働いているものとみなします）。

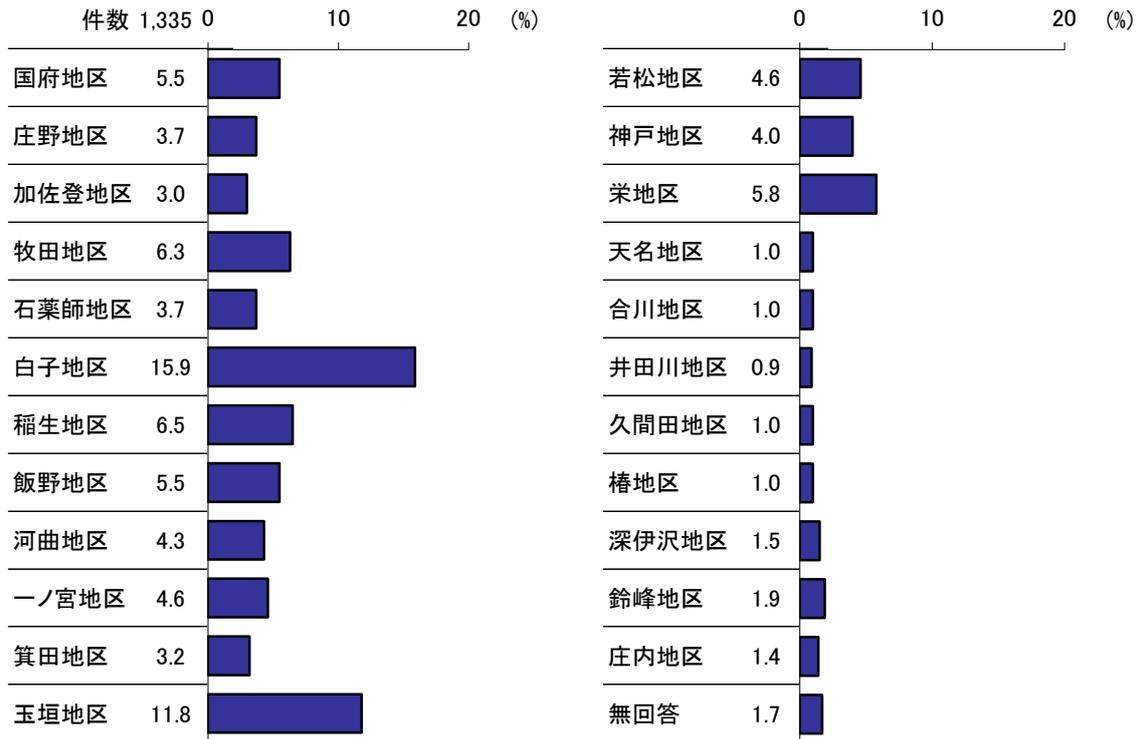
- ◆ 回答者の職業は、「勤め人」が31.5%と最も多く、次いで「無職」が24.1%、「パートタイマー・アルバイト」が14.6%、「家事専業・家事手伝い」が14.2%と続いている。



(4) 居住地区

問D あなたの居住地区は。

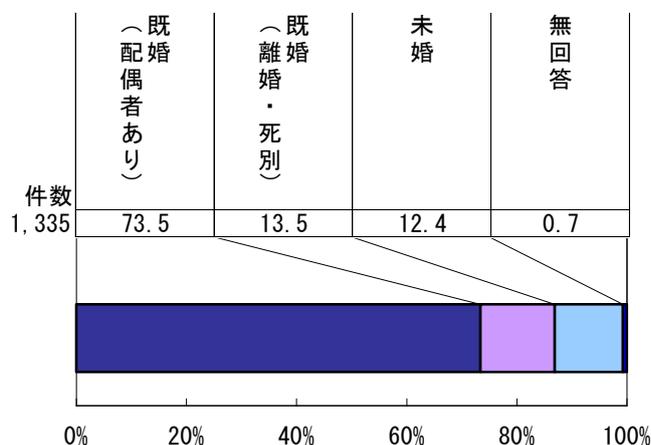
- ◆ 回答者の居住地区は、「白子地区」が15.9%と最も多く、次いで「玉垣地区」が11.8%、「稲生地区」が6.5%、「牧田地区」が6.3%と続いている。



(5) 結婚の有無

問E あなたは結婚していますか。

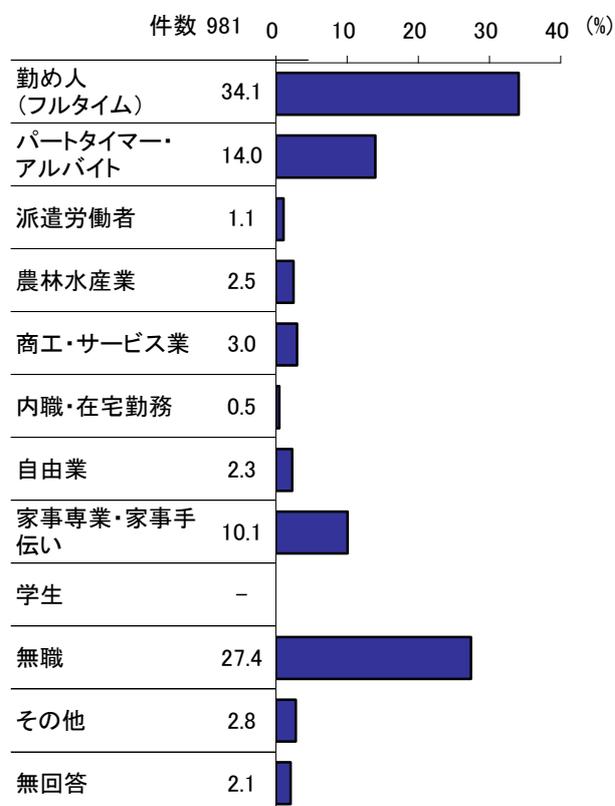
- ◆ 回答者の結婚の有無は、「既婚（配偶者あり）」が73.5%と最も多く、次いで「既婚（離婚・死別）」が13.5%、「未婚」は12.4%となっている。



(6) 配偶者の職業

問F 配偶者の職業は。

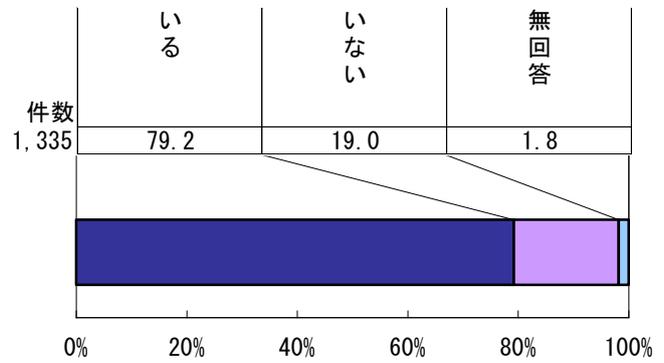
- ◆ 回答者の配偶者の職業は、「勤め人」が34.1%と最も多く、次いで「無職」が27.4%、「パートタイマー・アルバイト」が14.0%、「家事専業・家事手伝い」が10.1%と続いている。



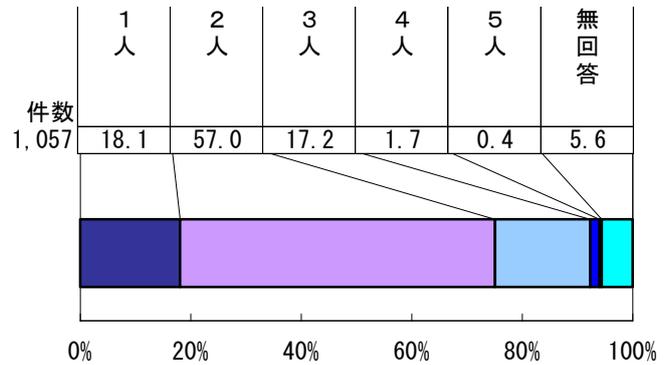
(7) 子どもの有無・人数

問G あなたにお子さんはいますか。

- ◆ 回答者のお子さんの有無は、「いる」が79.2%で「いない」が19.0%となっている。



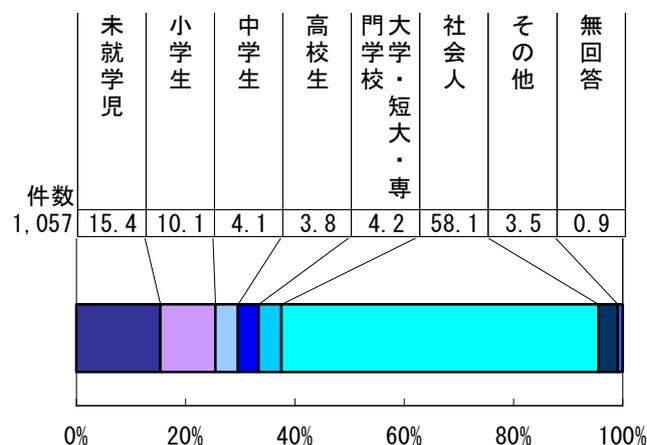
- ◆ お子さんがいると回答した人にお子さんの人数を聞いたところ、「2人」が57.0%と最も多く、次いで「1人」が18.1%、「3人」が17.2%と続いている。



(8) 子どもの年齢

問H 一番下のお子さんの年頃は。

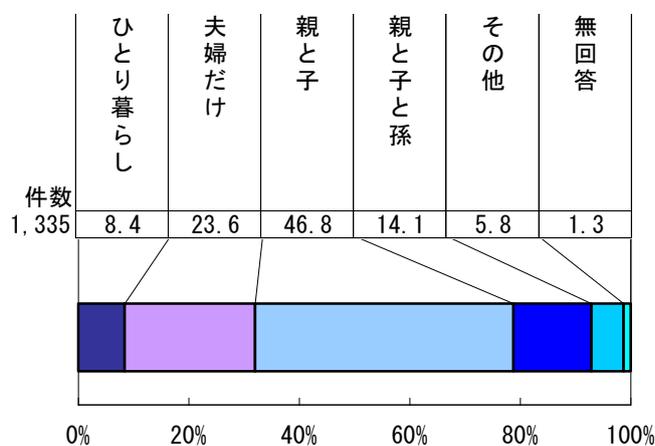
- ◆ 回答者の一番下のお子さんの年齢は、「社会人」が58.1%と最も多く、次いで「未就学児」が15.4%、「小学生」が10.1%と続いている。



(9) 家族構成

問I あなたのお宅の家族構成は。

- ◆ 回答者の家族構成は、「親と子」が46.8%と最も多く、次いで「夫婦だけ」が23.6%、「親と子と孫」が14.1%と続いている。

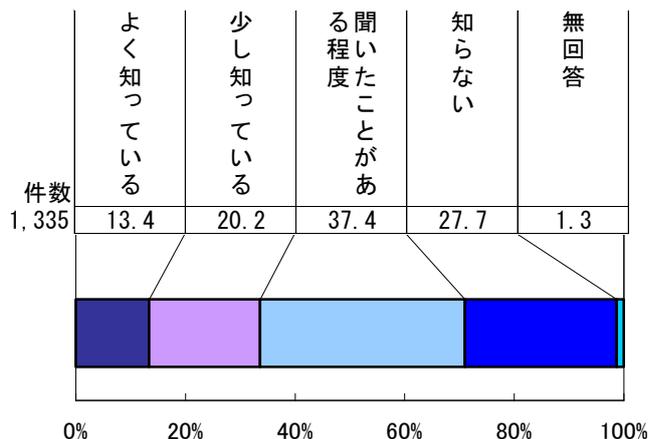


2 男女平等意識について

(1) 「男女共同参画」という言葉の認知度

問1 あなたは、「男女共同参画」という言葉を知っていますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

- ◆ 「男女共同参画」の認知度については、「聞いたことがある程度」が37.4%で最も多く、次いで「知らない」(27.7%)、「少し知っている」(20.2%)となっている。



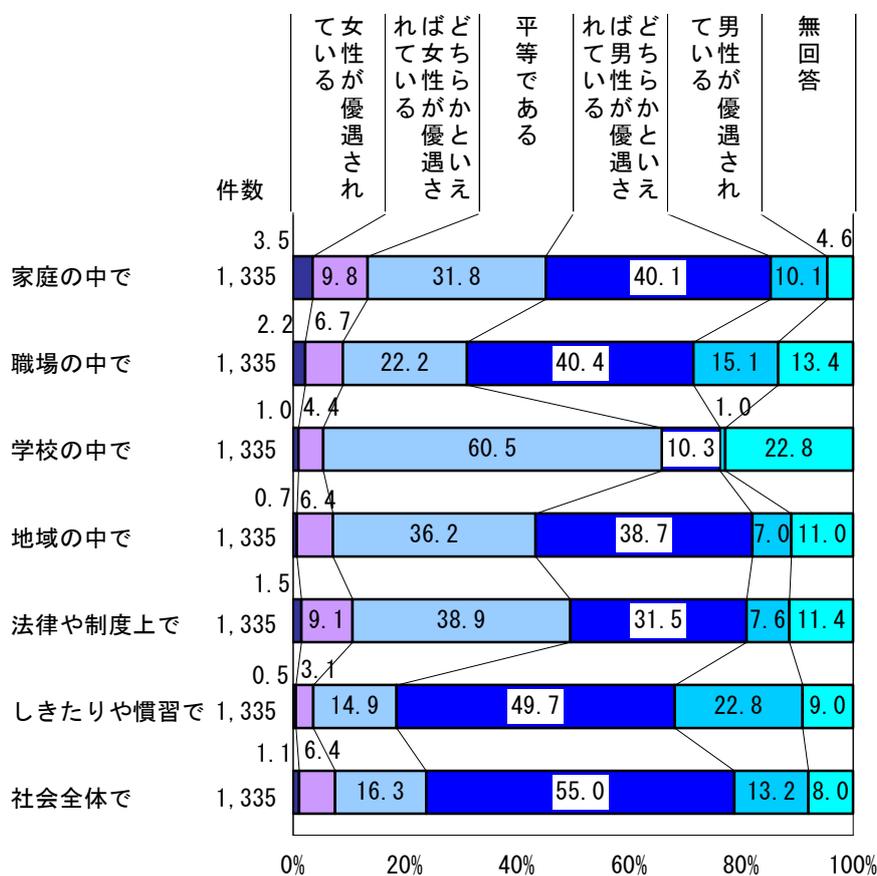
- ◆ 性・年代別にみると、男性の40歳代以上と女性の30歳代から60歳代で「聞いたことがある程度」が最も多く、どの年代においても、「よく知っている」が非常に低くなっている。

		全体	よく知っている	少し知っている	聞いたことがある程度	知らない	無回答
全体		1335	179	270	499	370	17
		100.0	13.4	20.2	37.4	27.7	1.3
男性	20～29歳	57	5	7	22	23	-
		100.0	8.8	12.3	38.6	40.4	-
	30～39歳	85	4	12	34	35	-
		100.0	4.7	14.1	40.0	41.2	-
	40～49歳	91	9	19	34	29	-
		100.0	9.9	20.9	37.4	31.9	-
	50～59歳	83	17	18	30	17	1
	100.0	20.5	21.7	36.1	20.5	1.2	
60～69歳	132	29	36	41	25	1	
	100.0	22.0	27.3	31.1	18.9	0.8	
70歳以上	107	18	28	33	26	2	
	100.0	16.8	26.2	30.8	24.3	1.9	
女性	20～29歳	66	7	9	23	26	1
		100.0	10.6	13.6	34.8	39.4	1.5
	30～39歳	151	16	22	68	44	1
		100.0	10.6	14.6	45.0	29.1	0.7
	40～49歳	126	13	30	48	34	1
		100.0	10.3	23.8	38.1	27.0	0.8
	50～59歳	138	20	29	55	33	1
	100.0	14.5	21.0	39.9	23.9	0.7	
60～69歳	144	22	30	66	25	1	
	100.0	15.3	20.8	45.8	17.4	0.7	
70歳以上	132	17	27	39	46	3	
	100.0	12.9	20.5	29.5	34.8	2.3	

(2) 分野別男女の地位評価

問2 あなたは、次にあげる分野において男女の地位が平等になっていると思いますか。各項目ごとにそれぞれ1つ選んで○印をつけてください。

- ◆ 分野別の男女の地位については、「家庭の中で」「職場の中で」「地域の中で」「しきたりや慣習で」「社会全体で」において、「どちらかといえば男性が優遇されている」が最も多くなっており、「しきたりや慣習で」においては、「男性が優遇されている」が2番目に多くなっている。また、「学校の中で」「法律や制度上で」において、「平等である」が最も多くなっている。
- いずれの分野においても、「女性が優遇されている」「どちらかといえば女性が優遇されている」の割合は低くなっている。



- ◆ 男女別にみると、男性では「家庭の中で」「学校の中で」「地域の中で」「法律や制度上で」において、「平等である」が最も多くなっており、「職場の中で」「しきたりや習慣で」「社会全体で」において、「男性が優遇されている」が多くなっている。女性では「学校の中で」において、「平等である」が多くなっており、「家庭の中で」「職場の中で」「地域の中で」「法律や制度上で」「しきたりや習慣で」「社会全体で」では「どちらかといえば男性が優遇されている」が多くなっている。

男性	全体	い 女 性 が 優 遇 さ れ て	い 女 性 が 優 遇 さ れ て ど ち ら か と い え ば	平 等 で あ る	い 男 性 が 優 遇 さ れ て ど ち ら か と い え ば	い 男 性 が 優 遇 さ れ て	無 回 答
家庭の中で	557 100.0	22 3.9	52 9.3	230 41.3	194 34.8	40 7.2	19 3.4
職場の中で	557 100.0	19 3.4	55 9.9	148 26.6	206 37.0	63 11.3	66 11.8
学校の中で	557 100.0	10 1.8	34 6.1	357 64.1	30 5.4	3 0.5	123 22.1
地域の中で	557 100.0	7 1.3	53 9.5	250 44.9	188 33.8	11 2.0	48 8.6
法律や制度上で	557 100.0	13 2.3	71 12.7	277 49.7	129 23.2	17 3.1	50 9.0
しきたりや習慣で	557 100.0	4 0.7	23 4.1	118 21.2	303 54.4	72 12.9	37 6.6
社会全体で	557 100.0	12 2.2	56 10.1	133 23.9	285 51.2	37 6.6	34 6.1

女性	全体	い 女 性 が 優 遇 さ れ て	い 女 性 が 優 遇 さ れ て ど ち ら か と い え ば	平 等 で あ る	い 男 性 が 優 遇 さ れ て ど ち ら か と い え ば	い 男 性 が 優 遇 さ れ て	無 回 答
家庭の中で	760 100.0	24 3.2	77 10.1	189 24.9	340 44.7	94 12.4	36 4.7
職場の中で	760 100.0	9 1.2	34 4.5	146 19.2	330 43.4	136 17.9	105 13.8
学校の中で	760 100.0	2 0.3	25 3.3	447 58.8	104 13.7	11 1.4	171 22.5
地域の中で	760 100.0	2 0.3	33 4.3	228 30.0	324 42.6	82 10.8	91 12.0
法律や制度上で	760 100.0	6 0.8	50 6.6	236 31.1	289 38.0	84 11.1	95 12.5
しきたりや習慣で	760 100.0	2 0.3	18 2.4	79 10.4	354 46.6	231 30.4	76 10.0
社会全体で	760 100.0	2 0.3	30 3.9	82 10.8	443 58.3	137 18.0	66 8.7

- ◆ 前回の調査結果、国・県の調査結果と比較すると、「家庭の中で」では、前回よりも「男性が優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」を合わせた男性優遇率は低くなっているものの、国よりは高く、県よりは低い結果となった。「職場の中で」では、国と前回調査結果が男性優遇率は同じようなポイントとなっており、今回調査結果は、前回調査や国よりも低く、県よりもやや高い結果となっている。「学校の中で」でも「職場の中で」と同様に前回調査や国よりも低く、県よりもやや高い結果となっている。「地域の中で」では、男性優遇率は前回調査結果とほぼ同じだが、「女性が優遇されている」と「どちらかといえば女性が優遇されている」を合わせた女性優遇率が前回よりも低くなっている。「法律や制度上で」では、前回調査よりも男性優遇率は低下しており、国よりも低く、県と同じ程度の結果となっている。「しきたりや習慣で」でも前回調査や国よりも低く、県より高くなっている。「社会全体で」でも、前回調査や国よりも低く、県より高い結果となった。

【家庭の中で】

	全体	女性が優遇されている	どちらかといえば女性が優遇されている	平等である	どちらかといえば男性が優遇されている	男性が優遇されている	わからない	無回答
鈴鹿市 (今回)	1,335	3.5	9.8	31.8	40.1	10.1	----	4.6
鈴鹿市 (平成16年)	----	11.2	----	30.2	56.7	----	----	2.0
国	3,118	1.1	6.5	42.0	39.8	8.4	2.2	----
県	2,615	0.8	4.4	32.5	45.2	11.3	3.6	2.1

【法律や制度上で】

	全体	女性が優遇されている	どちらかといえば女性が優遇されている	平等である	どちらかといえば男性が優遇されている	男性が優遇されている	わからない	無回答
鈴鹿市 (今回)	1,335	1.5	9.1	38.9	31.5	7.6	----	11.4
鈴鹿市 (平成16年)	----	12.7	----	30.3	51.4	----	----	5.6
国	3,118	0.7	4.4	39.5	35.8	10.6	9.0	----
県	2,615	0.9	6.2	36.1	31.4	7.5	11.7	6.2

【職場の中で】

	全体	女性が優遇されている	どちらかといえば女性が優遇されている	平等である	どちらかといえば男性が優遇されている	男性が優遇されている	わからない	無回答
鈴鹿市 (今回)	1,335	2.2	6.7	22.2	40.4	15.1	----	13.4
鈴鹿市 (平成16年)	----	13.2	----	20.5	62.0	----	----	4.4
国	3,118	0.7	3.8	23.9	45.2	15.7	10.7	----
県	2,615	1.1	6.3	23.5	40.0	11.4	9.5	8.1

【しきたりや慣習で】

	全体	女性が優遇されている	どちらかといえば女性が優遇されている	平等である	どちらかといえば男性が優遇されている	男性が優遇されている	わからない	無回答
鈴鹿市 (今回)	1,335	0.5	3.1	14.9	49.7	22.8	----	9.0
鈴鹿市 (平成16年)	----	5.8	----	10.0	79.6	----	----	4.7
国	3,118	0.5	2.7	20.2	52.3	20.0	4.4	----
県	2,615	0.7	4.9	13.6	53.7	13.6	7.3	6.2

【学校の中で】

	全体	女性が優遇されている	どちらかといえば女性が優遇されている	平等である	どちらかといえば男性が優遇されている	男性が優遇されている	わからない	無回答
鈴鹿市 (今回)	1,335	1.0	4.4	60.5	10.3	1.0	----	22.8
鈴鹿市 (平成16年)	----	6.4	----	64.9	15.8	----	----	13.0
国	3,118	0.4	3.8	63.4	12.8	2.3	17.2	----
県	2,615	0.3	3.0	46.1	8.6	1.1	24.9	16.0

【社会全体で】

	全体	女性が優遇されている	どちらかといえば女性が優遇されている	平等である	どちらかといえば男性が優遇されている	男性が優遇されている	わからない	無回答
鈴鹿市 (今回)	1,335	1.1	6.4	16.3	55.0	13.2	----	8.0
鈴鹿市 (平成16年)	----	8.3	----	13.8	73.6	----	----	4.2
国	3,118	0.4	3.8	20.9	61.8	11.4	1.7	----
県	2,615	0.5	4.4	15.3	55.8	10.7	8.1	5.1

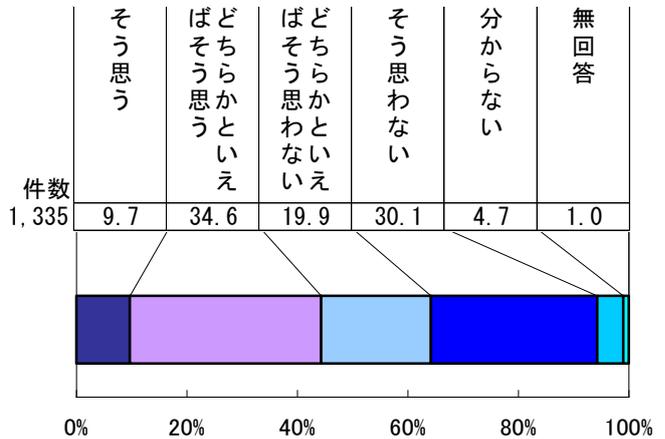
【地域の中で】

	全体	女性が優遇されている	どちらかといえば女性が優遇されている	平等である	どちらかといえば男性が優遇されている	男性が優遇されている	わからない	無回答
鈴鹿市 (今回)	1,335	0.7	6.4	36.2	38.7	7.0	----	11.0
鈴鹿市 (平成16年)	----	12.0	----	35.2	46.8	----	----	6.1

(3) 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について

問3 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方がありますが、あなたはどのように思いますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

◆ 「夫が外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方については、「どちらかといえばそう思う」が34.6%で最も多く、次いで「そう思わない」(30.1%)となっている。また、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』は44.3%、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせた『そう思わない』は50.0%となっている。



◆ 性・年代別にみると、男性の20歳代から50歳代は、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思う」が同じくらい多くなっているが、60歳代以上になると、「どちらかといえばそう思う」がさらに多くなり、「そう思わない」は少なくなっている。女性は、20歳代から30歳代は「そう思わない」が50%近くあり最も多いが、40歳代から50歳代は「そう思わない」と「どちらかといえばそう思う」がどちらも30%台となり、60歳代以上は「どちらかといえばそう思う」が40%以上になっている。『そう思う』と『そう思わない』については、男性・女性ともに、50歳代までは『そう思わない』が多く、60歳代以上は、『そう思う』が多くなっている。

	全体	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	分からない	無回答	
全体	1335 100.0	129 9.7	462 34.6	266 19.9	402 30.1	63 4.7	13 1.0	
男性	20~29歳	57 100.0	5 8.8	17 29.8	13 22.8	16 28.1	6 10.5	-
	30~39歳	85 100.0	5 5.9	30 35.3	14 16.5	28 32.9	7 8.2	1 1.2
	40~49歳	91 100.0	7 7.7	31 34.1	16 17.6	33 36.3	4 4.4	-
	50~59歳	83 100.0	4 4.8	28 33.7	18 21.7	31 37.3	2 2.4	-
	60~69歳	132 100.0	10 7.6	56 42.4	29 22.0	34 25.8	2 1.5	1 0.8
	70歳以上	107 100.0	27 25.2	43 40.2	19 17.8	12 11.2	5 4.7	1 0.9
	女性	20~29歳	66 100.0	4 6.1	13 19.7	13 19.7	35 53.0	1 1.5
30~39歳		151 100.0	4 2.6	37 24.5	32 21.2	73 48.3	5 3.3	-
40~49歳		126 100.0	5 4.0	40 31.7	25 19.8	47 37.3	8 6.3	1 0.8
50~59歳		138 100.0	9 6.5	48 34.8	35 25.4	43 31.2	3 2.2	-
60~69歳		144 100.0	15 10.4	59 41.0	31 21.5	26 18.1	11 7.6	2 1.4
70歳以上		132 100.0	25 18.9	54 40.9	17 12.9	23 17.4	9 6.8	4 3.0

◆ 前回調査及び国の調査結果と比較すると、『そう思う』では、今回44.3%に対し、前回調査では、31.4%と前回よりも高くなっている。また、国では44.8%と同じ程度の比率となっている。

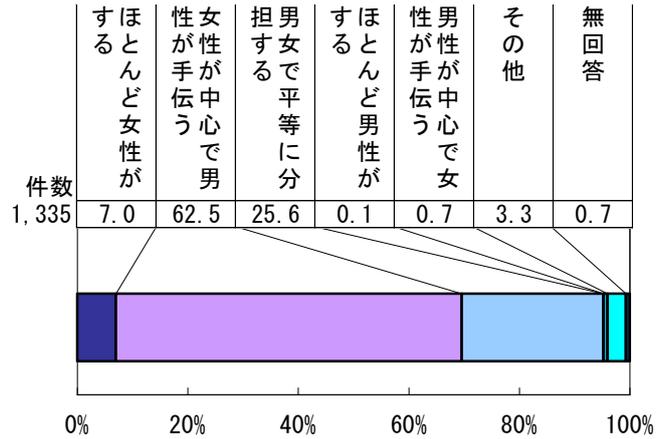
	全体	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	思わない どちらかといえばそう	そう思わない	分からない	無回答
鈴鹿市(今回)	1,335	9.7	34.6	----	19.9	30.1	4.7	1.0
鈴鹿市(平成16年)	----	6.8	24.6	30.8	18.9	18.8	----	0.1
国	3,118	13.8	31.0	----	28.7	23.4	3.2	----

3 家庭生活について

(1) 男女の家事分担の理想

問4 男女の家事分担について、あなたの理想としてはどのような形がよいと思いますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

- ◆ 男女の家事の分担についての考え方は、「女性が中心で男性が手伝う」が62.5%で最も多く、次いで「男女で平等に分担する」(25.6%)となっている。



- ◆ 性・年代別にみると、男性と女性共に「女性が中心で男性が手伝う」が最も多く、女性の70歳以上を除いては、「男女で平等に分担する」が2番目に多くなっているが、70歳以上の女性では、「ほとんど女性がする」が2番目に多くなっている。

	全体	ほとんど女性がする	女性が中心で男性が手伝う	男女で平等に分担する	ほとんど男性がする	男性が中心で女性が手伝う	その他	無回答
全体	1335	93	834	342	2	10	44	10
	100.0	7.0	62.5	25.6	0.1	0.7	3.3	0.7
男性	20～29歳	57	2	33	20	-	2	-
		100.0	3.5	57.9	35.1	-	3.5	-
	30～39歳	85	5	49	26	-	4	1
		100.0	5.9	57.6	30.6	-	4.7	1.2
	40～49歳	91	7	69	12	-	1	2
		100.0	7.7	75.8	13.2	-	1.1	2.2
	50～59歳	83	5	58	14	-	1	5
	100.0	6.0	69.9	16.9	-	1.2	6.0	
60～69歳	132	14	80	34	-	-	3	1
	100.0	10.6	60.6	25.8	-	-	2.3	0.8
70歳以上	107	11	68	22	2	1	2	1
	100.0	10.3	63.6	20.6	1.9	0.9	1.9	0.9
女性	20～29歳	66	-	33	26	-	1	6
		100.0	-	50.0	39.4	-	1.5	9.1
	30～39歳	151	3	95	48	-	-	5
		100.0	2.0	62.9	31.8	-	-	3.3
	40～49歳	126	1	79	40	-	-	6
		100.0	0.8	62.7	31.7	-	-	4.8
	50～59歳	138	4	83	41	-	1	8
	100.0	2.9	60.1	29.7	-	0.7	5.8	
60～69歳	144	12	99	31	-	-	1	
	100.0	8.3	68.8	21.5	-	-	0.7	
70歳以上	132	27	74	25	-	3	-	
	100.0	20.5	56.1	18.9	-	2.3	-	

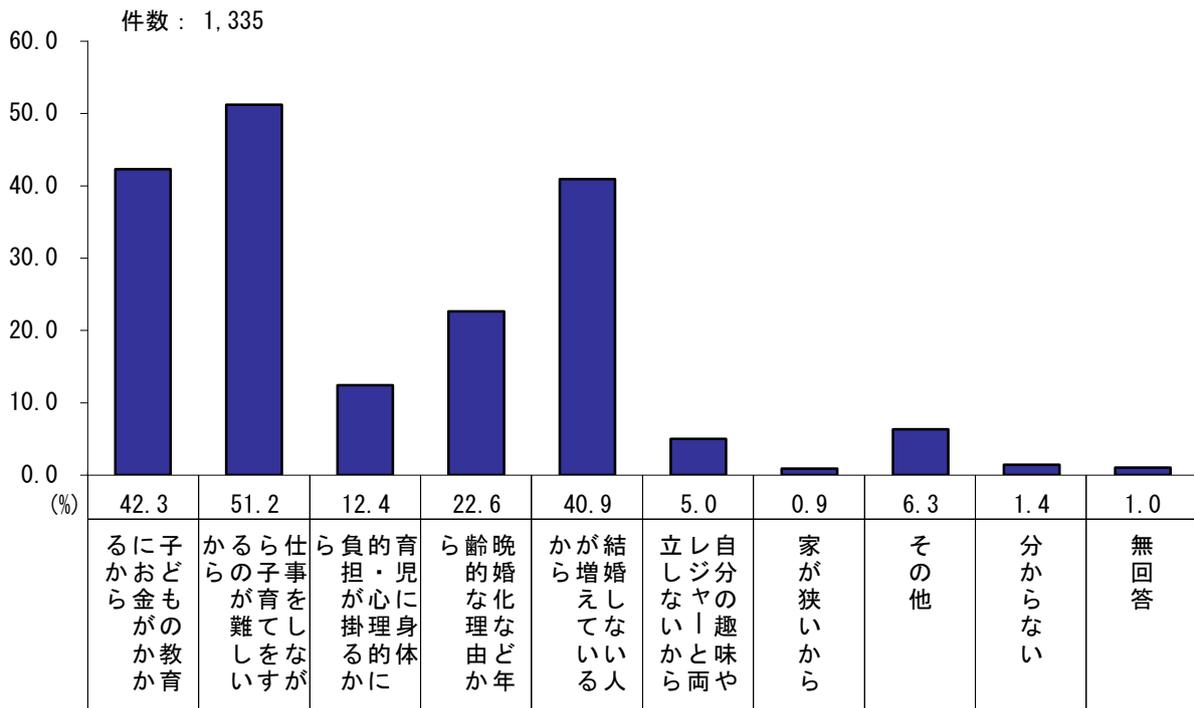
- ◆ 前回調査と比較すると、「ほとんど女性がする」が増加しているが、その他はほとんど差が見られない。

	全体	ほとんど女性がする	女性が中心で男性が手伝う	男女で平等に分担する	ほとんど男性がする	男性が中心で女性が手伝う	家事やお手伝いさんにする	その他	無回答
鈴鹿市(今回)	1,335	7.0	62.5	25.6	0.1	0.7	---	3.3	0.7
鈴鹿市(平成16年)	---	4.2	65.3	24.1	0.0	0.6	0.3	5.0	0.5

(2) 出生率低下の原因

問5 出生率の低下が社会問題となっていますが、あなたは何が原因だと思いますか。次の中から2つまで選んで○印をつけてください。

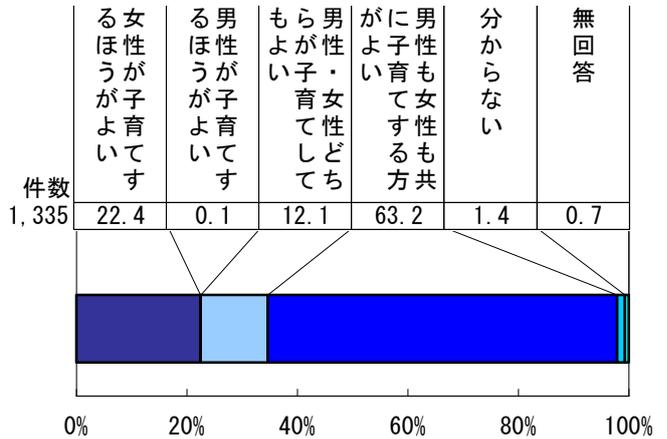
- ◆ 出生率低下の原因について聞いたところ、「仕事をしながら子育てをするのが難しいから」が51.2%で最も多く、次いで「子どもの教育にお金がかかるから」(42.3%)、「結婚をしない人が増えているから」(40.9%)となっている。



(3) 子育ての環境

問6 一般的には、子育てをしている人の多くが女性といわれていますが、これについてあなたはどのように思いますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

- ◆ 子育ての環境について聞いたところ、「男性も女性も共に子育ての方がよい」が63.2%で最も多く、次いで「女性が子育てするほうがよい」(22.4%)、「男性・女性どちらが子育てしてもよい」(12.1%)となっている。



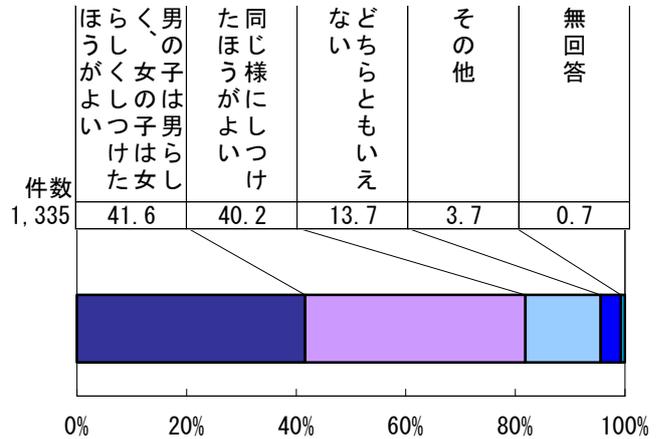
- ◆ 性・年代別にみると、男女共に各年代で「男性も女性も共に子育ての方がよい」が多く、男性の30歳代以上では「女性が子育てするほうがよい」が2番目に多くなっている、また、女性の20歳代から40歳代では「男性・女性どちらが子育てしてもよい」が、50歳代から70歳以上では「女性が子育てするほうがよい」が2番目に多くなっている。

	全体	女性が子育てするほうがよい	男性が子育てするほうがよい	男性・女性どちらが子育てしてもよい	男性も女性も共に子育ての方がよい	分からない	無回答	
全体	1335 100.0	299 22.4	2 0.1	162 12.1	844 63.2	19 1.4	9 0.7	
男性	20～29歳	57 100.0	7 12.3	-	18 31.6	32 56.1	-	-
	30～39歳	85 100.0	18 21.2	1 1.2	14 16.5	48 56.5	4 4.7	-
	40～49歳	91 100.0	22 24.2	-	13 14.3	52 57.1	4 4.4	-
	50～59歳	83 100.0	25 30.1	-	14 16.9	42 50.6	2 2.4	-
	60～69歳	132 100.0	56 42.4	-	7 5.3	67 50.8	2 1.5	-
	70歳以上	107 100.0	41 38.3	-	8 7.5	55 51.4	1 0.9	2 1.9
	女性	20～29歳	66 100.0	8 12.1	-	11 16.7	47 71.2	-
30～39歳		151 100.0	19 12.6	1 0.7	20 13.2	110 72.8	1 0.7	-
40～49歳		126 100.0	13 10.3	-	26 20.6	85 67.5	2 1.6	-
50～59歳		138 100.0	15 10.9	-	13 9.4	110 79.7	-	-
60～69歳		144 100.0	26 18.1	-	11 7.6	106 73.6	1 0.7	-
70歳以上		132 100.0	43 32.6	-	7 5.3	74 56.1	2 1.5	6 4.5

(4) 子育てについての考え方

問7 あなたは、子どものしつけや教育についてどう思いますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

- ◆ 子育てについての考え方について聞いたところ、「男の子は男らしく、女の子は女らしくしつけたほうがよい」が41.6%で最も多く、次いで「同じ様にしつけたほうがよい」(40.2%)となっている。



- ◆ 性・年代別にみると、男性の30歳代以上と女性の60歳代以上では「男の子は男らしく、女の子は女らしくしつけたほうがよい」が、男性の20歳代と女性の20歳代から50歳代では「同じ様にしつけたほうがよい」が多くなっている。

	全体	男の子は男らしく、女の子は女らしくしつけたほうがよい	同じ様にしつけたほうがよい	どちらともいえない	その他	無回答	
全体	1335 100.0	556 41.6	537 40.2	183 13.7	49 3.7	10 0.7	
男性	20~29歳	57 100.0	21 36.8	24 42.1	10 17.5	2 3.5	-
	30~39歳	85 100.0	43 50.6	20 23.5	17 20.0	5 5.9	-
	40~49歳	91 100.0	44 48.4	35 38.5	9 9.9	3 3.3	-
	50~59歳	83 100.0	44 53.0	26 31.3	11 13.3	1 1.2	1
	60~69歳	132 100.0	62 47.0	60 45.5	7 5.3	3 2.3	-
	70歳以上	107 100.0	68 63.6	29 27.1	6 5.6	2 1.9	2
	70歳以上	107 100.0	68 63.6	29 27.1	6 5.6	2 1.9	2
女性	20~29歳	66 100.0	14 21.2	31 47.0	17 25.8	4 6.1	-
	30~39歳	151 100.0	40 26.5	66 43.7	31 20.5	14 9.3	-
	40~49歳	126 100.0	30 23.8	63 50.0	26 20.6	7 5.6	-
	50~59歳	138 100.0	38 27.5	74 53.6	22 15.9	4 2.9	-
	60~69歳	144 100.0	67 46.5	61 42.4	12 8.3	4 2.8	-
	70歳以上	132 100.0	75 56.8	40 30.3	11 8.3	-	6
	70歳以上	132 100.0	75 56.8	40 30.3	11 8.3	-	6

- ◆ 前回調査や県と比較すると、“らしさを持ったしつけ”の支持層が多くなっている。

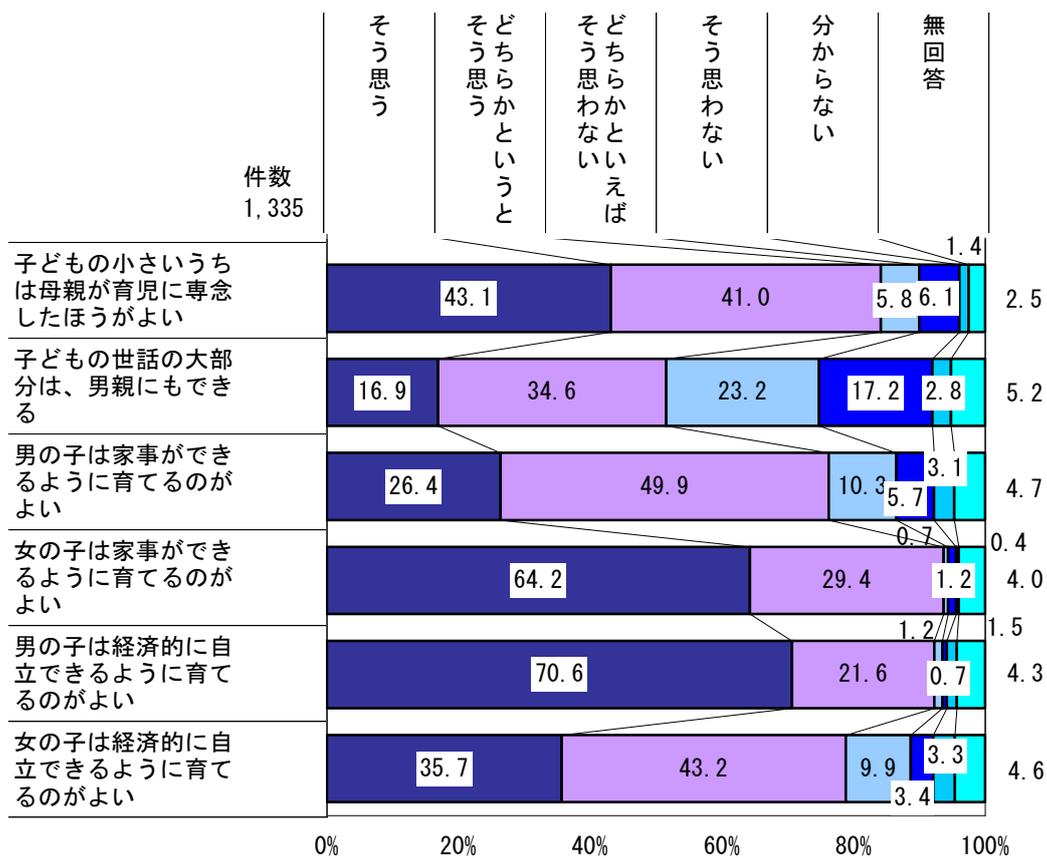
	全体	男の子は男らしく、女の子は女らしくしつけたほうがよい	同じ様にしつけたほうがよい	どちらともいえない	その他	分からない	無回答
鈴鹿市(今回)	1,335	41.6	40.2	13.7	3.7	----	0.7
鈴鹿市(平成16年)	----	37.7	42.3	12.3	4.7	0.9	2.1
県	2,615	32.4	44.9	18.0	2.7	----	2.1

(5) 子育てに対する意見

問8 子育てについて、あなたのご意見にもっとも近いものはどれですか。それぞれについて該当するものを1つ選んで○印をつけてください。

- ◆ 子育てに対する意見について聞いたところ、「子どもの世話の大部分は、男親にもできる」「男の子は家事ができるように育てるのがよい」「女の子は経済的に自立できるように育てるのがよい」では「どちらかというと思う」が、「子どもの小さいうちは母親が育児に専念したほうがよい」「女の子は家事ができるように育てるのがよい」「男の子は経済的に自立できるように育てるのがよい」では「そう思う」が最も多くなっている。

「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた割合では、どの項目においても5割以上を占めており、「女の子は家事ができるように育てるのがよい」「男の子は経済的に自立できるように育てるのがよい」では9割以上となっている。



- ◆ 男女別にみると、男女共に各項目において「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』の割合が多くなっているが、男性では「子どもの世話の大部分は、男親にもできる」について、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせた『そう思わない』の割合が多くなっている。

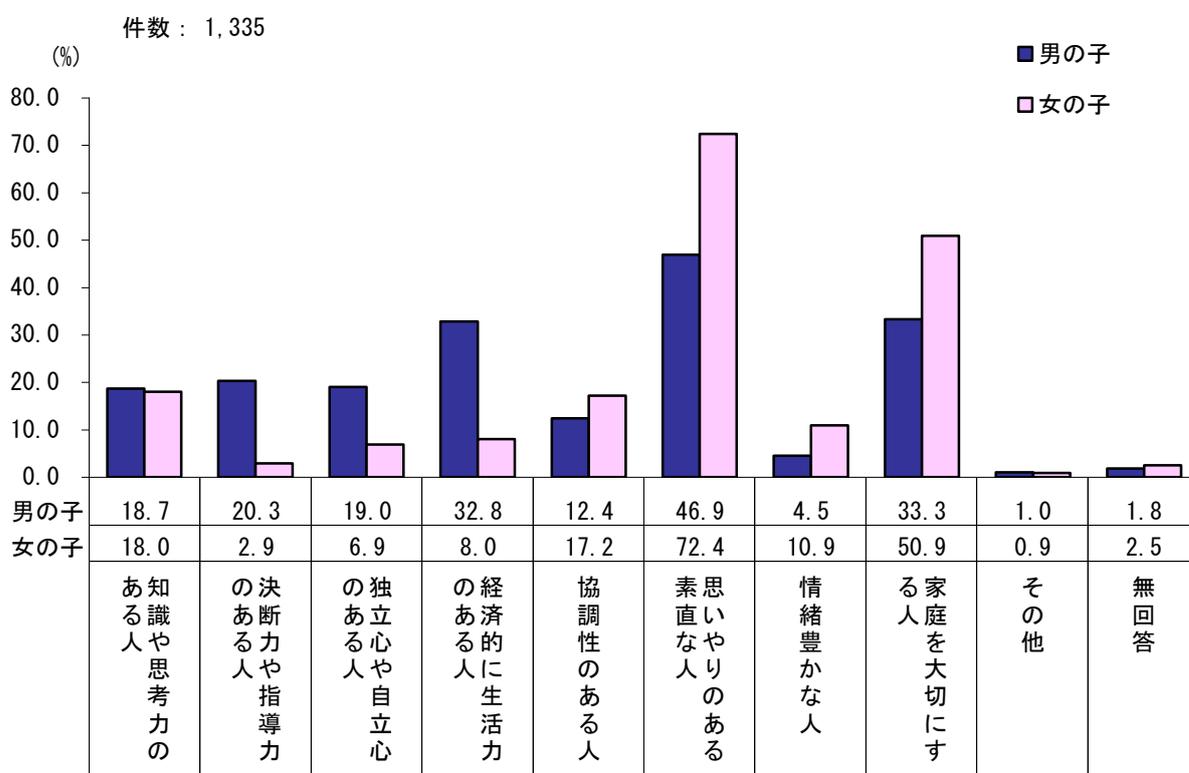
	全体	そう思う	どちらかという そう思う	どちらかとい えは	そう思わ ない	分 から ない	無 回 答
男性							
子どもの小さいうちは母親が 育児に専念したほうがよい	557 100.0	239 42.9	237 42.5	33 5.9	30 5.4	7 1.3	11 2.0
子どもの世話の大部分は、男 親にもできる	557 100.0	61 11.0	191 34.3	147 26.4	114 20.5	19 3.4	25 4.5
男の子は家事ができるように 育てるのがよい	557 100.0	99 17.8	286 51.3	85 15.3	47 8.4	19 3.4	21 3.8
女の子は家事ができるように 育てるのがよい	557 100.0	322 57.8	204 36.6	5 0.9	4 0.7	1 0.2	21 3.8
男の子は経済的に自立できる ように育てるのがよい	557 100.0	392 70.4	133 23.9	10 1.8	1 0.2	3 0.5	18 3.2
女の子は経済的に自立できる ように育てるのがよい	557 100.0	171 30.7	266 47.8	59 10.6	23 4.1	15 2.7	23 4.1

	全体	そう思う	どちらかという そう思う	どちらかとい えは	そう思わ ない	分 から ない	無 回 答
女性							
子どもの小さいうちは母親が 育児に専念したほうがよい	760 100.0	327 43.0	305 40.1	43 5.7	52 6.8	12 1.6	21 2.8
子どもの世話の大部分は、男 親にもできる	760 100.0	163 21.4	266 35.0	160 21.1	113 14.9	16 2.1	42 5.5
男の子は家事ができるように 育てるのがよい	760 100.0	252 33.2	374 49.2	51 6.7	26 3.4	18 2.4	39 5.1
女の子は家事ができるように 育てるのがよい	760 100.0	525 69.1	185 24.3	5 0.7	12 1.6	4 0.5	29 3.8
男の子は経済的に自立できる ように育てるのがよい	760 100.0	543 71.4	150 19.7	6 0.8	8 1.1	16 2.1	37 4.9
女の子は経済的に自立できる ように育てるのがよい	760 100.0	301 39.6	305 40.1	71 9.3	21 2.8	27 3.6	35 4.6

(6) 子どもの将来の理想

問9 将来、子どもたちにどのような人になってほしいと思いますか。男の子、女の子、それぞれについて2つずつ選んで○印をつけてください。

- ◆ 子どもの将来の理想について聞いたところ、男の子と女の子共に「思いやりのある素直な人」（男の子:46.9%, 女の子:72.4%）が最も多く、次いで「家庭を大切にする人」（男の子:33.3%, 女の子:50.9%）となっている。



◆ 性・年代別にみると、男の子については、男性の各年代と女性の20歳代から60歳代までは、「思いやりのある素直な人」が多く、女性の70歳以上では「家庭を大切にす人」が多くなっている。女の子については、男性の20歳代から60歳代までと女性の各年代では、「思いやりのある素直な人」が多く、男性の70歳以上では「家庭を大切にす人」が多くなっている。

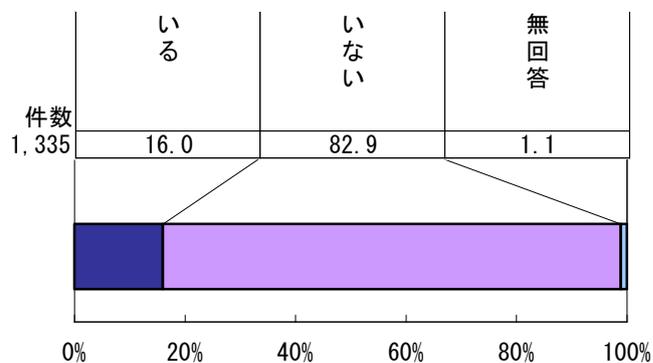
	全体	あ 知 る 識 人 や 思 考 力 の	の 決 断 力 や 指 導 力	の 独 立 心 や 自 立 心	の 経 済 的 に 生 活 力	協 調 性 の あ る 人	素 直 い や り の あ る	情 緒 豊 か な 人	る 家 庭 を 大 切 に す	そ の 他	無 回 答
男の子											
全体	1335 100.0	249 18.7	271 20.3	254 19.0	438 32.8	166 12.4	626 46.9	60 4.5	445 33.3	14 1.0	24 1.8
男性	20～29歳	57 100.0	10 17.5	14 24.6	9 15.8	10 17.5	21 36.8	2 3.5	11 19.3	-	-
	30～39歳	85 100.0	17 20.0	20 23.5	9 10.6	21 24.7	18 21.2	5 5.9	26 30.6	3 3.5	-
	40～49歳	91 100.0	23 25.3	20 22.0	19 20.9	24 26.4	15 16.5	6 6.6	29 31.9	-	2 2.2
	50～59歳	83 100.0	6 7.2	17 20.5	21 25.3	28 33.7	8 9.6	4 4.8	30 36.1	1 1.2	-
	60～69歳	132 100.0	21 15.9	25 18.9	31 23.5	43 32.6	16 12.1	11 8.3	43 32.6	-	-
	70歳以上	107 100.0	18 16.8	24 22.4	21 19.6	39 36.4	14 13.1	3 2.8	23 21.5	-	4 3.7
	女性										
20～29歳	66 100.0	8 12.1	11 16.7	12 18.2	22 33.3	5 7.6	34 51.5	5 7.6	32 48.5	-	1 1.5
30～39歳	151 100.0	38 25.2	33 21.9	18 11.9	57 37.7	10 6.6	78 51.7	5 3.3	56 37.1	3 2.0	-
40～49歳	126 100.0	25 19.8	22 17.5	23 18.3	50 39.7	15 11.9	60 47.6	7 5.6	41 32.5	3 2.4	2 1.6
50～59歳	138 100.0	29 21.0	28 20.3	30 21.7	43 31.2	14 10.1	76 55.1	-	45 32.6	2 1.4	2 1.4
60～69歳	144 100.0	30 20.8	31 21.5	34 23.6	47 32.6	18 12.5	53 36.8	8 5.6	44 30.6	1 0.7	4 2.8
70歳以上	132 100.0	20 15.2	23 17.4	22 16.7	48 36.4	10 7.6	46 34.8	4 3.0	54 40.9	1 0.8	7 5.3

	全体	あ 知 る 識 人 や 思 考 力 の	の 決 断 力 や 指 導 力	の 独 立 心 や 自 立 心	の 経 済 的 に 生 活 力	協 調 性 の あ る 人	素 直 い や り の あ る	情 緒 豊 か な 人	る 家 庭 を 大 切 に す	そ の 他	無 回 答
女の子											
全体	1335 100.0	240 18.0	39 2.9	92 6.9	107 8.0	229 17.2	966 72.4	146 10.9	680 50.9	12 0.9	34 2.5
男性	20～29歳	57 100.0	8 14.0	5 8.8	3 5.3	4 7.0	17 29.8	8 14.0	24 42.1	-	-
	30～39歳	85 100.0	17 20.0	-	3 3.5	7 8.2	21 24.7	8 9.4	41 48.2	2 2.4	-
	40～49歳	91 100.0	13 14.3	3 3.3	10 11.0	6 6.6	14 15.4	17 18.7	46 50.5	-	2 2.2
	50～59歳	83 100.0	6 7.2	-	7 8.4	6 7.2	22 26.5	11 13.3	41 49.4	1 1.2	3 3.6
	60～69歳	132 100.0	24 18.2	3 2.3	7 5.3	8 6.1	19 14.4	17 12.9	81 61.4	-	-
	70歳以上	107 100.0	16 15.0	2 1.9	4 3.7	10 9.3	23 21.5	11 10.3	65 60.7	-	6 5.6
	女性										
20～29歳	66 100.0	14 21.2	3 4.5	7 10.6	8 12.1	8 12.1	50 75.8	6 9.1	33 50.0	-	1 1.5
30～39歳	151 100.0	38 25.2	14 9.3	10 6.6	13 8.6	29 19.2	115 76.2	22 14.6	51 33.8	4 2.6	1 0.7
40～49歳	126 100.0	25 19.8	2 1.6	12 9.5	23 18.3	23 18.3	90 71.4	13 10.3	53 42.1	3 2.4	3 2.4
50～59歳	138 100.0	34 24.6	3 2.2	13 9.4	11 8.0	19 13.8	109 79.0	9 6.5	69 50.0	1 0.7	2 1.4
60～69歳	144 100.0	22 15.3	1 0.7	11 7.6	2 1.4	17 11.8	114 79.2	16 11.1	82 56.9	1 0.7	5 3.5
70歳以上	132 100.0	19 14.4	1 0.8	4 3.0	8 6.1	8 10.6	14 71.2	7 5.3	79 59.8	-	9 6.8

(7) 手助けが必要な高齢者の有無

問10 あなたの家庭では、日常的に手助けが必要な高齢者の方はいますか。次のどちらかに○印をつけてください。

- ◆ 手助けが必要な高齢者の有無について聞いたところ、「いない」が82.9%、「いる」が16.0%となっている。



- ◆ 性・年代別でみると、男女共に各年代で「手助けが必要な高齢者の有無」については、「いない」が多くなっている。

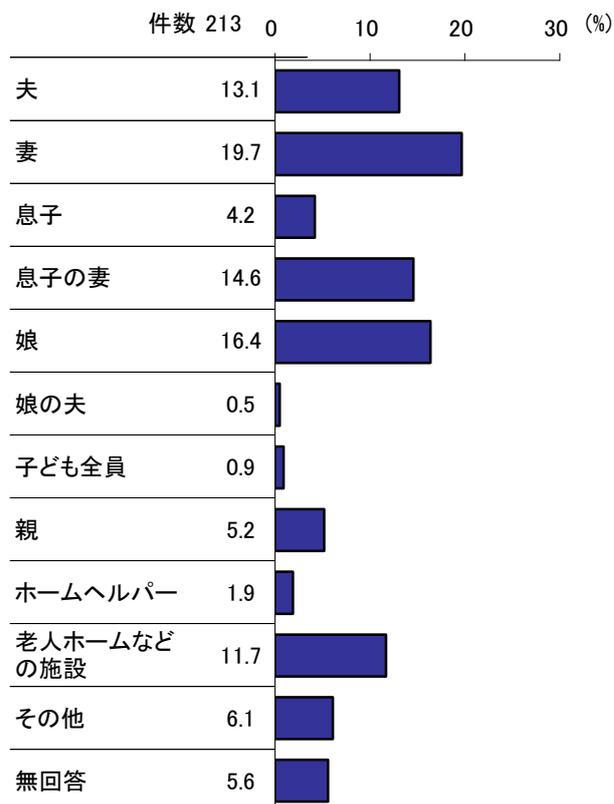
		全体	いる	いない	無回答
全体		1335 100.0	213 16.0	1107 82.9	15 1.1
男性	20~29歳	57 100.0	5 8.8	52 91.2	-
	30~39歳	85 100.0	5 5.9	80 94.1	-
	40~49歳	91 100.0	11 12.1	80 87.9	-
	50~59歳	83 100.0	19 22.9	64 77.1	-
	60~69歳	132 100.0	19 14.4	113 85.6	-
	70歳以上	107 100.0	26 24.3	78 72.9	3 2.8
	女性	20~29歳	66 100.0	7 10.6	59 89.4
30~39歳		151 100.0	12 7.9	139 92.1	-
40~49歳		126 100.0	11 8.7	115 91.3	-
50~59歳		138 100.0	28 20.3	110 79.7	-
60~69歳		144 100.0	18 12.5	124 86.1	2 1.4
70歳以上		132 100.0	44 33.3	79 59.8	9 6.8

(8) 主に介護をする人

(問10で「1. いる」と答えた方にお聞きします。)

問11 その人の世話は主にどなたがされていますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。(※高齢者から見た続柄でお答えください。)

- ◆ 主に介護をする人について聞いたところ、「妻」が19.7%で最も多く、次いで「娘」(16.4%)、「息子の妻」(14.6%)、「夫」(13.1%)となっている。



- ◆ 性・年代別でみると、男性の40歳代では「息子」、50歳代と70歳以上では「妻」、60歳代では「息子の妻」が多くなっている。女性の30歳代から60歳代では「娘」、70歳以上では「妻」が多くなっている。

	全体	夫	妻	息子	息子の妻	娘	娘の夫	子ども全員	親	ホームヘルパー	老人ホームなどの施設	その他	無回答	
全体	213 100.0	28 13.1	42 19.7	9 4.2	31 14.6	35 16.4	1 0.5	2 0.9	11 5.2	4 1.9	25 11.7	13 6.1	12 5.6	
男性	20～29歳	5 100.0	-	1 20.0	-	1 20.0	-	-	2 40.0	1 20.0	-	-	-	
	30～39歳	5 100.0	-	2 40.0	-	-	1 20.0	-	2 40.0	-	-	-	-	
	40～49歳	11 100.0	1 9.1	1 9.1	3 27.3	1 9.1	1 9.1	-	1 9.1	1 9.1	1 9.1	1 9.1	-	
	50～59歳	19 100.0	3 15.8	5 26.3	-	2 10.5	-	1 5.3	2 10.5	1 5.3	4 21.1	1 5.3	-	
	60～69歳	19 100.0	3 15.8	3 15.8	-	4 21.1	3 15.8	1 5.3	-	-	3 15.8	1 5.3	1 5.3	
	70歳以上	26 100.0	6 23.1	12 46.2	1 3.8	-	2 7.7	-	-	-	-	1 3.8	2 7.7	2 7.7
	女性	7 100.0	1 14.3	1 14.3	-	3 42.9	-	-	-	-	-	1 14.3	-	1 14.3
30～39歳	12 100.0	1 8.3	-	-	2 16.7	4 33.3	-	-	1 8.3	1 8.3	3 25.0	-	-	
40～49歳	11 100.0	1 9.1	-	1 9.1	3 27.3	3 27.3	-	-	1 9.1	-	2 18.2	-	-	
50～59歳	28 100.0	1 3.6	3 10.7	-	7 25.0	8 28.6	-	-	1 3.6	-	3 10.7	4 14.3	1 3.6	
60～69歳	18 100.0	4 22.2	4 22.2	-	1 5.6	6 33.3	-	-	1 5.6	-	2 11.1	-	-	
70歳以上	44 100.0	6 13.6	9 20.5	3 6.8	7 15.9	6 13.6	-	1 2.3	-	-	4 9.1	4 9.1	4 9.1	

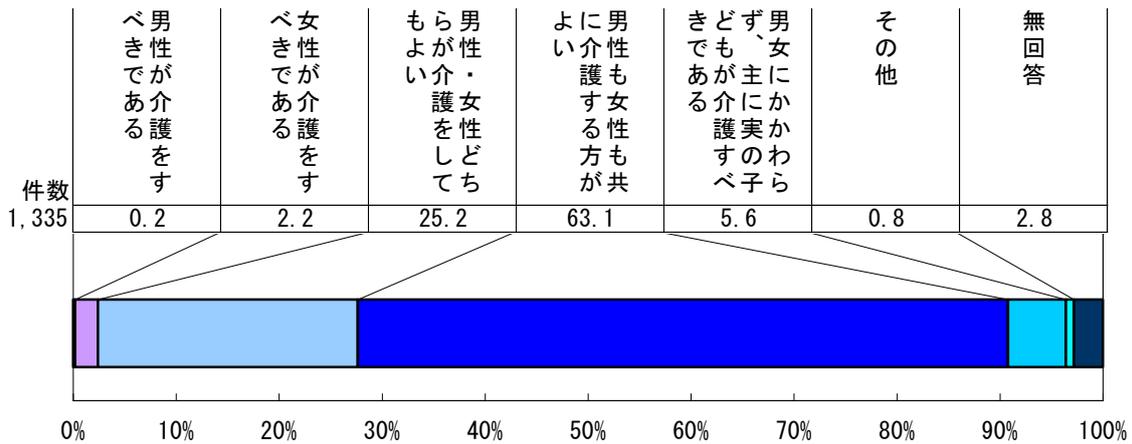
- ◆ 前回調査や県と比較すると、いずれの調査結果も妻や配偶者が最も多く、息子の妻や娘など“女性”の回答が多くなっている。

	全体	夫	妻	配偶者	息子	息子の妻	娘	娘の夫	子ども全員	親	ホームヘルパー	老人ホームなどの施設	その他	無回答
鈴鹿市（今回）	213	13.1	19.7	----	4.2	14.6	16.4	0.5	0.9	5.2	1.9	11.7	6.1	5.6
鈴鹿市（平成16年）	----	----	----	19.9	8.1	18.0	11.2	0.0	1.2	14.9	3.1	18.0	5.6	----
県	709	6.3	21.0	----	7.2	20.9	13.8	0.1	3.9	----	3.9	15.0	3.1	4.7

(9) 介護者の多くが女性であることについて

問12 一般的には、介護をしている人の多くが女性だといわれていますが、これについてあなたはどのように思いますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

- ◆ 介護者の多くが女性であることについて聞いたところ、「男性も女性も共に介護する方がよい」が63.1%で最も多く、次いで「男性・女性どちらが介護をしてもよい」(25.2%)となっている。



- ◆ 性・年代別でみると、男性の30歳代以上と女性の各年代で「男性も女性も共に介護する方がよい」が多く、男性の20歳代では、「男性・女性どちらが介護をしてもよい」が多くなっている。

	全体	男性が介護をすべきである	女性が介護をすべきである	男性・女性どちらが介護をしてもよい	男性も女性も共に介護する方がよい	男性・女性どっちが主にかかわるかわからない	その他	無回答	
全体	1335 100.0	3 0.2	30 2.2	336 25.2	842 63.1	75 5.6	11 0.8	38 2.8	
男性	20～29歳	57 100.0	1 1.8	-	27 47.4	22 38.6	5 8.8	2 3.5	-
	30～39歳	85 100.0	-	3 3.5	32 37.6	43 50.6	5 5.9	1 1.2	1 1.2
	40～49歳	91 100.0	-	3 3.3	40 44.0	46 50.5	1 1.1	1 1.1	-
	50～59歳	83 100.0	1 1.2	2 2.4	29 34.9	41 49.4	6 7.2	2 2.4	2 2.4
	60～69歳	132 100.0	-	4 3.0	34 25.8	76 57.6	11 8.3	1 0.8	6 4.5
	70歳以上	107 100.0	-	6 5.6	19 17.8	66 61.7	11 10.3	-	5 4.7
	女性	20～29歳	66 100.0	-	-	18 27.3	45 68.2	1 1.5	-
30～39歳		151 100.0	-	1 0.7	32 21.2	106 70.2	11 7.3	-	1 0.7
40～49歳		126 100.0	-	-	32 25.4	90 71.4	2 1.6	-	2 1.6
50～59歳		138 100.0	-	-	19 13.8	107 77.5	7 5.1	2 1.4	3 2.2
60～69歳		144 100.0	1 0.7	2 1.4	23 16.0	110 76.4	4 2.8	1 0.7	3 2.1
70歳以上		132 100.0	-	8 6.1	25 18.9	80 60.6	8 6.1	1 0.8	10 7.6

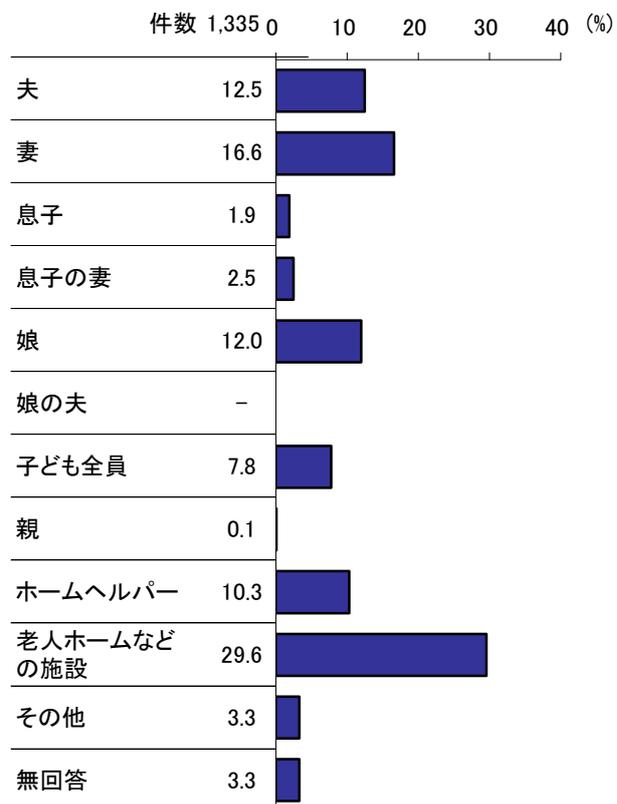
- ◆ 前回調査と比較すると、「女性が介護をすべきである」が16.2%から2.2%へ減少しており、「男性・女性どちらが介護をしてもよい」が25.2%となっている。

	全体	ある男性が介護をすべきである	ある女性が介護をすべきである	男性・女性どちらが介護をしてもよい	男性も女性も共に介護する方がよい	男女にかかわらず、主に実の子どもが介護すべきである	その他	わからない	無回答
鈴鹿市（今回）	1,335	0.2	2.2	25.2	63.1	5.6	0.8	---	2.8
鈴鹿市（平成16年）	---	---	16.2	---	60.8	11.8	4.4	2.1	4.7

(10) 介護を依頼したい人

問13 あなたは将来、主にだれに介護をしてほしいと思いますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

◆ 介護を依頼したい人について聞いたところ、「老人ホームなどの施設」が29.6%で最も多く、次いで「妻」(16.6%)、「夫」(12.5%)、「娘」(12.0%)となっている。



◆ 性・年代別でみると、男性の30歳代以上では「妻」が多く、20歳代では「老人ホームなどの施設」が多くなっており、30歳代では「老人ホームなどの施設」が同率となっている。女性の各年代で「老人ホームなどの施設」が多くなっており、60歳代では「夫」が同率となっている。

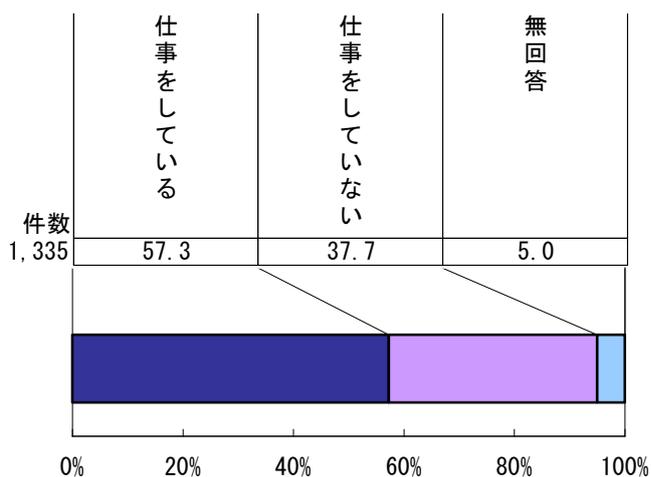
	全体	夫	妻	息子	息子の妻	娘	娘の夫	子ども全員	親	ホームヘルパー	の老人ホームなど	その他	無回答	
全体	1335 100.0	167 12.5	222 16.6	25 1.9	34 2.5	160 12.0	-	104 7.8	2 0.1	138 10.3	395 29.6	44 3.3	44 3.3	
男性	20～29歳	57 100.0	-	13 22.8	2 3.5	-	-	12 21.1	1 1.8	6 10.5	22 38.6	1 1.8	-	
	30～39歳	85 100.0	1 1.2	24 28.2	2 2.4	-	6 7.1	-	15 17.6	-	6 7.1	24 28.2	4 4.7	3 3.5
	40～49歳	91 100.0	-	29 31.9	2 2.2	1 1.1	12 13.2	-	7 7.7	-	9 9.9	27 29.7	4 4.4	-
	50～59歳	83 100.0	-	39 47.0	-	-	2 2.4	-	2 2.4	1 1.2	10 12.0	21 25.3	4 4.8	4 4.8
	60～69歳	132 100.0	1 0.8	71 53.8	1 0.8	1 0.8	10 7.6	-	3 2.3	-	11 8.3	23 17.4	5 3.8	6 4.5
	70歳以上	107 100.0	2 1.9	43 40.2	5 4.7	3 2.8	11 10.3	-	8 7.5	-	7 6.5	20 18.7	3 2.8	5 4.7
	女性	20～29歳	66 100.0	11 16.7	-	1 1.5	-	6 9.1	-	9 13.6	-	4 6.1	29 43.9	4 6.1
30～39歳		151 100.0	30 19.9	-	2 1.3	-	23 15.2	-	11 7.3	-	20 13.2	60 39.7	4 2.6	1 0.7
40～49歳		126 100.0	27 21.4	-	-	1 0.8	26 20.6	-	9 7.1	-	16 12.7	39 31.0	5 4.0	3 2.4
50～59歳		138 100.0	40 29.0	-	-	3 2.2	18 13.0	-	5 3.6	-	8 5.8	52 37.7	7 5.1	5 3.6
60～69歳		144 100.0	37 25.7	-	1 0.7	9 6.3	20 13.9	-	12 8.3	-	24 16.7	37 25.7	-	4 2.8
70歳以上		132 100.0	18 13.6	1 0.8	8 6.1	14 10.6	25 18.9	-	10 7.6	-	13 9.8	34 25.8	2 1.5	7 5.3

4 就労・職業について

(1) 収入を伴う仕事について

問14 あなたは現在、収入を伴う仕事（産前・産後休暇，育児休業中なども含む）をしていますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

- ◆ 収入を伴う仕事について聞いたところ、「仕事をしている」が57.3%で最も多くなっている。



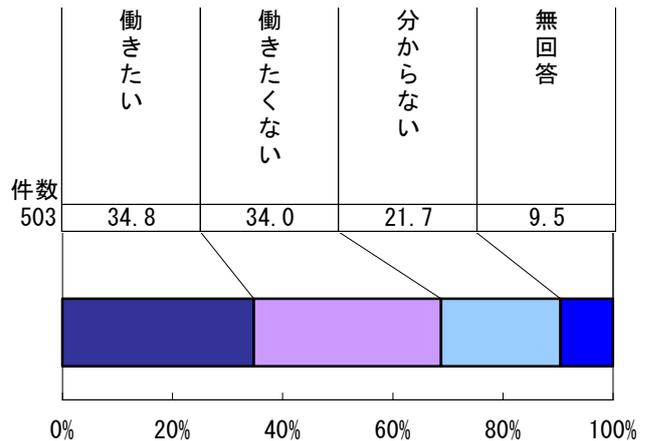
- ◆ 性・年代別で見ると、男性の20歳代から60歳代と女性の20歳代から50歳代では、「仕事をしている」、男性の70歳以上と女性の60歳以上では、「仕事をしていない」が多くなっている。

	全体	仕事をしている	仕事をしていない	無回答	
全体	1335 100.0	765 57.3	503 37.7	67 5.0	
男性	20～29歳	57 100.0	46 80.7	11 19.3	-
	30～39歳	85 100.0	82 96.5	1 1.2	2 2.4
	40～49歳	91 100.0	87 95.6	4 4.4	-
	50～59歳	83 100.0	70 84.3	8 9.6	5 6.0
	60～69歳	132 100.0	72 54.5	51 38.6	9 6.8
	70歳以上	107 100.0	18 16.8	79 73.8	10 9.3
	女性	20～29歳	66 100.0	45 68.2	20 30.3
30～39歳		151 100.0	99 65.6	51 33.8	1 0.7
40～49歳		126 100.0	93 73.8	32 25.4	1 0.8
50～59歳		138 100.0	88 63.8	48 34.8	2 1.4
60～69歳		144 100.0	53 36.8	85 59.0	6 4.2
70歳以上		132 100.0	11 8.3	98 74.2	23 17.4

(2) 就労意向の有無

(問14で「2. 仕事をしていない」と答えた方にお聞きします。)
 問15 あなたは今後、働きたいと思いますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

- ◆ 今後の就労意向の有無について聞いたところ、「働きたい」が34.8%と最も多く、次いで「働きたくない」が34.0%となっている。



- ◆ 性・年代別でみると、男性と女性共に20歳代から50歳代では、「働きたい」、60歳以上では、「働きたくない」が多くなっている。

	全体	働きたい	働きたくない	分からない	無回答	
全体	503 100.0	175 34.8	171 34.0	109 21.7	48 9.5	
男性	20～29歳	11 100.0	9 81.8	-	-	2 18.2
	30～39歳	1 100.0	1 100.0	-	-	-
	40～49歳	4 100.0	3 75.0	-	1 25.0	-
	50～59歳	8 100.0	6 75.0	1 12.5	1 12.5	-
	60～69歳	51 100.0	11 21.6	24 47.1	16 31.4	-
	70歳以上	79 100.0	16 20.3	34 43.0	18 22.8	11 13.9
	女性	20～29歳	20 100.0	19 95.0	-	1 5.0
30～39歳		51 100.0	37 72.5	6 11.8	8 15.7	-
40～49歳		32 100.0	21 65.6	4 12.5	7 21.9	-
50～59歳		48 100.0	22 45.8	15 31.3	10 20.8	1 2.1
60～69歳		85 100.0	14 16.5	45 52.9	20 23.5	6 7.1
70歳以上		98 100.0	12 12.2	40 40.8	22 22.4	24 24.5

- ◆ 前回調査や県と比較すると、「働きたい」との意向を示している人は低くなっている。

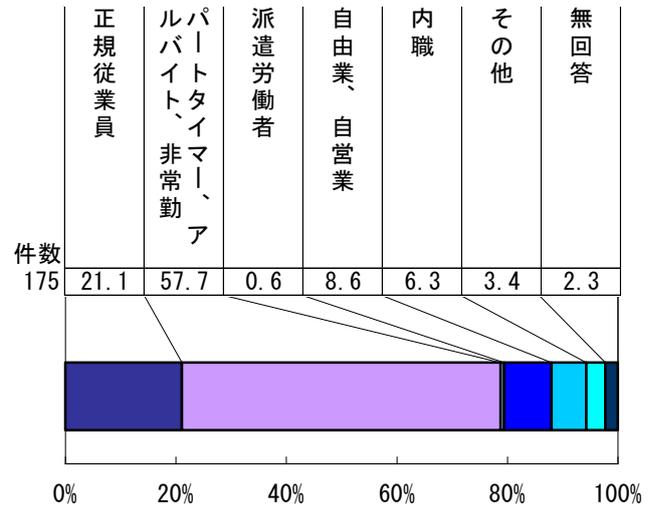
	全体	働きたい	働きたくない	分からない	無回答
鈴鹿市 (今回)	503	34.8	34.0	21.7	9.5
鈴鹿市 (平成16年)	----	50.7	25.0	20.1	4.2
県	769	41.0	32.6	19.9	6.5

(3) 就労形態の希望

(問15で「1. 働きたい」と答えた方にお聞きします。)

問16 あなたは、どのような形で働きたいとお考えですか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

- ◆ 就労形態の希望について聞いたところ、「パートタイマー、アルバイト、非常勤」が57.7%と最も多く、次いで「正規従業員」が21.1%となっている。



- ◆ 性・年代別でみると、男性の20歳代から50歳代では「正規従業員」、60歳以上では「パートタイマー、アルバイト、非常勤」が多くなっており。50歳代では「正規従業員」と「パートタイマー、アルバイト、非常勤」が同率になっている。女性の20歳代から60歳代では、「パートタイマー、アルバイト、非常勤」、70歳以上では、「内職」が多くなっている。

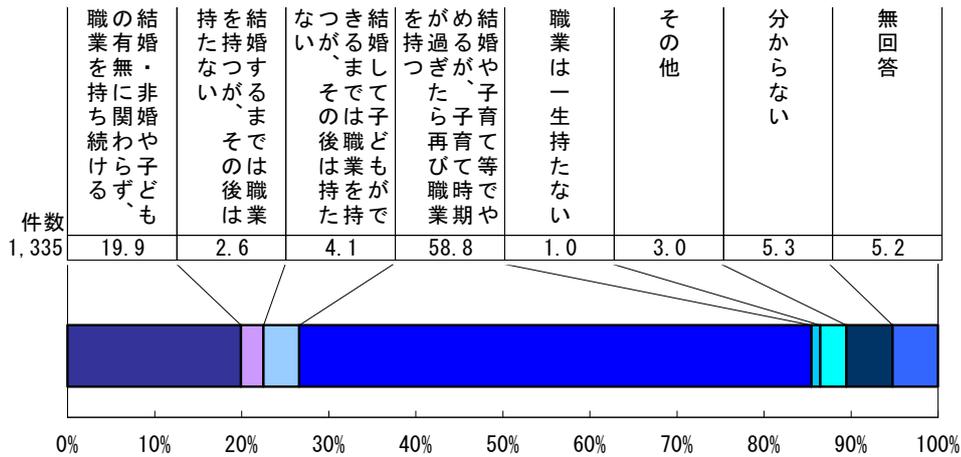
※男性の20歳代から50歳代までは、標本数が少ないため参考値となります。

	全体	正規従業員	パートタイマー、アルバイト、非常勤	派遣労働者	自由業、自営業	内職	その他	無回答
全体	175 100.0	37 21.1	101 57.7	1 0.6	15 8.6	11 6.3	6 3.4	4 2.3
男性	20～29歳	9 100.0	8 88.9	1 11.1	-	-	-	-
	30～39歳	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-
	40～49歳	3 100.0	2 66.7	-	-	1 33.3	-	-
	50～59歳	6 100.0	3 50.0	3 50.0	-	-	-	-
	60～69歳	11 100.0	-	9 81.8	-	2 18.2	-	-
	70歳以上	16 100.0	1 6.3	6 37.5	-	4 25.0	3 18.8	1 6.3
	女性	20～29歳	19 100.0	9 47.4	10 52.6	-	-	-
30～39歳		37 100.0	5 13.5	27 73.0	1 2.7	4 10.8	-	-
40～49歳		21 100.0	5 23.8	15 71.4	-	-	1 4.8	-
50～59歳		22 100.0	2 9.1	17 77.3	-	1 4.5	-	1 4.5
60～69歳		14 100.0	-	10 71.4	-	-	3 21.4	1 7.1
70歳以上		12 100.0	-	3 25.0	-	2 16.7	4 33.3	2 16.7

(4) 女性の職業へのかかわり方

問17 女性の職業へのかかわり方について、あなたはどのような形が最も望ましいと思いますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

- ◆ 女性の職業へのかかわり方について聞いたところ、「結婚や子育て等でやめるが、子育て時期が過ぎたら再び職業を持つ」が58.8%と最も多く、次いで「結婚・非婚や子どもの有無に関わらず、職業を持ち続ける」が19.9%となっている。



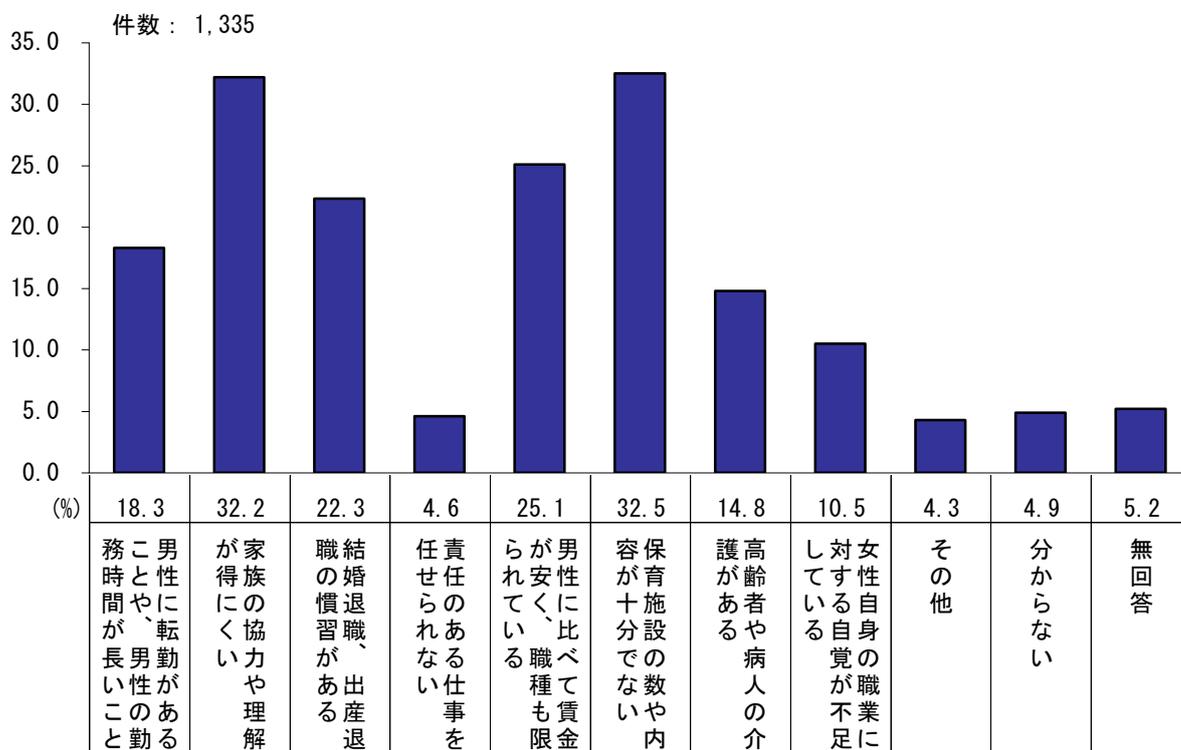
- ◆ 性・年代別でみると、男女共にどの年代でも、「結婚や子育て等でやめるが、子育て時期が過ぎたら再び職業を持つ」が多く、次いで「結婚・非婚や子どもの有無に関わらず、職業を持ち続ける」が2番目に多くなっている。

	全体	結婚・非婚や子どもの有無に関わらず、職業を持ち続ける	結婚して子どもができてからは職業を持たない	結婚や子育て等でやめるが、子育て時期が過ぎたら再び職業を持つ	結婚や子育て等でやめるが、子育て時期が過ぎたら再び職業を持つ	職業は一生持たない	その他	分からない	無回答
全体	1335	265	35	55	785	14	40	71	70
	100.0	19.9	2.6	4.1	58.8	1.0	3.0	5.3	5.2
男性	20~29歳	57	11	2	2	36	-	3	3
		100.0	19.3	3.5	3.5	63.2	-	5.3	5.3
	30~39歳	85	14	2	2	53	-	5	8
		100.0	16.5	2.4	2.4	62.4	-	5.9	9.4
	40~49歳	91	29	4	3	46	-	4	5
		100.0	31.9	4.4	3.3	50.5	-	4.4	5.5
	50~59歳	83	12	3	5	52	1	3	4
	100.0	14.5	3.6	6.0	62.7	1.2	3.6	4.8	
60~69歳	132	20	3	14	79	2	4	3	
	100.0	15.2	2.3	10.6	59.8	1.5	3.0	2.3	
70歳以上	107	9	2	8	61	2	2	9	
	100.0	8.4	1.9	7.5	57.0	1.9	1.9	8.4	
女性	20~29歳	66	20	2	2	39	-	-	2
		100.0	30.3	3.0	3.0	59.1	-	-	3.0
	30~39歳	151	55	1	3	82	-	2	6
		100.0	36.4	0.7	2.0	54.3	-	1.3	4.0
	40~49歳	126	35	-	3	76	1	6	3
		100.0	27.8	-	2.4	60.3	0.8	4.8	2.4
	50~59歳	138	28	1	1	95	1	6	3
	100.0	20.3	0.7	0.7	68.8	0.7	4.3	2.2	
60~69歳	144	15	7	6	103	3	2	5	
	100.0	10.4	4.9	4.2	71.5	2.1	1.4	3.5	
70歳以上	132	15	6	5	56	4	2	18	
	100.0	11.4	4.5	3.8	42.4	3.0	1.5	13.6	

(5) 女性の就労の障がいについて

問18 女性が仕事をもち続けていく上で、大きな障がいと思われることは何ですか。次の中から2つまで選んで○印をつけてください。

- ◆ 女性の就労の障がいについて聞いたところ、「保育施設の数や内容が十分でない」が32.5%と最も多く、次いで「家族の協力や理解が得にくい」(32.2%)、「男性に比べて賃金が安く、職種も限られている」(25.1%)、「結婚退職、出産退職の慣習がある」(22.3%)となっている。



- ◆ 性・年代別でみると、男性の20歳代では「結婚退職、出産退職の慣習がある」、30歳代では「保育施設の数や内容が十分でない」、40歳代では「家族の協力や理解が得にくい」「男性に比べて賃金が安く、職種も限られている」、50歳代から60歳代では「保育施設の数や内容が十分でない」、70歳代以上では「男性に比べて賃金が安く、職種も限られている」「高齢者や病人の介護がある」が多くなっている。女性の20歳代から30歳代では「保育施設の数や内容が十分でない」、40歳代から60歳代では「家族の協力や理解が得にくい」、70歳以上では「家族の協力や理解が得にくい」「男性に比べて賃金が安く、職種も限られている」「高齢者や病人の介護がある」が多くなっている。

	全体	間と男性に長いこと	男性に比べて賃金が安く、職種も限られている	家族の協力や理解が得にくい	結婚退職、出産退職の慣習がある	責任のある仕事を任せられない	男性に比べて賃金が安く、職種も限られている	保育施設の数や内容が十分でない	高齢者や病人の介護がある	女性自身の職業に不足している	家族や育児との両立が難しい	労働条件が整っていない	その他	分からない	無回答
全体	1335 100.0	244 18.3	430 32.2	298 22.3	61 4.6	335 25.1	434 32.5	197 14.8	140 10.5	58 4.3	66 4.9	70 5.2			
男性	20～29歳	57 100.0	8 14.0	13 22.8	29 50.9	3 5.3	12 21.1	19 33.3	2 3.5	7 12.3	4 7.0	3 5.3			
	30～39歳	85 100.0	20 23.5	16 18.8	34 40.0	3 3.5	22 25.9	38 44.7	3 3.5	5 5.9	5 5.9	3 3.5	1 1.2		
	40～49歳	91 100.0	17 18.7	31 34.1	23 25.3	9 9.9	9 34.1	31 30.8	28 2.2	2 9.9	9 5.5	5 6.6			
	50～59歳	83 100.0	16 19.3	25 30.1	19 22.9	3 3.6	24 28.9	29 34.9	8 9.6	15 18.1	1 1.2	4 4.8	3 3.6		
	60～69歳	132 100.0	36 27.3	35 26.5	32 24.2	3 2.3	32 24.2	51 38.6	18 13.6	17 12.9	1 0.8	5 3.8	7 5.3		
	70歳以上	107 100.0	15 14.0	23 21.5	18 16.8	9 8.4	24 22.4	22 20.6	24 22.4	16 15.0	2 1.9	5 4.7	13 12.1		
	女性	20～29歳	66 100.0	7 10.6	23 34.8	21 31.8	2 3.0	19 28.8	31 47.0	2 3.0	4 6.1	5 7.6	2 3.0	1 1.5	
30～39歳	151 100.0	34 22.5	49 32.5	38 25.2	7 4.6	37 24.5	61 40.4	8 5.3	15 9.9	16 10.6	5 3.3	2 1.3			
40～49歳	126 100.0	20 15.9	59 46.8	20 15.9	6 4.8	34 27.0	39 31.0	27 21.4	10 7.9	10 7.9	5 4.0	2 1.6			
50～59歳	138 100.0	20 14.5	67 48.6	24 17.4	4 2.9	27 19.6	57 41.3	40 29.0	12 8.7	3 2.2	-	3 2.2			
60～69歳	144 100.0	25 17.4	58 40.3	19 13.2	4 2.8	42 29.2	39 27.1	32 22.2	18 12.5	6 4.2	8 5.6	4 2.8			
70歳以上	132 100.0	24 18.2	28 21.2	17 12.9	6 4.5	28 21.2	18 13.6	28 21.2	10 7.6	-	18 13.6	25 18.9			

- ◆ 前回調査と比較すると、「家族の協力や理解が得にくい」や「結婚退職、出産退職の慣習がある」、「男性に比べて賃金が安く、職種も限られている」、「保育施設の数や内容が十分でない」、「高齢者や病人の介護がある」で高くなっている。

	全体	間と男性に長いこと	男性に比べて賃金が安く、職種も限られている	家族の協力や理解が得にくい	結婚退職、出産退職の慣習がある	責任のある仕事を任せられない	男性に比べて賃金が安く、職種も限られている	保育施設の数や内容が十分でない	高齢者や病人の介護がある	女性自身の職業に不足している	家族や育児との両立が難しい	労働条件が整っていない	その他	分からない	無回答
鈴鹿市（今回）	1,335	18.3	32.2	22.3	4.6	25.1	32.5	14.8	10.5	---	---	4.3	4.9	5.2	
鈴鹿市（平成16年）	----	----	17.1	16.5	4.1	15.3	22.3	6.5	10.0	63.3	23.6	1.5	1.7	3.3	

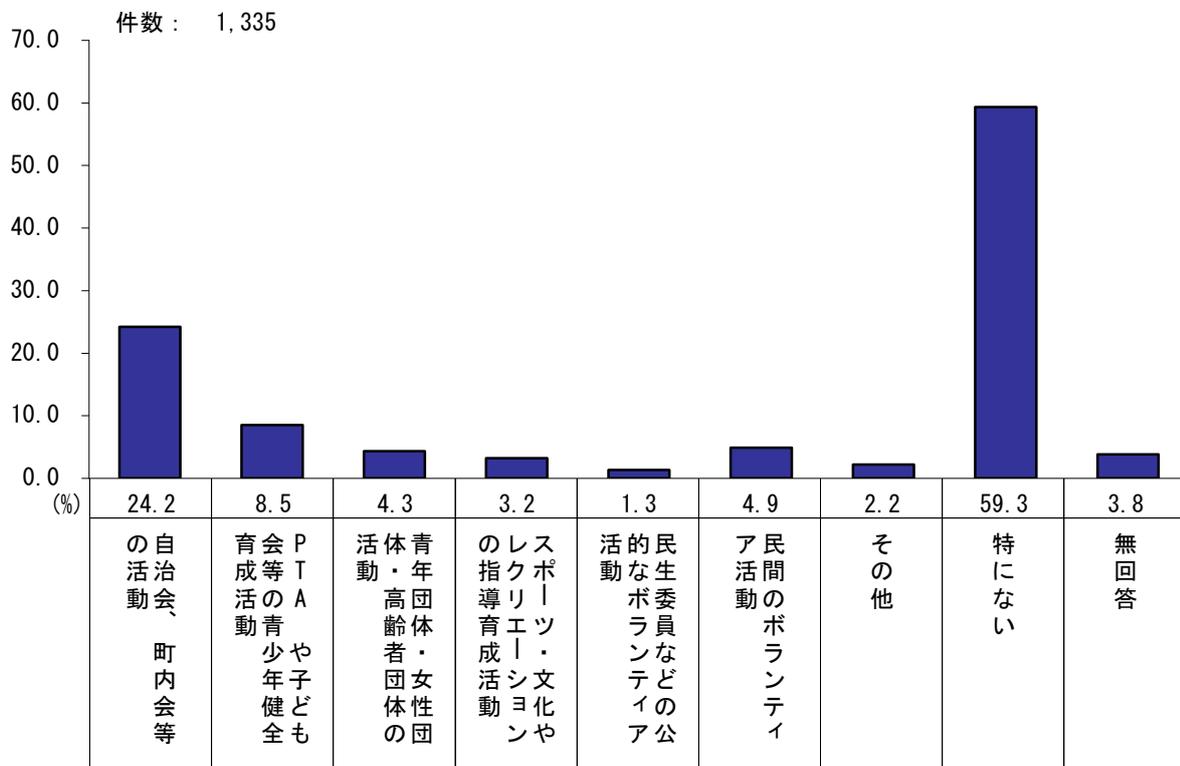
5 社会活動について

(1) 地域における社会活動について

問19 あなたは、現在、地域における社会活動を行っていますか。次の中からすべて選んで○印をつけてください。

- ◆ 地域における社会活動の参加状況について聞いたところ、「特にない」が59.3%と最も多く、半数以上の人々が地域における社会活動に参加していないことがうかがえる。

参加している人では、「自治会、町内会等の活動」が24.2%と最も多く、次いで「PTA や子ども会等の青少年健全育成活動」が8.5%、「青年団体・女性団体・高齢者団体の活動」が4.3%と続いている。



- ◆ 性・年代別にみると、男女とも20～29歳で特にないが8割以上を占めており、参加率は低くなっている。

参加している人では、「自治会、町内会等の活動」への参加率は、性別年齢関係なく高くなっている。特に男性の50歳代、60歳代で高くなっている。

「PTA や子ども会等の青少年健全育成活動」への参加率は、女性の30歳代から40歳代で高くなっている。

	全体	自治会、町内会等の活動	PTA や子ども会等の青少年健全育成活動	高齢者団体・女性団体の活動	スポーツ・文化やレクリエーションの指導活動	民生委員などの公的なボランティア活動	民間のボランティア活動	その他	特にない	無回答	
全体	1335 100.0	323 24.2	113 8.5	57 4.3	43 3.2	18 1.3	66 4.9	30 2.2	792 59.3	51 3.8	
男性	20～29歳	57 100.0	4 7.0	1 1.8	-	2 3.5	-	2 3.5	-	47 82.5	3 5.3
	30～39歳	85 100.0	22 25.9	7 8.2	2 2.4	5 5.9	-	2 2.4	3 3.5	54 63.5	2 2.4
	40～49歳	91 100.0	32 35.2	14 15.4	-	5 5.5	-	2 2.2	-	49 53.8	2 2.2
	50～59歳	83 100.0	32 38.6	4 4.8	1 1.2	7 8.4	2 2.4	7 8.4	2 2.4	44 53.0	1 1.2
	60～69歳	132 100.0	57 43.2	6 4.5	7 5.3	7 5.3	6 4.5	10 7.6	5 3.8	58 43.9	2 1.5
	70歳以上	107 100.0	24 22.4	1 0.9	12 11.2	2 1.9	3 2.8	7 6.5	5 4.7	59 55.1	9 8.4
	女性	66 100.0	6 9.1	3 4.5	1 1.5	-	1 1.5	3 4.5	1 1.5	55 83.3	-
30～39歳	151 100.0	32 21.2	41 27.2	3 2.0	3 2.0	-	3 2.0	3 2.0	85 56.3	3 2.0	
40～49歳	126 100.0	37 29.4	28 22.2	-	4 3.2	1 0.8	6 4.8	3 2.4	63 50.0	2 1.6	
50～59歳	138 100.0	32 23.2	5 3.6	4 2.9	2 1.4	4 2.9	8 5.8	4 2.9	86 62.3	5 3.6	
60～69歳	144 100.0	26 18.1	-	3 2.1	3 2.1	-	9 6.3	1 0.7	97 67.4	7 4.9	
70歳以上	132 100.0	14 10.6	3 2.3	22 16.7	3 2.3	1 0.8	7 5.3	2 1.5	83 62.9	11 8.3	

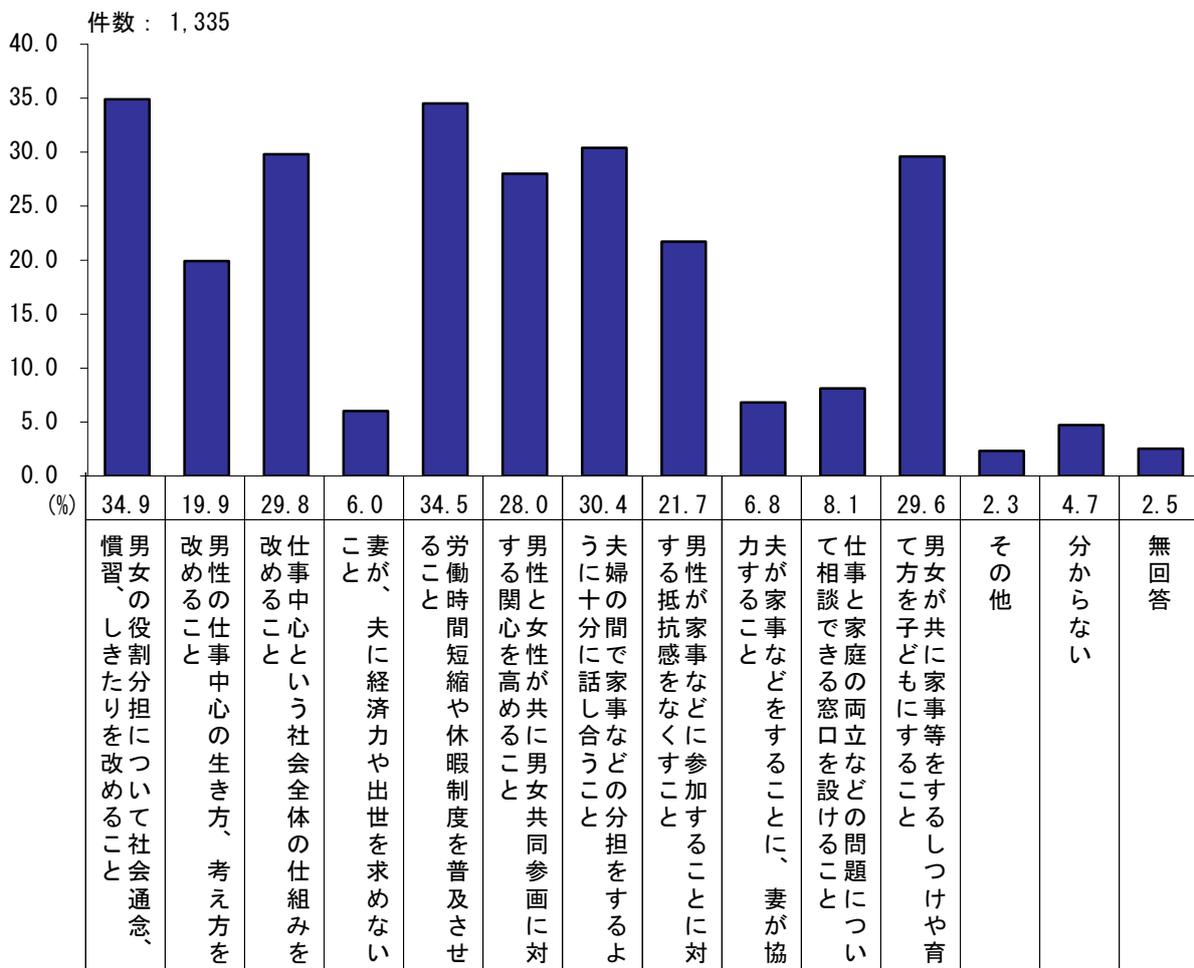
- ◆ 前回の調査結果と比較すると、「特にない」が41.4%から59.3%と参加率が低くなっている。

	全体	自治会、町内会等の活動	PTA や子ども会等の青少年健全育成活動	高齢者団体・女性団体の活動	スポーツ・文化やレクリエーションの指導活動	民生委員などの公的なボランティア活動	民間のボランティア活動	婦人団体の活動	趣味のサークル活動	市民講座、教育講座などの講座受講	消費者活動・住民運動	その他	特にない	無回答
鈴鹿市（今回）	1,335	24.2	8.5	4.3	3.2	1.3	4.9	----	----	----	----	2.2	59.3	3.8
鈴鹿市（平成16年）	----	30.3	11.8	----	11.4	1.5	4.6	2.7	18.8	5.6	1.1	3.6	41.4	5.6

(2) 男女が家事・子育て等に積極的に参加するために必要なこと

問20 今後、男性と女性が共に家事、子育てや教育、介護、地域活動等に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つまで選んで○印をつけてください。

- ◆ 男女が共に活動していくために必要なことについて聞いたところ、「男女の役割分担について社会通念、慣習、しきたりを改めること」が34.9%と最も多く、次いで「労働時間短縮や休暇制度を普及させること」が34.5%、「夫婦の間で家事などの分担をするように十分に話し合うこと」が30.4%、「仕事中心という社会全体の仕組みを改めること」が29.8%、「男女が共に家事等をするしつけや育て方を子どもにすること」が29.6%、「男性と女性が共に男女共同参画に対する関心を高めること」が28.0%と続いている。



◆ 性・年代別にみると、男性では、20歳代から50歳代で「仕事中心という社会全体の仕組みを改めること」、「労働時間短縮や休暇制度を普及させること」が多く、60歳以上では、「男女の役割分担について社会通念、慣習、しきたりを改めること」や「男性と女性が共に男女共同参画に対する関心を高めること」が多くなっており、4つの項目の回答率が高くなっている。一方女性では、年代ごとに高い項目が多岐に渡っており、特に家事や子育ての分担に関する項目について高くなっている。

	全体	きたりを改めること	男女の役割分担について	と方、男性の仕事を改めること	と方、男性の仕事を改めること	仕事中心という社会全体	妻が、夫に経済力や出世を求めないこと	労働時間短縮や休暇制度を普及させること	男性と女性が共に男女共同参画に対する関心を高めること	に話し合うこと	夫婦の間で家事などの分担を十分に	感なくすること	男性が家事などに参加すること	とに、妻が協力すること	夫が家事などをすること	窓口に設置して相談できること	仕事と家庭の両立など	にすけや育て方を子ども	男女が共に家事等を	その他	分からない	無回答
全体	1335 100.0	466 34.9	265 19.9	398 29.8	80 6.0	460 34.5	374 28.0	406 30.4	290 21.7	91 6.8	108 8.1	395 29.6	31 2.3	63 4.7	33 2.5							
男性	20～29歳	57 100.0	12 21.1	8 14.0	23 40.4	8 14.0	29 50.9	11 19.3	19 33.3	11 19.3	6 10.5	4 7.0	15 26.3	1 1.8	2 3.5							
	30～39歳	85 100.0	21 24.7	18 21.2	34 40.0	5 5.9	42 49.4	17 20.0	25 29.4	19 22.4	3 3.5	7 8.2	15 17.6	9 10.6	4 4.7							
	40～49歳	91 100.0	32 35.2	30 33.0	49 53.8	8 8.8	37 40.7	16 17.6	21 23.1	13 14.3	6 6.6	6 6.6	19 20.9	3 3.3	2 2.2	1 1.1						
	50～59歳	83 100.0	32 38.6	17 20.5	33 39.8	5 6.0	34 41.0	29 34.9	27 32.5	13 15.7	2 2.4	7 8.4	17 20.5	4 4.8	2 2.4	1 1.2						
	60～69歳	132 100.0	60 45.5	33 25.0	45 34.1	15 11.4	40 30.3	46 34.8	33 25.0	21 15.9	9 6.8	18 13.6	33 25.0	1 0.8	5 3.8							
	70歳以上	107 100.0	40 37.4	16 15.0	24 22.4	9 8.4	14 13.1	41 38.3	35 32.7	18 16.8	8 7.5	10 9.3	36 33.6	1 0.9	9 8.4	4 3.7						
	女性	20～29歳	66 100.0	19 28.8	9 13.6	16 24.2	3 4.5	39 59.1	15 22.7	20 30.3	20 30.3	7 10.6	8 12.1	14 21.2	1 1.5	1 1.5						
30～39歳		151 100.0	58 38.4	39 25.8	47 31.1	4 2.6	64 42.4	33 21.9	38 25.2	45 29.8	7 4.6	9 6.0	47 31.1	5 3.3	6 4.0	1 0.7						
40～49歳		126 100.0	48 38.1	26 20.6	43 34.1	4 3.2	46 36.5	29 23.0	28 22.2	29 23.0	7 5.6	9 7.1	48 38.1	2 1.6	6 4.8							
50～59歳		138 100.0	55 39.9	28 20.3	39 28.3	5 3.6	51 37.0	37 26.8	56 40.6	38 27.5	10 7.2	13 9.4	51 37.0	-	1 0.7	1 0.7						
60～69歳		144 100.0	55 38.2	19 13.2	23 16.0	5 3.5	42 29.2	59 41.0	55 38.2	39 27.1	10 6.9	10 6.9	47 32.6	1 0.7	6 4.2	4 2.8						
70歳以上		132 100.0	28 21.2	16 12.1	18 13.6	8 6.1	19 14.4	39 29.5	43 32.6	21 15.9	14 10.6	6 4.5	47 35.6	2 1.5	17 12.9	16 12.1						

◆ 前回調査と比較すると「男女の役割分担について社会通念、慣習、しきたりを改めること」以外の項目で高くなっている。県と比較すると、「男性と女性が共に男女共同参画に対する関心を高めること」など県よりも高くなっている。

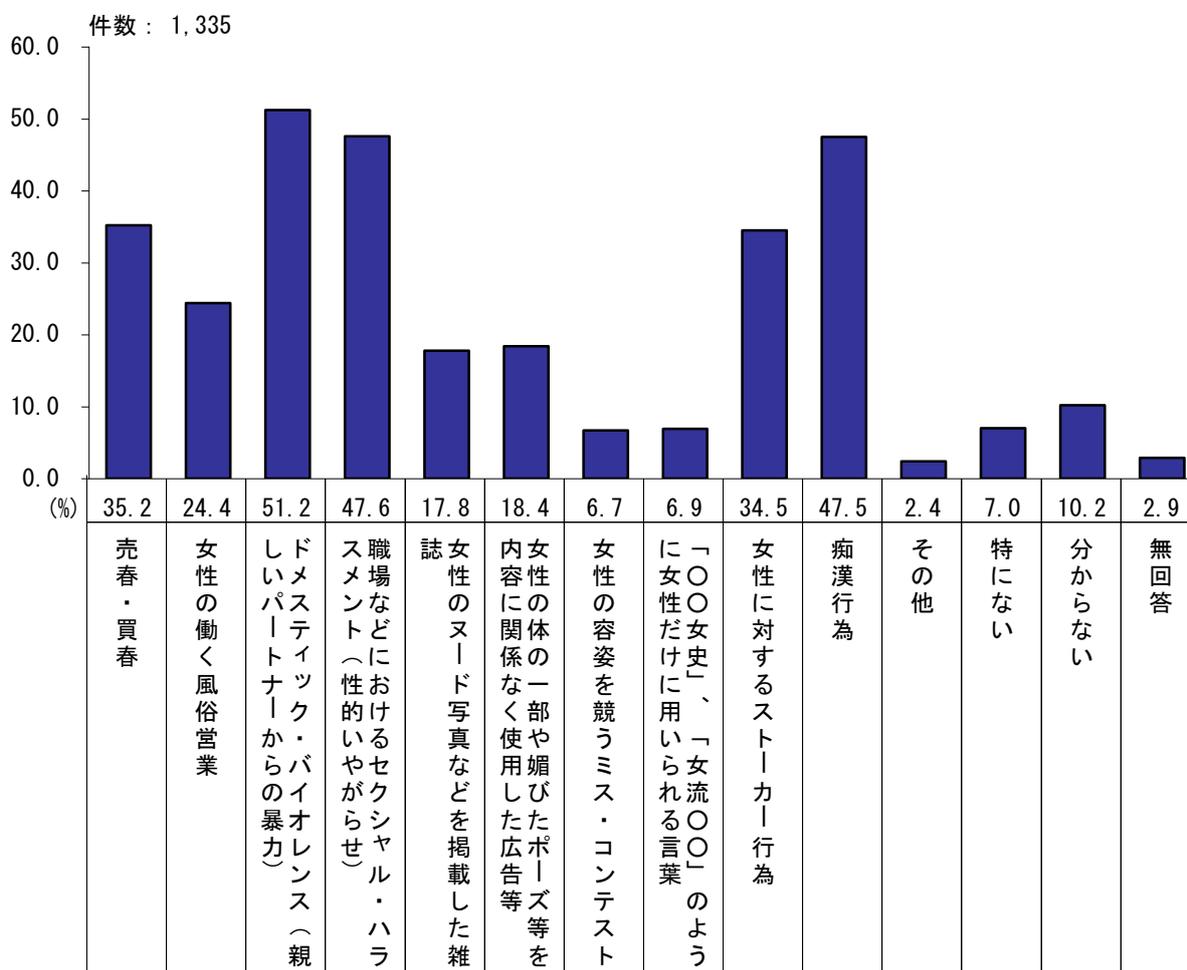
	全体	きたりを改めること	男女の役割分担について	と方、男性の仕事を改めること	と方、男性の仕事を改めること	仕事中心という社会全体	妻が、夫に経済力や出世を求めないこと	労働時間短縮や休暇制度を普及させること	男性と女性が共に男女共同参画に対する関心を高めること	に話し合うこと	夫婦の間で家事などの分担を十分に	感なくすること	男性が家事などに参加すること	とに、妻が協力すること	夫が家事などをすること	窓口に設置して相談できること	仕事と家庭の両立など	にすけや育て方を子ども	男女が共に家事等を	その他	分からない	無回答
鈴鹿市（今回）	1,335	34.9	19.9	29.8	6.0	34.5	28.0	30.4	21.7	6.8	8.1	29.6	2.3	4.7	2.5							
鈴鹿市（平成16年）	---	39.2	17.4	26.1	4.1	23.6	12.3	15.6	12.9	3.8	2.9	14.4	1.7	2.4	4.6							
県	2,615	35.5	22.2	25.9	7.3	33.0	13.3	25.4	21.7	6.0	6.3	25.4	1.6	6.2	3.9							

6 女性の人権について

(1) 女性の人権について

問21 あなたが、女性の人権が大切にされていないと感じるのは、どのようなことについてですか。次の中からすべて選んで○印をつけてください。

- ◆ 女性の人権が大切にされていないと感じることは何かと聞いたところ、「ドメスティック・バイオレンス」が51.2%と最も高く、次いで「職場などにおけるセクシャル・ハラスメント」が47.6%、「痴漢行為」が47.5%、「売春・買春」が35.2%、「女性に対するストーカー行為」が34.5%と続いている。



◆ 性・年代別にみると、性別・年代問わず「ドメスティック・バイオレンス」と「職場などにおけるセクシャル・ハラスメント」が高くなっている。

	全体	売春・買春	女性の働く風俗営業	ドメスティック・バイオレンス(親しいパートナーからの暴力)	職場などにおけるセクシャル・ハラスメント(性的いやがらせ)	職場などにおけるセクシャル・ハラスメント	女性のヌード写真などを掲載した雑誌	女性の体の一部や媚び態なく使用した広告等	女性の容姿を競うミス・コンテスト	女性に用いられる言葉	「〇〇女史」、「女流」のように女性だけ用いられる言葉	女性に対するストーカー行為	痴漢行為	その他	特にな	分からない	無回答
全体	1335 100.0	470 35.2	326 24.4	684 51.2	636 47.6	237 17.8	245 18.4	90 6.7	92 6.9	460 34.5	634 47.5	32 2.4	93 7.0	136 10.2	39 2.9		
男性	20～29歳	57 100.0	15 26.3	10 17.5	32 56.1	33 57.9	5 8.8	3 5.3	1 1.8	5 8.8	25 43.9	31 54.4	3 5.3	6 10.5	5 8.8	-	
	30～39歳	85 100.0	15 17.6	10 11.8	42 49.4	36 42.4	9 10.6	3 3.5	2 2.4	7 8.2	29 34.1	44 51.8	5 5.9	6 7.1	9 10.6	1 1.2	
	40～49歳	91 100.0	17 18.7	8 8.8	38 41.8	44 48.4	7 7.7	14 15.4	3 3.3	9 9.9	27 29.7	39 42.9	1 1.1	15 16.5	9 9.9	1 1.1	
	50～59歳	83 100.0	31 37.3	17 20.5	39 47.0	35 42.2	5 6.0	7 8.4	9 10.8	5 6.0	31 37.3	37 44.6	3 3.6	6 7.2	7 8.4	-	
	60～69歳	132 100.0	54 40.9	46 34.8	65 49.2	58 43.9	31 23.5	37 28.0	15 11.4	12 9.1	45 34.1	58 43.9	-	11 8.3	7 5.3	-	
	70歳以上	107 100.0	40 37.4	37 34.6	33 30.8	39 36.4	26 24.3	23 21.5	9 8.4	3 2.8	34 31.8	38 35.5	2 1.9	7 6.5	19 17.8	9 8.4	
	女性	20～29歳	66 100.0	14 21.2	9 13.6	42 63.6	38 57.6	6 9.1	6 9.1	5 7.6	3 4.5	23 34.8	34 51.5	-	6 9.1	9 13.6	-
30～39歳		151 100.0	58 38.4	34 22.5	87 57.6	86 57.0	20 13.2	18 11.9	10 6.6	9 6.0	45 29.8	80 53.0	5 3.3	10 6.6	8 5.3	0.7	
40～49歳		126 100.0	49 38.9	31 24.6	77 61.1	71 56.3	22 17.5	25 19.8	7 5.6	13 10.3	48 38.1	71 56.3	3 2.4	2 1.6	13 10.3	0.8	
50～59歳		138 100.0	63 45.7	40 29.0	88 63.8	79 57.2	28 20.3	34 24.6	13 9.4	9 6.5	56 40.6	81 58.7	6 4.3	5 3.6	8 5.8	3 2.2	
60～69歳		144 100.0	66 45.8	45 31.3	81 56.3	66 45.8	32 22.2	34 23.6	7 4.9	10 6.9	50 34.7	65 45.1	3 2.1	8 5.6	13 9.0	7 4.9	
70歳以上		132 100.0	44 33.3	34 25.8	51 38.6	42 31.8	42 31.8	38 28.8	6 4.5	6 4.5	43 32.6	48 36.4	-	9 6.8	23 17.4	13 9.8	

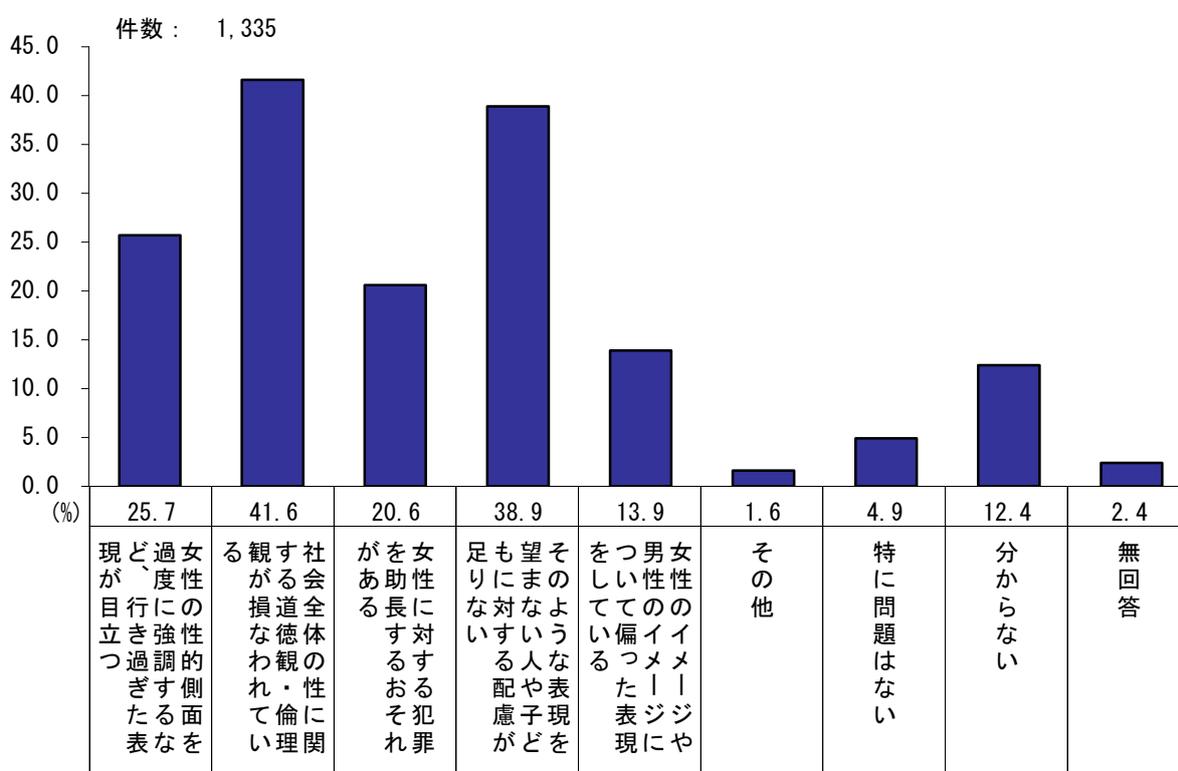
◆ 前回調査や県と比較すると、今回は“DV”，前は“セクハラ”，県は“痴漢”が最も多く、それぞれ多くの人を感じている項目が異なっている。

	全体	売春・買春	女性の働く風俗営業	ドメスティック・バイオレンス(親しいパートナーからの暴力)	暴力	家庭内での夫から妻への暴力	男性や親しい間柄にある恋人からの暴力	(性的いやがらせ)職場などにおけるセクシャル・ハラスメント	職場などにおけるセクシャル・ハラスメント	女性のヌード写真などを掲載した雑誌	女性の体の一部や媚び態なく使用した広告等	女性の容姿を競うミス・コンテスト	女性に用いられる言葉	「〇〇女史」、「女流」のように女性だけ用いられる言葉	女性に対するストーカー行為	痴漢行為	その他	特にな	分からない	無回答
鈴鹿市(今回)	1,335	35.2	24.4	51.2	----	----	47.6	17.8	18.4	6.7	6.9	34.5	47.5	2.4	7.0	10.2	2.9			
鈴鹿市(平成16年)	----	32.6	25.2	----	38.3	----	44.7	16.7	22.6	7.9	8.6	24.7	38.2	2.0	9.2	8.2	3.3			
県	2,615	----	----	----	47.4	34.1	55.0	18.4	21.3	6.4	6.3	40.6	55.1	0.6	----	----	----			

(2) メディアにおける性・暴力表現について

問22 メディア（新聞・テレビ等）における性・暴力表現について、あなたはどのように思いますか。次の中から2つまで選んで○印をつけてください。

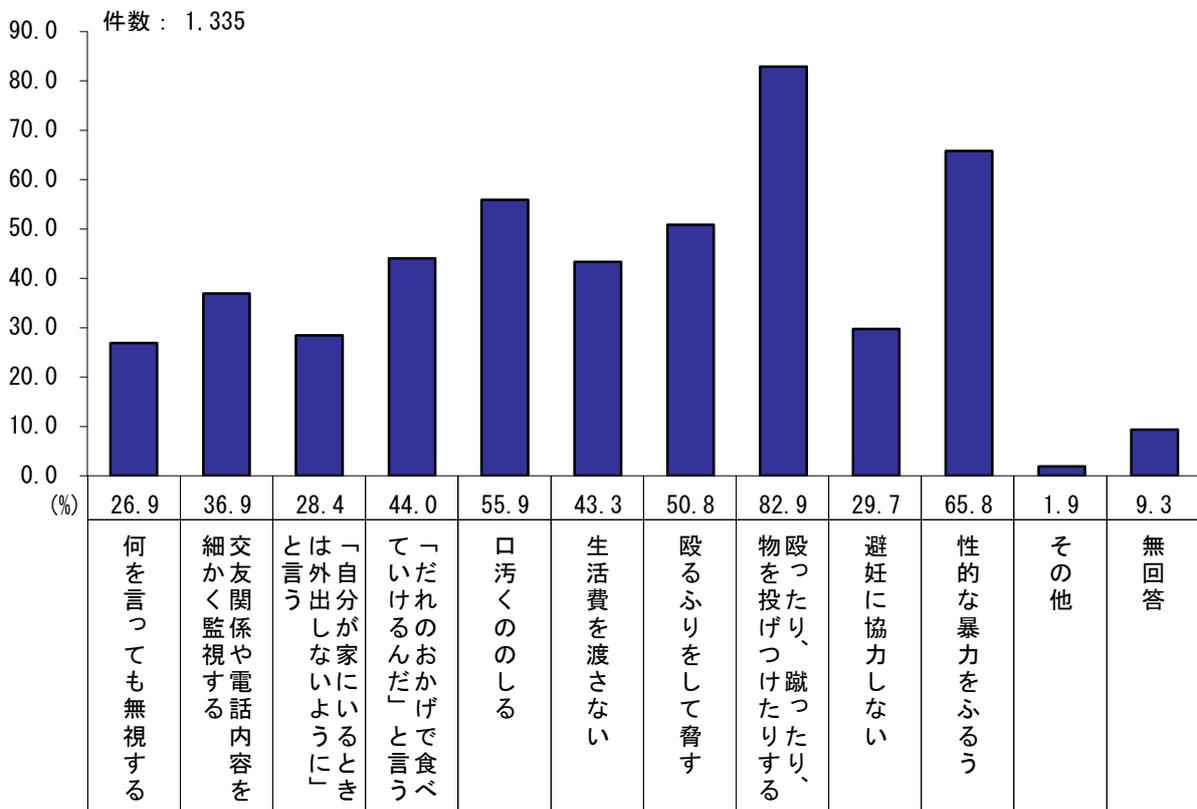
- ◆ メディアにおける性・暴力表現について聞いたところ、「社会全体の性に関する道徳観・倫理観が損なわれている」が41.6%と最も多く、次いで「そのような表現を望まない人や子どもに対する配慮が足りない」が38.9%、「女性の性的側面を過度に強調するなど、行き過ぎた表現が目立つ」が25.7%、「女性に対する犯罪を助長するおそれがある」が20.6%と続いている。



(3) ドメスティック・バイオレンス行為の認知度

問23 配偶者や恋人など親しいパートナーからの暴力(ドメスティック・バイオレンス)が、社会問題になっています。次にあげる行為がドメスティック・バイオレンスに当たることを知っていますか。あなたが知っているものを、次の中からすべて選んで○印をつけてください。

- ◆ ドメスティック・バイオレンスに当てはまる行為が何かについて聞いたところ、「殴ったり、蹴ったり、物を投げつけたりする」が82.9%と最も多く、次いで「性的な暴力をふるう」が65.8%、「口汚くののしる」が55.9%、「殴るふりをして脅す」が50.8%、「だれのおかげで食べているんだと言う」が44.0%、「生活費を渡さない」が43.3%と続いている。



◆ 性・年代別にみると、「殴ったり、蹴ったり、物を投げつけたりする」や「性的な暴力をふるう」では、性別を問わず年代が高くなるにつれて、認知度が低くなっており、若年層では9割以上の認知度だが、高年層では5割と低くなっている。他の項目についても性別問わず70歳以上の認知度は低くなっている。

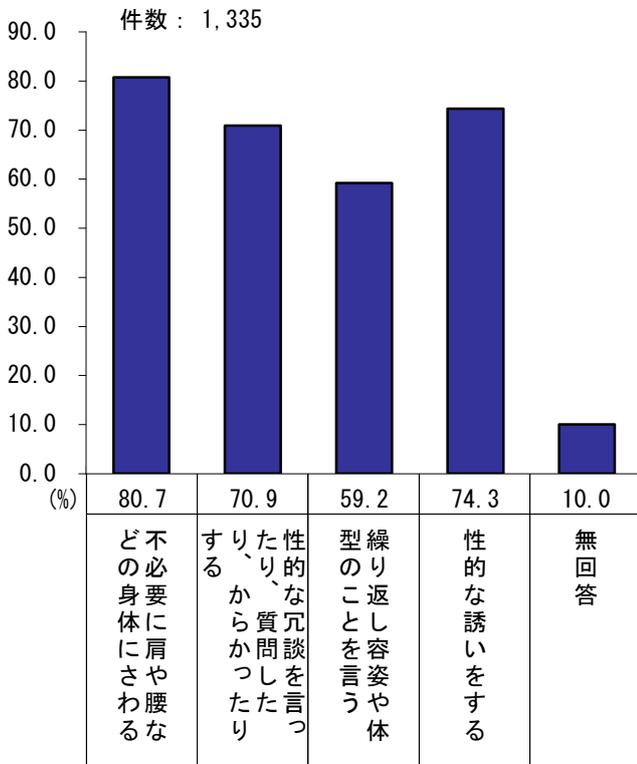
	全体	何を言っても無視する	交友関係を監視する	「自分が出ない」と言う	「べつに自分のおかげで食言う」	「だれかおんげで食言う」	口汚くののしる	生活費を渡さない	殴るふりをして脅す	殴るふりをして脅す	殴るふりをして脅す	殴るふりをして脅す	避妊に協力しない	性的な暴力をふるう	その他	無回答
全体	1335 100.0	359 26.9	493 36.9	379 28.4	588 44.0	746 55.9	578 43.3	678 50.8	1107 82.9	397 29.7	878 65.8	26 1.9	124 9.3			
男性	20～29歳	57 100.0	12 21.1	19 33.3	17 29.8	25 43.9	33 57.9	29 50.9	43 75.4	56 96.5	22 38.6	43 75.4	-	2 3.5		
	30～39歳	85 100.0	13 15.3	28 32.9	31 36.5	32 37.6	54 63.5	39 45.9	60 70.6	83 97.6	31 36.5	69 81.2	-	-		
	40～49歳	91 100.0	28 30.8	28 30.8	28 30.8	36 39.6	59 64.8	40 44.0	64 70.3	86 94.5	34 37.4	73 80.2	2 2.2	-		
	50～59歳	83 100.0	27 32.5	29 34.9	18 21.7	32 38.6	46 55.4	35 42.2	40 48.2	71 85.5	18 21.7	54 65.1	-	7 8.4		
	60～69歳	132 100.0	42 31.8	69 52.3	45 34.1	73 55.3	79 59.8	56 42.4	65 49.2	113 85.6	37 28.0	89 67.4	1 0.8	8 6.1		
	70歳以上	107 100.0	25 23.4	31 29.0	23 21.5	39 36.4	39 36.4	32 29.9	22 20.6	58 54.2	20 18.7	39 36.4	6 5.6	28 26.2		
	女性	20～29歳	66 100.0	13 19.7	29 43.9	28 42.4	28 42.4	41 62.1	30 45.5	48 72.7	62 93.9	31 47.0	52 78.8	1 1.5	3 4.5	
30～39歳		151 100.0	49 32.5	51 33.8	45 29.8	80 53.0	96 63.6	80 53.0	105 69.5	143 94.7	57 37.7	122 80.8	3 2.0	2 1.3		
40～49歳		126 100.0	33 26.2	51 40.5	43 34.1	59 46.8	60 70.6	60 47.6	84 66.7	119 94.4	41 32.5	105 83.3	3 2.4	2 1.6		
50～59歳		138 100.0	42 30.4	57 41.3	42 30.4	60 43.5	80 58.0	65 47.1	66 47.8	126 91.3	41 29.7	99 71.7	3 2.2	3 2.2		
60～69歳		144 100.0	36 25.0	59 41.0	35 24.3	65 45.1	72 50.0	54 37.5	51 35.4	110 76.4	39 27.1	81 56.3	2 1.4	18 12.5		
70歳以上		132 100.0	35 26.5	38 28.8	22 16.7	53 40.2	49 37.1	49 37.1	27 20.5	69 52.3	20 15.2	42 31.8	2 1.5	43 32.6		

(4) セクシュアル・ハラスメントやストーカー行為の認知度

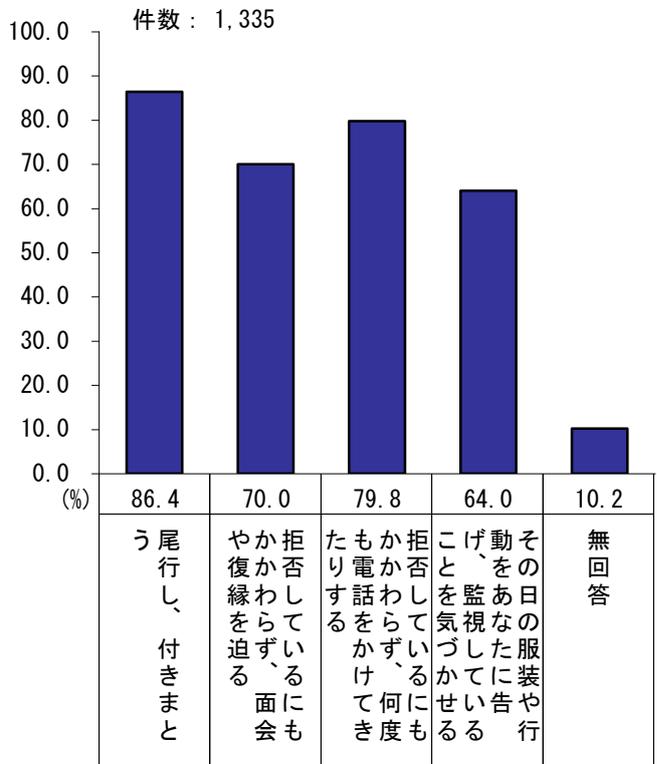
問24 ドメスティック・バイオレンスと同じように、セクシュアル・ハラスメント（性的嫌がらせ）やストーカー行為（つきまとい行為）も問題となっています。次にあげる行為がセクシュアル・ハラスメントやストーカー行為に当たる場合があることを知っていますか。あなたが知っているものを、次の中からすべて選んで○印をつけてください。

- ◆ セクシャル・ハラスメントやストーカー行為に当てはまるのは何かについて聞いたところ、【セクシャル・ハラスメント】では、「不必要に肩や腰などの身体にさわる」が80.7%と最も多く、次いで「性的な誘いをする」が74.3%、「性的な冗談を言ったり、質問したり、からかったりする」が70.9%、「繰り返し容姿や体型のことを言う」が59.2%と続いている。
【ストーカー行為】では、「尾行し、つきまとう」が86.4%、「拒否しているにもかかわらず、何度も電話をかけてきたりする」が79.8%、「拒否しているにもかかわらず、面会や復縁を迫る」が70.0%、「その日の服装や行動をあなたに告げ、監視していることを気づかせる」が64.0%と続いている。

【セクシュアル・ハラスメント】



【ストーカー行為】



- ◆ 性・年代別にみると、性別・年代問わずどの項目でも年代が高くなるにつれて認知度が低くなっている。

【セクシュアル・ハラスメント】

	全体	不必要に肩や腰などの身体にさわら	り、質問したりする	性的な冗談を言った	の繰り返す容姿や体型	性的な誘いをする	無回答
全体	1335 100.0	1078 80.7	946 70.9	790 59.2	992 74.3	134 10.0	
男性	20～29歳	57 100.0	54 94.7	46 80.7	44 77.2	49 86.0	1 1.8
	30～39歳	85 100.0	78 91.8	71 83.5	71 83.5	73 85.9	-
	40～49歳	91 100.0	83 91.2	75 82.4	74 81.3	76 83.5	2 2.2
	50～59歳	83 100.0	61 73.5	67 80.7	54 65.1	58 69.9	8 9.6
	60～69歳	132 100.0	110 83.3	96 72.7	83 62.9	91 68.9	6 4.5
	70歳以上	107 100.0	70 65.4	53 49.5	38 35.5	51 47.7	25 23.4
	女性	20～29歳	66 100.0	54 81.8	48 72.7	41 62.1	56 84.8
30～39歳		151 100.0	144 95.4	133 88.1	119 78.8	141 93.4	1 0.7
40～49歳		126 100.0	112 88.9	110 87.3	93 73.8	114 90.5	2 1.6
50～59歳		138 100.0	118 85.5	104 75.4	72 52.2	117 84.8	4 2.9
60～69歳		144 100.0	112 77.8	81 56.3	60 41.7	97 67.4	19 13.2
70歳以上		132 100.0	70 53.0	53 40.2	34 25.8	59 44.7	50 37.9

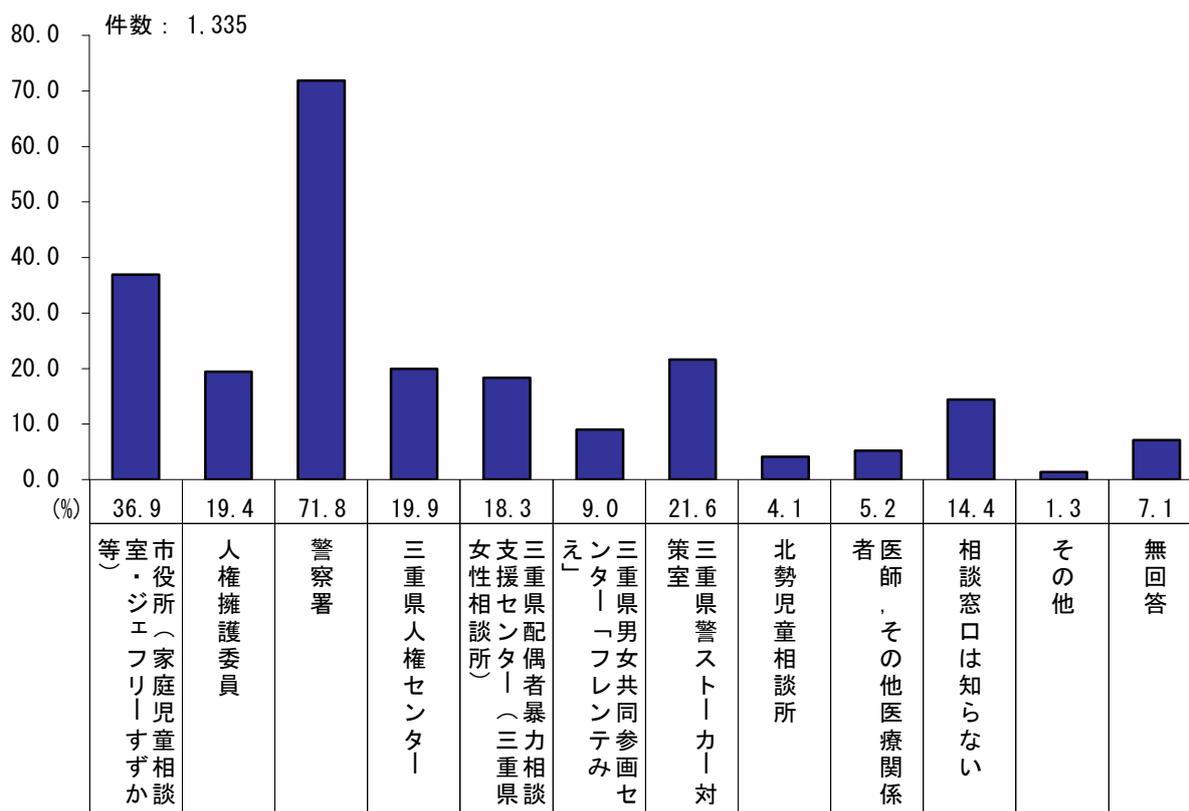
【ストーカー行為】

	全体	尾行し、つきまとう	拒否しているにもかかわらず、面会や復縁を迫る	拒否しているにもかかわらず、電話をかける	その日の服装や監視していることを告げ、監視している	無回答	
全体	1335 100.0	1153 86.4	934 70.0	1065 79.8	855 64.0	136 10.2	
男性	20～29歳	57 100.0	55 96.5	50 87.7	51 89.5	49 86.0	1 1.8
	30～39歳	85 100.0	84 98.8	75 88.2	77 90.6	76 89.4	-
	40～49歳	91 100.0	88 96.7	72 79.1	78 85.7	76 83.5	2 2.2
	50～59歳	83 100.0	70 84.3	59 71.1	67 80.7	44 53.0	7 8.4
	60～69歳	132 100.0	119 90.2	88 66.7	107 81.1	71 53.8	7 5.3
	70歳以上	107 100.0	74 69.2	49 45.8	60 56.1	27 25.2	26 24.3
	女性	20～29歳	66 100.0	61 92.4	55 83.3	57 86.4	58 87.9
30～39歳		151 100.0	150 99.3	133 88.1	145 96.0	129 85.4	1 0.7
40～49歳		126 100.0	121 96.0	108 85.7	117 92.9	106 84.1	4 3.2
50～59歳		138 100.0	128 92.8	101 73.2	120 87.0	99 71.7	3 2.2
60～69歳		144 100.0	116 80.6	82 56.9	104 72.2	72 50.0	21 14.6
70歳以上		132 100.0	74 56.1	53 40.2	70 53.0	41 31.1	51 38.6

(5) ドメスティック・バイオレンスやセクシュアル・ハラスメント，ストーカー行為などを受けたときに相談できる機関の認知度

問25 ドメスティック・バイオレンスやセクシュアル・ハラスメント，ストーカー行為などを受けたときに相談できる機関や関係者で，あなたが知っているのがありますか。あなたが知っているものを，次の中からすべて選んで○印をつけてください。

◆ ドメスティック・バイオレンスやセクシャル・ハラスメント，ストーカー行為などを受けたときに相談できる機関や関係者の認知度について聞いたところ，「警察署」が71.8%と最も高く，次いで「市役所」が36.9%，「三重県警ストーカー対策室」が21.6%，「三重県人権センター」が19.9%，「人権擁護委員」が19.4%，三重県配偶者暴力相談支援センターが18.3%と続いている。一方，「相談窓口は知らない」と答えた人は14.4%となっている。



- ◆ 性・年代別にみると、性別・年代問わず「市役所」や「警察署」が多くなっている。年代が高くなるにつれて「人権擁護委員」が多くなっており、若い年代には認知度が低いことがうかがえる。

	全体	市役所・家庭児童相談室・ジェフリーズ等	人権擁護委員	警察署	三重県人権センター	三重県女性相談センター（三重県支援センター）	三重県男女共同参画センター（フレンドミー）	三重県警ストーカー対策室	北勢児童相談所	医師、その他医療関係者	相談窓口は知らない	その他	無回答	
全体	1335 100.0	492 36.9	259 19.4	959 71.8	265 19.9	244 18.3	120 9.0	288 21.6	55 4.1	69 5.2	192 14.4	18 1.3	95 7.1	
男性	20～29歳	57 100.0	20 35.1	6 10.5	43 75.4	14 24.6	12 21.1	5 8.8	15 26.3	3 5.3	10 17.5	12 21.1	- -	2 3.5
	30～39歳	85 100.0	30 35.3	9 10.6	71 83.5	17 20.0	12 14.1	3 3.5	16 18.8	3 3.5	8 9.4	12 14.1	1 1.2	- -
	40～49歳	91 100.0	35 38.5	11 12.1	78 85.7	18 19.8	14 15.4	10 11.0	16 17.6	7 7.7	4 4.4	14 15.4	3 3.3	- -
	50～59歳	83 100.0	36 43.4	22 26.5	65 78.3	24 28.9	12 14.5	7 8.4	21 25.3	2 2.4	5 6.0	6 7.2	1 1.2	7 8.4
	60～69歳	132 100.0	63 47.7	55 41.7	97 73.5	44 33.3	34 25.8	17 12.9	51 38.6	8 6.1	4 3.0	15 11.4	- -	6 4.5
	70歳以上	107 100.0	39 36.4	37 34.6	61 57.0	28 26.2	21 19.6	16 15.0	29 27.1	4 3.7	2 1.9	14 13.1	3 2.8	17 15.9
	女性	20～29歳	66 100.0	25 37.9	4 6.1	44 66.7	8 12.1	8 12.1	5 7.6	10 15.2	- -	7 10.6	13 19.7	- -
30～39歳		151 100.0	64 42.4	9 6.0	126 83.4	16 10.6	25 16.6	12 7.9	15 9.9	10 6.6	12 7.9	17 11.3	- -	- -
40～49歳		126 100.0	52 41.3	15 11.9	108 85.7	21 16.7	21 16.7	12 9.5	21 16.7	5 4.0	8 6.3	7 5.6	1 0.8	4 3.2
50～59歳		138 100.0	44 31.9	23 16.7	100 72.5	24 17.4	28 20.3	9 6.5	28 20.3	6 4.3	3 2.2	26 18.8	4 2.9	4 2.9
60～69歳		144 100.0	51 35.4	34 23.6	100 69.4	24 16.7	28 19.4	15 10.4	38 26.4	3 2.1	3 2.1	26 18.1	3 2.1	14 9.7
70歳以上		132 100.0	28 21.2	28 21.2	53 40.2	22 16.7	24 18.2	8 6.1	23 17.4	1 0.8	2 1.5	25 18.9	2 1.5	32 24.2

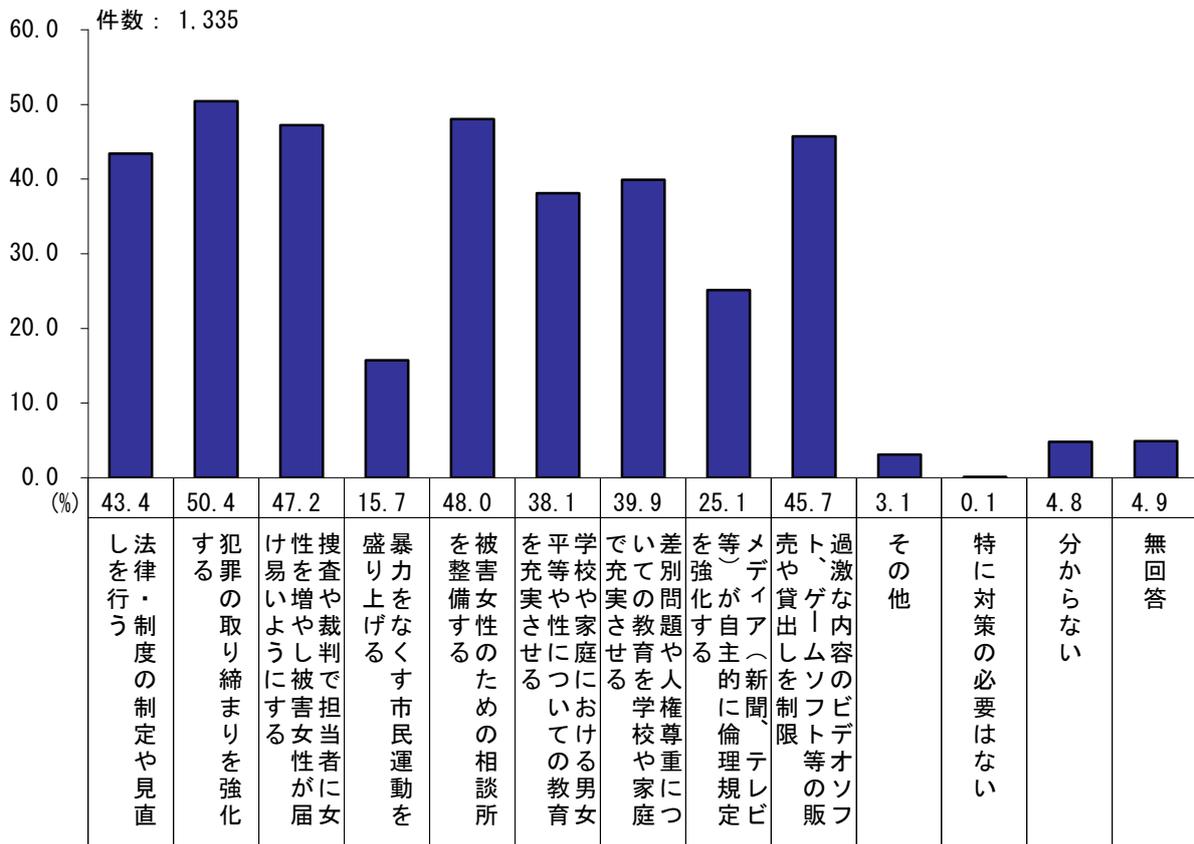
- ◆ 県と比較すると、「市役所」や「警察署」の意向が高く、さらに「人権擁護委員」や「三重県人権センター」の回答も県よりも高くなっている。

	全体	市役所・家庭児童相談室・ジェフリーズ等	人権擁護委員	警察署	三重県人権センター	三重県女性相談センター（三重県支援センター）	三重県男女共同参画センター（フレンドミー）	三重県警ストーカー対策室	北勢児童相談所	医師、その他医療関係者	民生児童委員	市町の女性性センタールや男女共同参画センター	婦人相談員	民間支援団体	相談窓口は知らない	その他	無回答
鈴鹿市（今回）	1,335	36.9	19.4	71.8	19.9	18.3	9.0	21.6	4.1	5.2	-----	-----	-----	-----	14.4	1.3	7.1
県	2,615	20.2	11.4	66.4	15.0	18.8	5.0	-----	-----	8.5	15.1	5.9	4.5	2.6	15.6	0.4	7.1

(6) 女性に対する暴力をなくすために必要なこと

問26 性犯罪, 売買春, ドメスティック・バイオレンス, セクシュアル・ハラスメント等, 女性に対する暴力をなくすためには, どうしたらよいと思いますか。次の中からすべて選んで○印をつけてください。

◆ 女性に対する暴力をなくすためにどうしたらよいかについて聞いたところ, 「犯罪の取締りを強化する」が50.4%と最も多く, 次いで「被害女性のための相談所を整備する」が48.0%, 「捜査や裁判で担当者に女性を増やし被害女性が届けやすいようにする」が47.2%, 「過激な内容のビデオソフト, ゲームソフト等の販売や貸出しを制限」が45.7%, 「法律・制度の制定や見直しを行う」が43.4%と続いている。多くの項目に回答を得ており, 多岐に渡った政策が必要であると考えている人がいることがうかがえる。



- ◆ 性・年代別にみると、男性の高年層に「過激な内容のビデオソフト、ゲームソフト等の販売や貸出しを制限」が多くなっている。性別を問わず年代が高くなるにつれて「法律・制度の制定や見直しを行う」が低くなっている。

	全体	法律・制度の制定や見直しを行う	犯罪の取締りを強化する	捜査や裁判で担当者に女性を増やし被害女性にやさしいようにする	暴力をなくす市民運動を盛り上げる	被害女性のための相談所を整備する	学校や家庭における男女平等の教育を充実させる	差別問題や人権尊重について学校や家庭で充実させる	メディア（新聞、テレビ等）が自主的に倫理規定を強化する	過激な内容のビデオソフト等の販売や貸出しを制限	その他	特に対策の必要はない	分からない	無回答	
全体	1335 100.0	579 43.4	673 50.4	630 47.2	209 15.7	641 48.0	508 38.1	532 39.9	335 25.1	610 45.7	41 3.1	2 0.1	64 4.8	66 4.9	
男性	20～29歳	57 100.0	33 57.9	34 59.6	34 59.6	5 8.8	29 50.9	31 54.4	24 42.1	11 19.3	13 22.8	2 3.5	1 1.8	2 3.5	1 1.8
	30～39歳	85 100.0	48 56.5	44 51.8	37 43.5	12 14.1	44 51.8	30 35.3	37 43.5	21 24.7	32 37.6	6 7.1	-	1 1.2	-
	40～49歳	91 100.0	38 41.8	41 45.1	41 45.1	12 13.2	42 46.2	35 38.5	40 44.0	30 33.0	30 33.0	3 3.3	-	6 6.6	-
	50～59歳	83 100.0	33 39.8	35 42.2	32 38.6	12 14.5	33 39.8	38 45.8	36 43.4	24 28.9	31 37.3	3 3.6	-	2 2.4	6 7.2
	60～69歳	132 100.0	57 43.2	73 55.3	56 42.4	33 25.0	62 47.0	58 43.9	65 49.2	37 28.0	71 53.8	3 2.3	1 0.8	5 3.8	2 1.5
	70歳以上	107 100.0	37 34.6	53 49.5	43 40.2	26 24.3	36 33.6	36 33.6	30 28.0	26 24.3	44 41.1	2 1.9	-	6 5.6	14 13.1
	女性	20～29歳	66 100.0	35 53.0	41 62.1	41 62.1	6 9.1	34 51.5	23 34.8	24 36.4	12 18.2	30 45.5	-	-	2 3.0
30～39歳	151 100.0	87 57.6	89 58.9	93 61.6	14 9.3	78 51.7	69 45.7	66 43.7	36 23.8	78 51.7	9 6.0	-	3 2.0	1 0.7	
40～49歳	126 100.0	58 46.0	63 50.0	65 51.6	12 9.5	62 49.2	50 39.7	60 47.6	38 30.2	61 48.4	5 4.0	-	3 2.4	2 1.6	
50～59歳	138 100.0	51 37.0	57 41.3	77 55.8	12 8.7	85 61.6	52 37.7	64 46.4	37 26.8	73 52.9	4 2.9	-	5 3.6	1 0.7	
60～69歳	144 100.0	56 38.9	76 52.8	55 38.2	32 22.2	74 51.4	53 36.8	50 34.7	35 24.3	77 53.5	2 1.4	-	12 8.3	9 6.3	
70歳以上	132 100.0	36 27.3	57 43.2	49 37.1	23 17.4	52 39.4	28 21.2	29 22.0	22 16.7	61 46.2	1 0.8	-	15 11.4	22 16.7	

- ◆ 前回調査や県と比較すると、前回調査よりも低くなっている項目もあるが、高くなっている項目として、「犯罪の取締りを強化する」、「捜査や裁判で担当者に女性を増やし被害女性が届けやすいようにする」、「被害女性のための相談所を整備する」、「差別問題や人権尊重についての教育を充実させる」、「過激な内容のビデオソフト、ゲームソフト等の販売や貸出しを制限」があげられている。前回調査よりも高いが県とは同水準となっている。

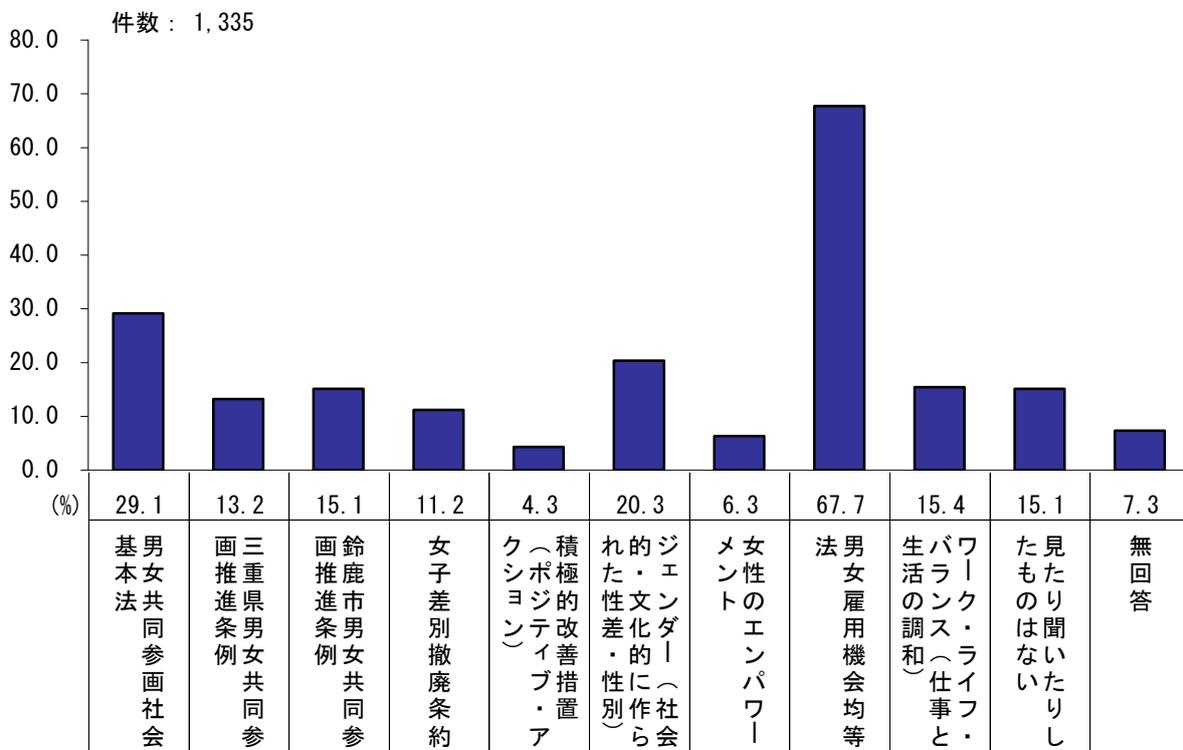
	全体	法律・制度の制定や見直しを行う	犯罪の取締りを強化する	捜査や裁判で担当者に女性を増やし被害女性にやさしいようにする	暴力をなくす市民運動を盛り上げる	被害女性のための相談所を整備する	学校や家庭における男女平等の教育を充実させる	差別問題や人権尊重について学校や家庭で充実させる	メディア（新聞、テレビ等）が自主的に倫理規定を強化する	過激な内容のビデオソフト等の販売や貸出しを制限	その他	特に対策の必要はない	分からない	無回答
鈴鹿市（今回）	1,335	43.4	50.4	47.2	15.7	48.0	38.1	39.9	25.1	45.7	3.1	0.1	4.8	4.9
鈴鹿市（平成16年）	---	50.3	47.6	44.9	30.8	14.4	51.1	30.9	25.0	38.0	2.3	0.5	2.4	3.8
県	2,615	49.3	51.4	45.7	19.2	47.6	32.3	31.5	29.9	46.6	1.3	0.9	6.0	3.5

7 男女共同参画社会について

(1) 見たり聞いたりしたことがある言葉

問27 あなたが見たり聞いたりしたことがある言葉を、次の中からすべて選んで○印をつけてください。

- ◆ 見たり聞いたりしたことがある言葉について聞いたところ、「男女雇用機会均等法」が67.7%と最も多く、次いで「男女共同参画社会基本法」が29.1%、「ジェンダー」が20.3%、「ワーク・ライフ・バランス」が15.4%と続いている。



◆ 性・年代別にみると、「ジェンダー」や「ワーク・ライフ・バランス」は、性別問わず若年層に多く、若年層での認知度が高いことがうかがえる。逆に「鈴鹿市男女共同参画推進条例」は、若年層での認知度が低いことがうかがえる。

	全体	男女共同参画社会基本法	三重県男女共同参画推進条例	鈴鹿市男女共同参画推進条例	女子差別撤廃条約	積極的改善措置（ポジティブ・アクション）	ジェンダー（社会的・性的・性別）	ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）	男女雇用機会均等法	女性のエンパワーメント	育児・介護休業法	ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）	女性のエンパワーメント	見たり聞いたものはない	無回答
全体	1335 100.0	389 29.1	176 13.2	201 15.1	150 11.2	58 4.3	271 20.3	84 6.3	904 67.7	206 15.4	202 15.1	97 7.3			
男性	20～29歳	57 100.0	20 35.1	3 5.3	3 5.3	11 19.3	8 14.0	24 42.1	7 12.3	44 77.2	14 24.6	8 14.0	1 1.8		
	30～39歳	85 100.0	20 23.5	8 9.4	8 9.4	8 9.4	4 4.7	20 23.5	3 3.5	66 77.6	25 29.4	11 12.9	1 1.2		
	40～49歳	91 100.0	26 28.6	10 11.0	9 9.9	8 8.8	6 6.6	21 23.1	7 7.7	68 74.7	20 22.0	15 16.5	2 2.2		
	50～59歳	83 100.0	31 37.3	11 13.3	13 15.7	10 12.0	5 6.0	15 18.1	4 4.8	63 75.9	18 21.7	9 10.8	2 2.4		
	60～69歳	132 100.0	52 39.4	21 15.9	30 22.7	11 8.3	1 0.8	13 9.8	1 0.8	103 78.0	20 15.2	13 9.8	7 5.3		
	70歳以上	107 100.0	31 29.0	15 14.0	20 18.7	19 17.8	2 1.9	9 8.4	3 2.8	63 58.9	9 8.4	18 16.8	14 13.1		
	女性	66 100.0	20 30.3	8 12.1	5 7.6	15 22.7	6 9.1	28 42.4	8 12.1	50 75.8	12 18.2	9 13.6	—		
30～39歳	151 100.0	44 29.1	22 14.6	17 11.3	17 11.3	7 4.6	50 33.1	17 11.3	113 74.8	24 15.9	25 16.6	1 0.7			
40～49歳	126 100.0	37 29.4	16 12.7	18 14.3	11 8.7	6 4.8	41 32.5	18 14.3	88 69.8	15 11.9	19 15.1	6 4.8			
50～59歳	138 100.0	41 29.7	20 14.5	21 15.2	9 6.5	5 3.6	34 24.6	11 8.0	98 71.0	21 15.2	18 13.0	7 5.1			
60～69歳	144 100.0	44 30.6	26 18.1	37 25.7	17 11.8	6 4.2	15 10.4	4 2.8	96 66.7	19 13.2	18 12.5	13 9.0			
70歳以上	132 100.0	19 14.4	13 9.8	19 14.4	12 9.1	1 0.8	1 0.8	1 0.8	43 32.6	8 6.1	33 25.0	37 28.0			

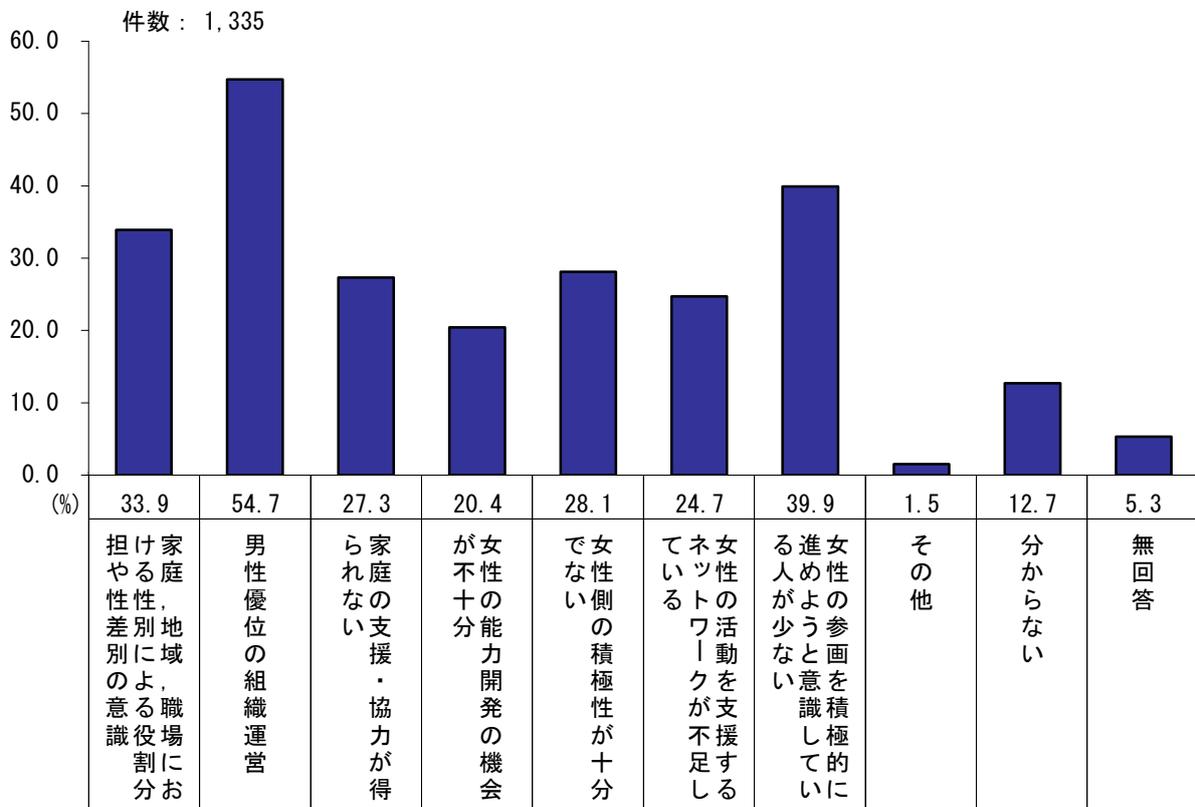
◆ 国や県と比較すると、国がほとんどの項目で県や今回調査よりも高く、今回調査は、県とほとんど差がない結果となった。

	全体	男女共同参画社会基本法	三重県男女共同参画推進条例	鈴鹿市男女共同参画推進条例	女子差別撤廃条約	積極的改善措置（ポジティブ・アクション）	ジェンダー（社会的・性的・性別）	女性のエンパワーメント	男女雇用機会均等法	ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）	育児・介護休業法	ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）	女性のエンパワーメント	見たり聞いたものはない	わからない	無回答
鈴鹿市（今回）	1,335	29.1	13.2	15.1	11.2	4.3	20.3	6.3	67.7	15.4	—	—	—	15.1	—	7.3
国	3,118	63.8	—	—	—	35.3	17.1	28.1	79.6	27.0	—	—	—	8.9	1.6	—
県	2,615	27.2	15.9	—	9.8	3.5	16.6	3.8	72.4	—	66.8	16.9	7.0	2.8	1.3	5.6

(2) 政治や行政での政策企画や方針決定の過程に女性の参画が少ない理由

問28 あなたは、政治や行政において、政策の企画や方針決定の過程に女性の参画が少ない理由は何だと思えますか。次の中からすべて選んで○印をつけてください。

- ◆ 政策の企画や方針決定の過程に女性の参画が少ない理由について聞いたところ、「男性優位の組織運営」が54.7%と最も多く、次いで「女性の参画を積極的に進めようとしている人が少ない」が39.9%、「家庭、地域、職場における性別による役割分担や性差別の意識」が33.9%、「女性側の積極性が十分でない」が28.1%と続いている。



- ◆ 性・年代別にみると、「家庭、地域、職場における性別による役割分担や性差別の意識」は女性の若年層・中年層で多くなっている。

	全体	担う家庭や性別による意識	男性優位の組織運営	家庭の役割分担	女性側が得られない	女性側が十分でない	女性側の積極性が十分でない	女性の活動が不足している	女性の意識が低い	女性の参画が積極的でない	その他	分からない	無回答
全体	1335 100.0	453 33.9	730 54.7	365 27.3	272 20.4	375 28.1	330 24.7	533 39.9	20 1.5	169 12.7	71 5.3		
男性	20～29歳	57 100.0	17 29.8	35 61.4	15 26.3	9 15.8	13 22.8	16 28.1	22 38.6	2 3.5	7 12.3	-	
	30～39歳	85 100.0	23 27.1	50 58.8	21 24.7	9 10.6	15 17.6	17 20.0	27 31.8	4 4.7	14 16.5	-	
	40～49歳	91 100.0	39 42.9	57 62.6	24 26.4	20 22.0	34 37.4	17 18.7	28 30.8	2 2.2	7 7.7	4 4.4	
	50～59歳	83 100.0	25 30.1	44 53.0	23 27.7	20 24.1	31 37.3	22 26.5	36 43.4	-	6 7.2	1 1.2	
	60～69歳	132 100.0	52 39.4	75 56.8	29 22.0	34 25.8	43 32.6	44 33.3	62 47.0	-	12 9.1	5 3.8	
	70歳以上	107 100.0	29 27.1	46 43.0	16 15.0	26 24.3	30 28.0	19 17.8	44 41.1	2 1.9	22 20.6	8 7.5	
	女性	20～29歳	66 100.0	31 47.0	34 51.5	21 31.8	14 21.2	16 24.2	25 37.9	21 31.8	-	8 12.1	1 1.5
30～39歳	151 100.0	66 43.7	98 64.9	60 39.7	22 14.6	41 27.2	40 26.5	62 41.1	1 0.7	13 8.6	1 0.7		
40～49歳	126 100.0	45 35.7	88 69.8	40 31.7	21 16.7	29 23.0	24 19.0	51 40.5	6 4.8	14 11.1	5 4.0		
50～59歳	138 100.0	60 43.5	79 57.2	48 34.8	41 29.7	36 26.1	39 28.3	62 44.9	2 1.4	13 9.4	3 2.2		
60～69歳	144 100.0	35 24.3	78 54.2	37 25.7	26 18.1	47 32.6	30 20.8	64 44.4	-	18 12.5	9 6.3		
70歳以上	132 100.0	26 19.7	36 27.3	27 20.5	24 18.2	33 25.0	31 23.5	45 34.1	-	32 24.2	28 21.2		

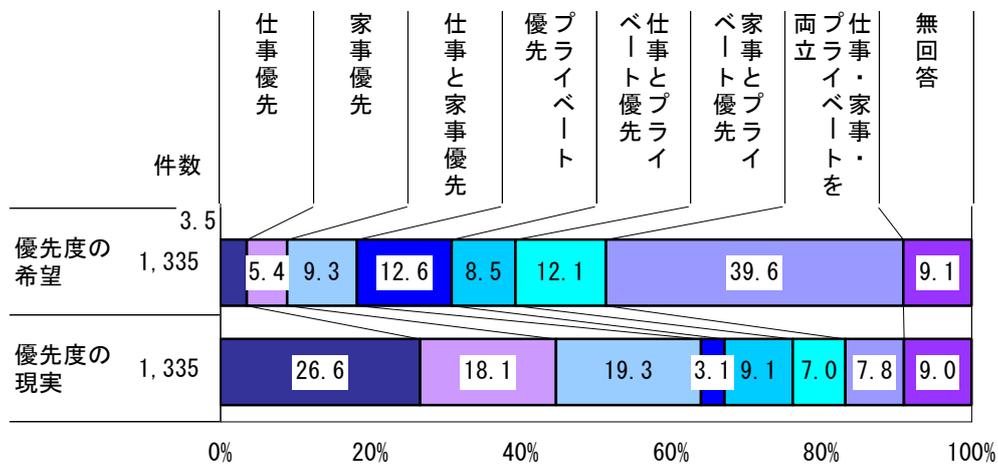
- ◆ 前回調査や県と比較すると、前回調査よりも低くなっている項目が多く、県とはあまり差がみられない結果となった。

	全体	別家庭の意識	男性優位の組織運営	家庭の役割分担	女性側が得られない	女性側が十分でない	女性側の積極性が十分でない	女性の活動が不足している	女性の意識が低い	女性の参画が積極的でない	その他	分からない	無回答
鈴鹿市（今回）	1,335	33.9	54.7	27.3	20.4	28.1	24.7	39.9	1.5	12.7	5.3		
鈴鹿市（平成16年）	----	40.0	60.5	23.3	25.2	32.9	----	40.8	1.1	5.6	4.7		
県	2,615	34.5	54.5	24.9	24.0	29.0	----	39.8	0.8	12.5	4.6		

(3) 仕事・家事・プライベートの優先度の希望と現実

問29 生活の中での、仕事・家事・プライベート（趣味など）の優先度について、お伺いします。あなたの「希望」の優先度と、「現実」の優先度について、一番近いものをそれぞれ1つ選んで、○印をつけてください。

- ◆ 生活の中での優先度について聞いたところ、希望は「仕事・家事・プライベートを両立」が39.6%と最も多くなっている。現実には、「仕事優先」が26.6%と最も多く、次いで「仕事と家事優先」が19.3%、「家事優先」が18.1%と希望と現実でのギャップがうかがえる。



- ◆ 性・年代別にみると、希望は、性年代に関わらず「仕事・家事・プライベートを両立」が多くなっているが、現実では、男性の20歳代から60歳代で「仕事優先」が多く、女性の高年層で「家事優先」が多くなっている。

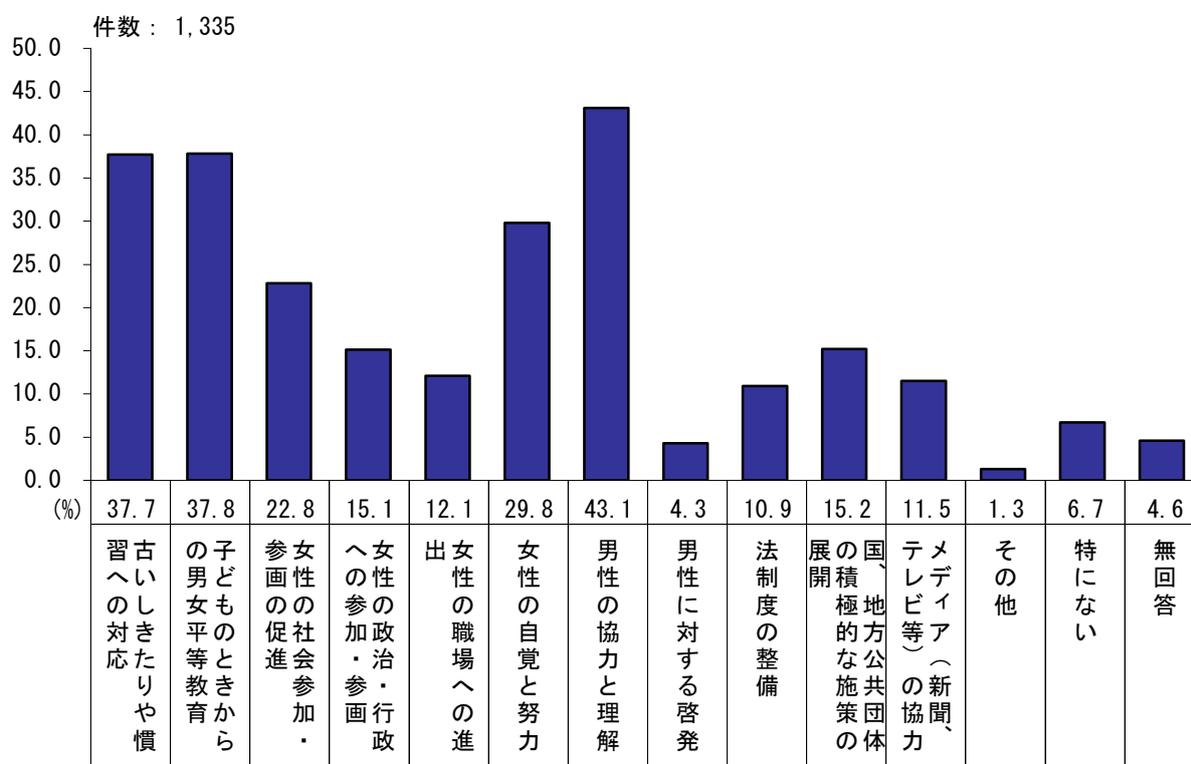
希望	全体	仕事優先	家事優先	仕事と家事優先	プライベート優先	仕事とプライベート優先	家事とプライベート優先	仕事・家事・プライベートを両立	無回答	
全体	1335 100.0	47 3.5	72 5.4	124 9.3	168 12.6	114 8.5	161 12.1	528 39.6	121 9.1	
男性	20～29歳	57 100.0	1 1.8	1 1.8	7 12.3	14 24.6	9 15.8	2 3.5	22 38.6	1 1.8
	30～39歳	85 100.0	8 9.4	-	8 9.4	16 18.8	8 9.4	5 5.9	40 47.1	-
	40～49歳	91 100.0	5 5.5	2 2.2	5 5.5	23 25.3	14 15.4	5 5.5	35 38.5	2 2.2
	50～59歳	83 100.0	4 4.8	1 1.2	8 9.6	6 7.2	19 22.9	5 6.0	35 42.2	5 6.0
	60～69歳	132 100.0	8 6.1	4 3.0	18 13.6	22 16.7	13 9.8	15 11.4	45 34.1	7 5.3
	70歳以上	107 100.0	5 4.7	7 6.5	26 24.3	9 8.4	10 9.3	7 6.5	21 19.6	22 20.6
	70歳以上	107 100.0	5 4.7	7 6.5	26 24.3	9 8.4	10 9.3	7 6.5	21 19.6	22 20.6
女性	20～29歳	66 100.0	1 1.5	1 1.5	2 3.0	11 16.7	10 15.2	7 10.6	33 50.0	1 1.5
	30～39歳	151 100.0	1 0.7	11 7.3	9 6.0	7 4.6	8 5.3	22 14.6	90 59.6	3 2.0
	40～49歳	126 100.0	2 1.6	7 5.6	3 2.4	12 9.5	3 2.4	23 18.3	72 57.1	4 3.2
	50～59歳	138 100.0	2 1.4	8 5.8	15 10.9	10 7.2	9 6.5	17 12.3	70 50.7	7 5.1
	60～69歳	144 100.0	2 1.4	13 9.0	11 7.6	21 14.6	9 6.3	35 24.3	36 25.0	17 11.8
	70歳以上	132 100.0	6 4.5	16 12.1	9 6.8	14 10.6	2 1.5	16 12.1	25 18.9	44 33.3
	70歳以上	132 100.0	6 4.5	16 12.1	9 6.8	14 10.6	2 1.5	16 12.1	25 18.9	44 33.3

現実	全体	仕事優先	家事優先	仕事と家事優先	プライベート優先	仕事とプライベート優先	家事とプライベート優先	仕事・家事・プライベートを両立	無回答	
全体	1335 100.0	355 26.6	241 18.1	258 19.3	41 3.1	122 9.1	94 7.0	104 7.8	120 9.0	
男性	20～29歳	57 100.0	32 56.1	1 1.8	8 14.0	-	13 22.8	-	1 1.8	2 3.5
	30～39歳	85 100.0	39 45.9	1 1.2	12 14.1	2 2.4	20 23.5	-	10 11.8	1 1.2
	40～49歳	91 100.0	45 49.5	1 1.1	21 23.1	1 1.1	13 14.3	2 2.2	5 5.5	3 3.3
	50～59歳	83 100.0	43 51.8	2 2.4	11 13.3	4 4.8	9 10.8	4 4.8	6 7.2	4 4.8
	60～69歳	132 100.0	39 29.5	4 3.0	23 17.4	11 8.3	16 12.1	11 8.3	19 14.4	9 6.8
	70歳以上	107 100.0	21 19.6	14 13.1	22 20.6	6 5.6	7 6.5	9 8.4	7 6.5	21 19.6
	70歳以上	107 100.0	21 19.6	14 13.1	22 20.6	6 5.6	7 6.5	9 8.4	7 6.5	21 19.6
女性	20～29歳	66 100.0	19 28.8	14 21.2	7 10.6	5 7.6	13 19.7	6 9.1	1 1.5	1 1.5
	30～39歳	151 100.0	25 16.6	52 34.4	36 23.8	3 2.0	10 6.6	11 7.3	12 7.9	2 1.3
	40～49歳	126 100.0	26 20.6	35 27.8	39 31.0	-	6 4.8	6 4.8	11 8.7	3 2.4
	50～59歳	138 100.0	24 17.4	41 29.7	45 32.6	1 0.7	5 3.6	8 5.8	8 5.8	6 4.3
	60～69歳	144 100.0	23 16.0	45 31.3	20 13.9	1 0.7	5 3.5	20 13.9	13 9.0	17 11.8
	70歳以上	132 100.0	15 11.4	28 21.2	12 9.1	6 4.5	4 3.0	14 10.6	10 7.6	43 32.6
	70歳以上	132 100.0	15 11.4	28 21.2	12 9.1	6 4.5	4 3.0	14 10.6	10 7.6	43 32.6

(4) 男女共同参画社会を実現するために必要なこと

問30 男女共同参画社会を実現するためには、今後どのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つまで選んで○印をつけてください。

- ◆ 男女共同参画を実現するために必要なことについて聞いたところ、「男性の協力と理解」が43.1%と最も多く、次いで「子どものときからの男女平等教育」が37.8%、「古いしきたりや慣習への対応」が37.7%、「女性の自覚と努力」が29.8%、「女性の社会参加・参画の促進」が22.8%と続いている。



- ◆ 性・年代別にみると、「男性の協力と理解」は男女問わず若年層・中年層で多くなっている。男性の50歳代・70歳以上、女性の70歳以上では「子どものときからの男女平等教育」、男性の60歳代では「古いしきたりや慣習への対応」が多くなっている。

	全体	古いしきたりや慣習への対応	子どものときからの男女平等教育	女性の社会参加・参画の促進	女性の政治・参画への参加	女性の職場への進出	女性の自覚と努力	男性の協力と理解	男性に対する啓発	法制度の整備	国、地方公共団体の積極的な施策の展開	メディア（新聞、テレビ等）の協力	その他	特にない	無回答	
全体	1335 100.0	503 37.7	504 37.8	304 22.8	201 15.1	162 12.1	398 29.8	575 43.1	58 4.3	146 10.9	203 15.2	154 11.5	17 1.3	90 6.7	62 4.6	
男性	20～29歳	57 100.0	22 38.6	21 36.8	10 17.5	6 10.5	6 10.5	16 28.1	33 57.9	2 3.5	14 24.6	9 15.8	10 17.5	1 1.8	1 1.8	-
	30～39歳	85 100.0	25 29.4	27 31.8	16 18.8	12 14.1	14 16.5	17 20.0	37 43.5	7 8.2	15 17.6	13 15.3	13 15.3	4 4.7	8 9.4	2 2.4
	40～49歳	91 100.0	35 38.5	33 36.3	17 18.7	19 20.9	17 18.7	25 27.5	40 44.0	8 8.8	7 7.7	8 8.8	14 15.4	-	7 7.7	2 2.2
	50～59歳	83 100.0	29 34.9	34 41.0	21 25.3	14 16.9	11 13.3	18 21.7	32 38.6	5 6.0	15 18.1	21 25.3	13 15.7	2 2.4	5 6.0	1 1.2
	60～69歳	132 100.0	58 43.9	42 31.8	46 34.8	27 20.5	10 7.6	46 34.8	44 33.3	7 5.3	13 9.8	32 24.2	13 9.8	-	7 5.3	5 3.8
	70歳以上	107 100.0	34 31.8	44 41.1	24 22.4	20 18.7	6 5.6	34 31.8	28 26.2	1 0.9	14 13.1	12 11.2	13 12.1	1 0.9	13 12.1	8 7.5
	70歳以上	66 100.0	29 43.9	23 34.8	14 21.2	7 10.6	15 22.7	20 30.3	39 59.1	1 1.5	10 15.2	9 13.6	12 18.2	2 3.0	1 1.5	-
女性	20～29歳	151 100.0	66 43.7	64 42.4	27 17.9	26 17.2	31 20.5	42 27.8	80 53.0	8 5.3	15 9.9	22 14.6	13 8.6	2 1.3	5 3.3	-
	30～39歳	126 100.0	52 41.3	58 46.0	22 17.5	13 10.3	12 9.5	34 27.0	60 47.6	3 2.4	11 8.7	20 15.9	12 9.5	2 1.6	9 7.1	5 4.0
	40～49歳	138 100.0	71 51.4	52 37.7	38 27.5	16 11.6	14 10.1	45 32.6	73 52.9	10 7.2	8 5.8	21 15.2	12 8.7	3 2.2	4 2.9	1 0.7
	50～59歳	144 100.0	52 36.1	51 35.4	42 29.2	17 11.8	15 10.4	56 38.9	58 40.3	4 2.8	14 9.7	19 13.2	16 11.1	-	9 6.3	8 5.6
	60～69歳	132 100.0	24 18.2	48 36.4	23 17.4	21 15.9	10 7.6	39 29.5	45 34.1	2 1.5	7 5.3	15 11.4	11 8.3	-	17 12.9	26 19.7
	70歳以上	132 100.0	24 18.2	48 36.4	23 17.4	21 15.9	10 7.6	39 29.5	45 34.1	2 1.5	7 5.3	15 11.4	11 8.3	-	17 12.9	26 19.7
	70歳以上	132 100.0	24 18.2	48 36.4	23 17.4	21 15.9	10 7.6	39 29.5	45 34.1	2 1.5	7 5.3	15 11.4	11 8.3	-	17 12.9	26 19.7

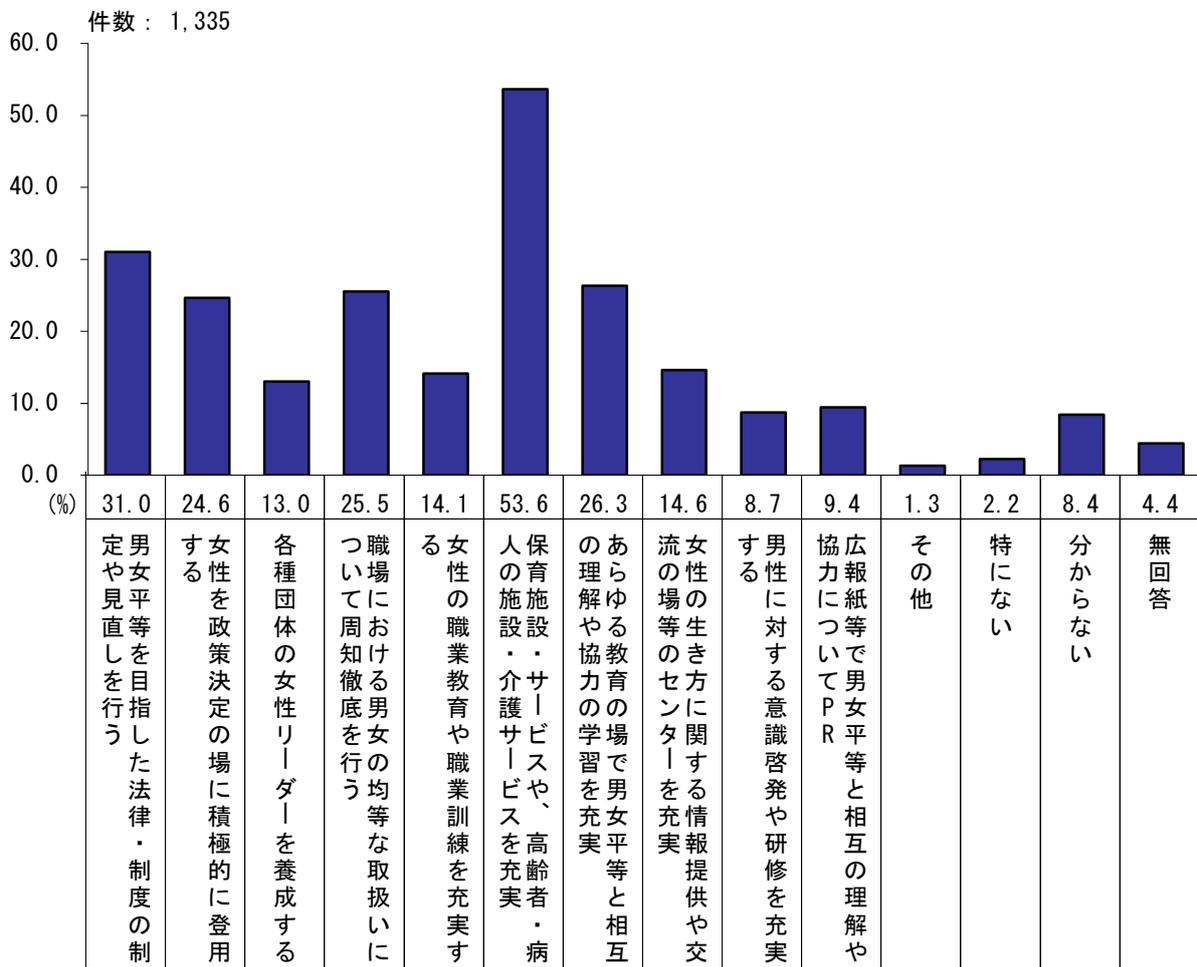
- ◆ 前回調査と比較すると、「古いしきたりや慣習への対応」はやや低くなっているが、「男性の協力と理解」は前回よりもやや高くなっている。

	全体	古いしきたりや慣習への対応	子どものときからの男女平等教育	女性の社会参加・参画の促進	女性の政治・参画への参加	女性の職場への進出	女性の自覚と努力	男性の協力と理解	男性に対する啓発	法制度の整備	国、地方公共団体の積極的な施策の展開	メディア（新聞、テレビ等）の協力	その他	特にない	無回答
鈴鹿市（今回）	1,335	37.7	37.8	22.8	15.1	12.1	29.8	43.1	4.3	10.9	15.2	11.5	1.3	6.7	4.6
鈴鹿市（平成16年）	----	43.0	36.7	25.3	15.8	10.9	36.8	41.2	3.9	11.2	17.9	8.3	0.5	3.5	3.0

(5) 男女共同参画を推進するために県や市が力を入れるべきこと

問31 男女共同参画を推進していくために、今後、県や市はどのようなことに力を入れていけばよいと思いますか。次の中から3つまで選んで○印をつけてください。

- ◆ 男女共同参画を推進していくために力を入れることについて聞いたところ、「保育施設・サービスや、高齢者・病人の施設・介護サービスを充実」が53.6%と最も多く、次いで「男女平等を目指した法律・制度の制定や見直しを行う」が31.0%、「あらゆる教育の場で男女平等と相互の理解や協力の学習を充実」が26.3%、「職場における男女の均等や取扱いについて周知徹底を行う」が25.5%、「女性を政策決定の場に積極的に登用する」が24.6%と続いている。



◆ 性・年代別にみると、女性の20歳代から30歳代と50歳代で「保育施設・サービスや、高齢者・病人の施設・介護サービスを充実」が特に高くなっている。

	全体	男女平等を指した法 律・制度の制定や見直し を行う	女性に政策決定の場 に積極的に登用する	各種団体の女性リー ダーを養成する	底な取扱いについて周 知徹底を行う	職場における男女の均 等な取扱い	女性の職業教育や職 業訓練を充実する	高齢者・病人の施設・ 介護サービスを充実	保育施設・サービスや、 高齢者・病人の施設・介 護サービスを充実	あらゆる教育の場 で男女平等と相互の理 解や協力の学習を充 実	あらかゆる教育の場 で男女平等と相互の理 解や協力の学習を充 実	女性提供や交流の場 等のターゲットを充 実	女性性の生き方に関 する情報提供や交流の 場等のターゲットを充 実	男性性に対する意識 啓発や研修を充実す る	PRの理解や協力につ いての相互の理解や協 力に努める	その他	特 に な い	分 か ら な い	無 回 答
全体	1335 100.0	414 31.0	329 24.6	173 13.0	341 25.5	188 14.1	715 53.6	351 26.3	195 14.6	116 8.7	125 9.4	17 1.3	30 2.2	112 8.4	59 4.4				
男性	20～29歳	57 100.0	20 35.1	13 22.8	8 14.0	22 38.6	6 10.5	22 38.6	14 24.6	3 5.3	9 15.8	5 8.8	2 3.5	2 3.5	5 8.8				
	30～39歳	85 100.0	22 25.9	24 28.2	12 14.1	19 22.4	13 15.3	45 52.9	16 18.8	17 20.0	13 15.3	6 7.1	5 5.9	3 3.5	6 7.1	1 1.2			
	40～49歳	91 100.0	28 30.8	20 22.0	18 19.8	26 28.6	17 18.7	41 45.1	20 22.0	10 11.0	9 9.9	6 6.6	1 1.1	2 2.2	10 11.0	2 2.2			
	50～59歳	83 100.0	29 34.9	18 21.7	11 13.3	19 22.9	17 20.5	45 54.2	27 32.5	23 27.7	5 6.0	9 10.8	1 1.2	1 1.2	4 4.8	2 2.4			
	60～69歳	132 100.0	38 28.8	49 37.1	24 18.2	37 28.0	15 11.4	67 50.8	47 35.6	23 17.4	6 4.5	18 13.6	1 0.8	3 2.3	7 5.3	3 3.8			
	70歳以上	107 100.0	32 29.9	36 33.6	23 21.5	24 22.4	14 13.1	36 33.6	24 22.4	8 7.5	7 6.5	13 12.1	-	4 3.7	17 15.9	7 6.5			
	女性	20～29歳	66 100.0	28 42.4	13 19.7	9 13.6	21 31.8	12 18.2	44 66.7	14 21.2	5 7.6	9 13.6	4 6.1	1 1.5	1 1.5	3 4.5	-		
30～39歳		151 100.0	54 35.8	39 25.8	20 13.2	47 31.1	22 14.6	95 62.9	38 25.2	18 11.9	14 9.3	5 3.3	-	-	8 5.3	1 0.7			
40～49歳		126 100.0	42 33.3	23 18.3	11 8.7	42 33.3	18 14.3	74 58.7	36 28.6	13 10.3	13 10.3	8 6.3	-	4 3.2	10 7.9	3 2.4			
50～59歳		138 100.0	42 30.4	32 23.2	13 9.4	33 23.9	23 16.7	100 72.5	41 29.7	21 15.2	15 10.9	16 11.6	4 2.9	1 0.7	6 4.3	3 2.2			
60～69歳		144 100.0	48 33.3	35 24.3	5 3.5	29 20.1	16 11.1	83 57.6	38 26.4	28 19.4	8 5.6	19 13.2	1 0.7	5 3.5	13 9.0	7 4.9			
70歳以上		132 100.0	28 21.2	24 18.2	13 9.8	20 15.2	14 10.6	54 40.9	31 23.5	22 16.7	7 5.3	14 10.6	1 0.8	4 3.0	19 14.4	24 18.2			

◆ 前回調査と比較すると、「保育施設・サービスや、高齢者・病人の施設・介護サービスを充実」が高くなっている。

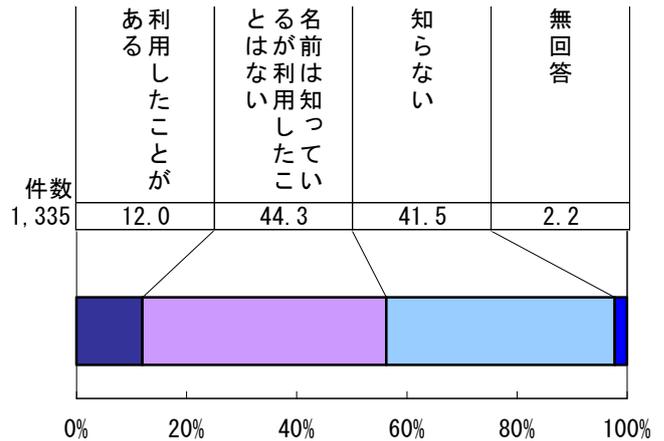
	全体	男女平等を指した法 律・制度の制定や見直し を行う	女性に政策決定の場 に積極的に登用する	各種団体の女性リー ダーを養成する	行取扱いにおける男女 の均等な取扱い	女性の職業教育や職 業訓練を充実する	高齢者・病人の施設・ 介護サービスを充実	保育施設・サービスや、 高齢者・病人の施設・介 護サービスを充実	あらゆる教育の場 で男女平等と相互の理 解や協力の学習を充 実	女性性の生き方に関 する情報提供や交流の 場等のターゲットを充 実	男性性に対する意識 啓発や研修を充実す る	PRの理解や協力につ いての相互の理解や協 力に努める	その他	特 に な い	分 か ら な い	無 回 答
鈴鹿市 (今回)	1,335	31.0	24.6	13.0	25.5	14.1	53.6	26.3	14.6	8.7	9.4	1.3	2.2	8.4	4.4	
鈴鹿市 (平成16年)	----	31.4	30.6	13.5	25.8	18.3	49.4	31.4	19.1	8.5	6.5	0.9	2.0	3.6	3.3	

8 鈴鹿市男女共同参画センター「ジェフリーすずか」について

(1) 鈴鹿市男女共同参画センター「ジェフリーすずか」の認知度

問32 あなたは、鈴鹿市男女共同参画センター「ジェフリーすずか」をご存じですか。
次の中から1つ選んで○印をつけてください。

- ◆ 男女共同参画センター「ジェフリーすずか」の認知度について聞いたところ、「名前は知っているが利用したことはない」が44.3%と最も多く、次いで「知らない」が41.5%となっている。認知度は56.3%と2人に1人は知っている。



- ◆ 性・年代別にみると、男性の若年層と中年層での認知度は低く、特に若年層の認知度が低くなっている。女性は20歳代と70歳代以上で認知度が低くなっている。

	全体	利用したことがある	名前は知っているが利用していない	知らない	無回答	
全体	1335 100.0	160 12.0	591 44.3	554 41.5	30 2.2	
男性	20～29歳	57 100.0	1 1.8	16 28.1	40 70.2	-
	30～39歳	85 100.0	4 4.7	28 32.9	53 62.4	-
	40～49歳	91 100.0	7 7.7	39 42.9	45 49.5	-
	50～59歳	83 100.0	9 10.8	29 34.9	44 53.0	1 1.2
	60～69歳	132 100.0	11 8.3	61 46.2	59 44.7	1 0.8
	70歳以上	107 100.0	12 11.2	39 36.4	49 45.8	7 6.5
	女性	20～29歳	66 100.0	11 16.7	25 37.9	30 45.5
30～39歳		151 100.0	25 16.6	85 56.3	41 27.2	-
40～49歳		126 100.0	25 19.8	63 50.0	37 29.4	1 0.8
50～59歳		138 100.0	23 16.7	80 58.0	35 25.4	-
60～69歳		144 100.0	20 13.9	73 50.7	49 34.0	2 1.4
70歳以上		132 100.0	9 6.8	47 35.6	62 47.0	14 10.6

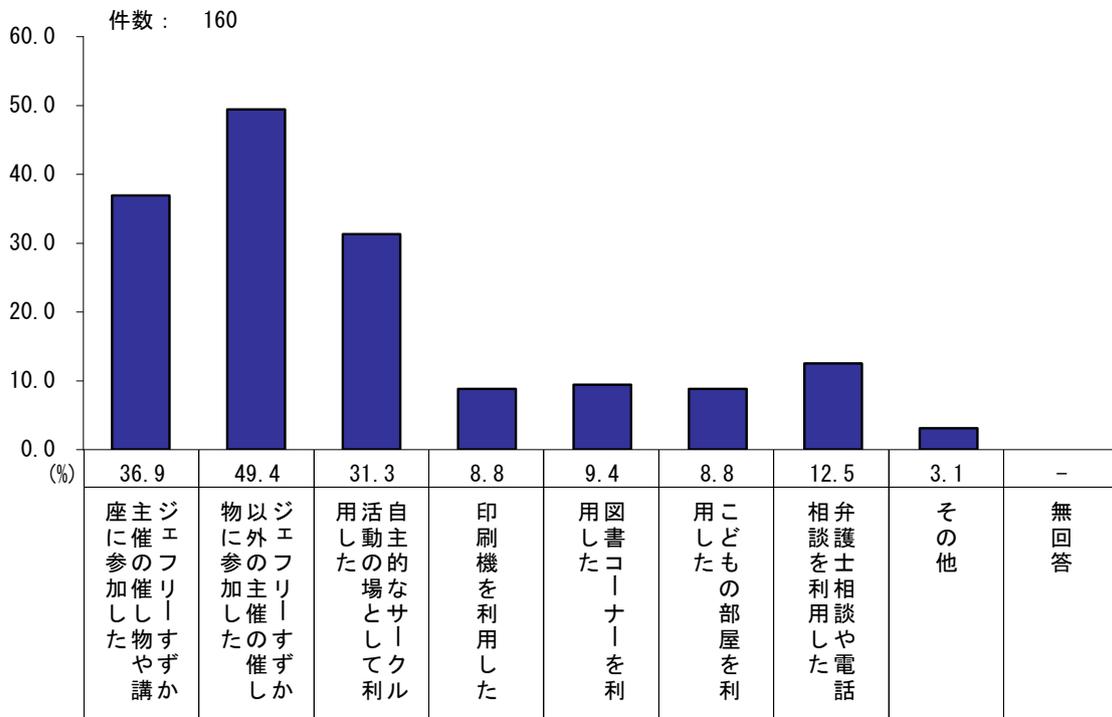
- ◆ 前回調査と比較すると、前回よりも利用者が多く、認知度も高くなっている。

	全体	利用したことがある	名前は知っているが利用していない	知らない	無回答
鈴鹿市（今回）	1,335	12.0	44.3	41.5	2.2
鈴鹿市（平成16年）	----	6.2	20.9	67.3	5.6

(2) 鈴鹿市男女共同参画センターの利用について

(問32で「1. 利用したことがある」と答えた方にお聞きします
 問33 あなたはどのようなかたちで男女共同参画センター「ジェフリーすずか」を利用しましたか。次の中からすべて選んで○印をつけてください。

- ◆ 利用したことがある人に、どんなかたちで利用したかを聞いたところ、「ジェフリーすずか以外の主催の催し物に参加した」が49.4%と最も多く、次いで「ジェフリーすずか主催の催し物や講座に参加した」が36.9%、「自主的なサークル活動の場として利用した」が31.3%と続いている。



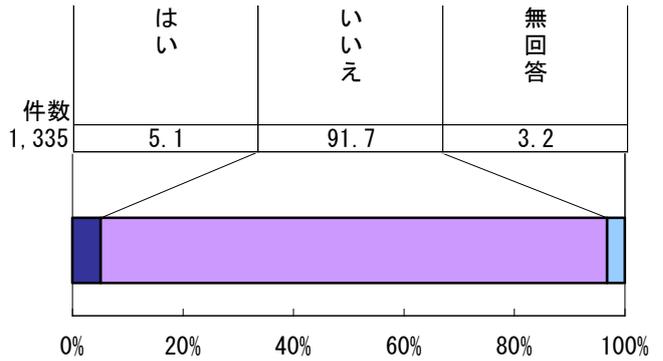
- ◆ 前回調査と比較すると、「ジェフリーすずか主催の催し物や講座に参加した」人は多くなっている。さらに「ジェフリーすずか以外の主催の催し物に参加した」、「自主的なサークル活動の場として利用した」人も多くなっている。

	全体	ジェフリーすずか主催の催し物や講座に参加した	ジェフリーすずか以外の主催の催し物に参加した	自主的なサークル活動の場として利用した	印刷機を利用した	図書コーナーを利用した	こどもの部屋を利用した	弁護士相談や電話相談を利用した	その他	無回答
鈴鹿市 (今回)	160	36.9	49.4	31.3	8.8	9.4	8.8	12.5	3.1	-
鈴鹿市 (平成16年)	----	15.8	31.6	24.6	3.5	10.5	5.3	3.5	5.3	-

(3) 鈴鹿市男女共同参画センターのホームページの閲覧の有無

問34 あなたは、鈴鹿市男女共同参画センター「ジェフリーすずか」のホームページを閲覧になったことがありますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

- ◆ ホームページの閲覧状況について聞いたところ、「見たことがない(いいえ)」が91.7%と最も多く、閲覧率は低い結果となっている。



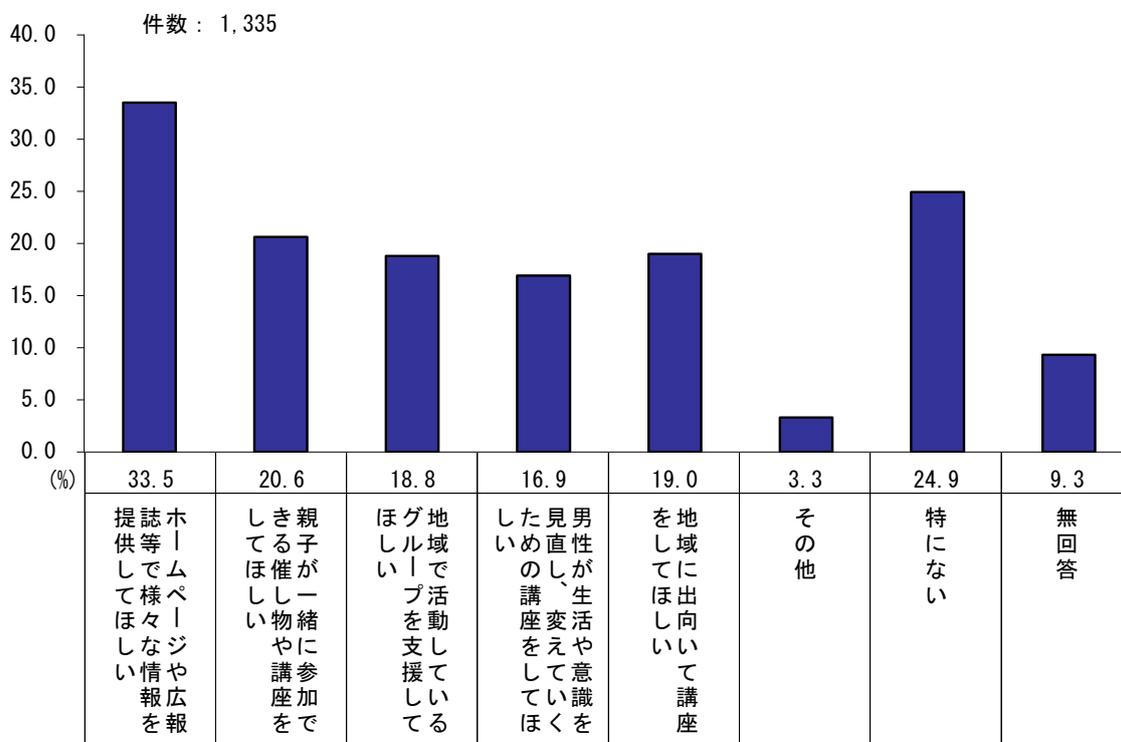
- ◆ 性・年代別にみると、どの年代でも9割以上の人が閲覧したことがない結果となっている。

	全体	はい	いいえ	無回答	
全体	1335 100.0	68 5.1	1224 91.7	43 3.2	
男性	20~29歳	57 100.0	1 1.8	56 98.2	-
	30~39歳	85 100.0	2 2.4	83 97.6	-
	40~49歳	91 100.0	4 4.4	87 95.6	-
	50~59歳	83 100.0	5 6.0	78 94.0	-
	60~69歳	132 100.0	10 7.6	120 90.9	2 1.5
	70歳以上	107 100.0	7 6.5	89 83.2	11 10.3
	女性	20~29歳	66 100.0	3 4.5	62 93.9
30~39歳		151 100.0	4 2.6	147 97.4	-
40~49歳		126 100.0	4 3.2	119 94.4	3 2.4
50~59歳		138 100.0	10 7.2	127 92.0	1 0.7
60~69歳		144 100.0	11 7.6	131 91.0	2 1.4
70歳以上		132 100.0	6 4.5	108 81.8	18 13.6

(4) 鈴鹿市男女共同参画センターに充実してほしいこと

問35 今後、男女共に利用できる施設として、男女共同参画センター「ジェフリーすずか」に何を充実してほしいと思いますか。次の中からすべて選んで○印をつけてください。

- ◆ 男女共同参画センター「ジェフリーすずか」に何を充実してほしいか聞いたところ、「ホームページや広報誌等で様々な情報を提供してほしい」が33.5%と最も多く、次いで「親子が一緒に参加できる催し物や講座をしてほしい」が20.6%、「地域に出向いて講座をしてほしい」が19.0%、「地域で活動しているグループを支援してほしい」が18.8%と続いている。



◆ 性・年代別にみると、男性の30歳代から40歳代と女性の30歳代では、親子で参加できる催し物や講座を望んでおり、それ以外では、情報提供を望んでいる声が多い。

	全体	してほ しな 情報 提供	ホム ペー ジや 広報 誌	親子 が一 緒に 参加 でき る	い ろ い ろ の 活 動 を 支 援 し て ほ し い	地 域 で 活 動 し て ほ し い	直 接 の 講 座 を し て ほ し い	男 性 が 生 活 や 意 識 を 見 て ほ し い	地 域 に 出 向 い て 講 座 を し て ほ し い	そ の 他	特 に な い	無 回 答
全体	1335 100.0	447 33.5	275 20.6	251 18.8	226 16.9	253 19.0	44 3.3	333 24.9	124 9.3			
男性	20～29歳	57 100.0	20 35.1	11 19.3	9 15.8	10 17.5	6 10.5	2 3.5	23 40.4	1 1.8		
	30～39歳	85 100.0	25 29.4	27 31.8	20 23.5	14 16.5	13 15.3	8 9.4	24 28.2	5 5.9		
	40～49歳	91 100.0	21 23.1	30 33.0	16 17.6	17 18.7	11 12.1	1 1.1	36 39.6	1 1.1		
	50～59歳	83 100.0	32 38.6	10 12.0	18 21.7	16 19.3	14 16.9	4 4.8	19 22.9	6 7.2		
	60～69歳	132 100.0	43 32.6	21 15.9	31 23.5	21 15.9	30 22.7	7 5.3	30 22.7	14 10.6		
	70歳以上	107 100.0	31 29.0	16 15.0	18 16.8	15 14.0	24 22.4	2 1.9	28 26.2	15 14.0		
	女性	20～29歳	66 100.0	24 36.4	21 31.8	13 19.7	14 21.2	14 21.2	1 1.5	14 21.2	2 3.0	
30～39歳		151 100.0	62 41.1	66 43.7	31 20.5	24 15.9	23 15.2	6 4.0	23 15.2	3 2.0		
40～49歳		126 100.0	46 36.5	22 17.5	17 13.5	20 15.9	14 11.1	6 4.8	38 30.2	6 4.8		
50～59歳		138 100.0	56 40.6	25 18.1	23 16.7	31 22.5	35 25.4	3 2.2	27 19.6	10 7.2		
60～69歳		144 100.0	43 29.9	14 9.7	23 16.0	25 17.4	37 25.7	3 2.1	38 26.4	15 10.4		
70歳以上		132 100.0	38 28.8	11 8.3	27 20.5	16 12.1	28 21.2	1 0.8	28 21.2	38 28.8		

9 男女共同参画に関する意見について

男女共同参画に関して、ご意見がありましたらご記入ください。

20歳代<男性>

1	このアンケートで何を実現するのでしょうか。また、それを市民に提示するのでしょうか。今回の内容はPRが不十分です。何をどうしたいのか、目指す場所が不明確です。
2	私達もこれから家庭を持ちたいと思っている若者も収入が少なくなり、結婚にためらいが感じられるようになる。子ども達を産んで育てていく負担が軽減される世の中になれば良いと思います。
3	いままでの古い習慣を改め、男女平等に扱われる社会をつくる必要がある。例えば、育児休暇を男性でも気軽に取れるなど。アット・ホーム・ダッドも、社会的に浮かぬような社会をつくるべきである。
4	もっと広報活動をするべき。
5	私が20代男性ということもあるかもしれないが、このアンケートの質問様式自体、女性中心の考えではないかと思う。女性が社会で平等に暮らせるように、行政も対応しなければと思うが、アンケート自体、平等性に欠けている。
6	男女共同参画という言葉が難しく感じられる。
7	このアンケートは昭和のにおいがする。古い。
8	自分はまだ大学生なので、的確な回答ができない。質問にもあったが、両親を見ていて、母親が働き続けている姿に、私が幼い頃には、祖父母は余り良い顔をしていませんでした。協力は一切なし。でも父親は父親なりに、家事、育児、子育て、私たち子ども3人の学校PTA活動にも進んで参加してくれ、母親を助けてきて現在に至ります。(大学生2人、高校生1人)私も将来、結婚してパートナーを助けていくのは、当たり前だと思います。幼い頃から両親の姿を見ていて、そう感じます。何事も、習慣は大切だと思います。
9	上記の意見はありませんが、ひとつだけお願いします。子育てに関するアンケートはひとつもないのですが、なぜ鈴鹿市は子育てに積極的ではないのですか？亀山では、子育てに関して積極的です。育児手当金、医療費などの差(保障内容、保障期間)がよくないので、亀山に住みたい、または住んでいる人がたくさんいます。ある人は、「人口がたくさんいるから、もう市民はいらないんだろう」と言う人もいるくらいです。鈴鹿市民としては、とても悔しいです。財政などいろいろあると思いますが、もう少し、子育てに関して調査、改革等をしていってもらえたら、うれしい限りです。子育て支援課さま、市長さまへよろしくお願いします。
10	女性が男性に差別されているというのなら、それを正すのは女性。正直、男の知ったことではない。
11	習慣の問題は根強く、これを改善するためには、法による強制力のもとで変えるほかないと考える。現在、最も求められるのは、古い慣習を持つ人々の意識改善よりも、これからの将来を担う子供たちに、あらかじめ男女の平等性を教育することだと考える。また、その際あくまで男性と女性は異なる人種だということを強調し、その子の個性に合った取り組みが必要であると考えます。

20歳代<女性>

12	一時保育を充実させたり、パート勤めに合わせて保育所に預けられるようになると、もっと女性も外へ出て行けるのにと思います。
13	「男女共同参画」と言う言葉は聞いたことがあるが、どういった内容(何をしているか?どういったことをするのか?)がよく分からないので、WEBなどで詳しい説明などあったら、と思う。
14	男性も子どもができた場合、会社を何日か休むことを恥ずかしながら協力し、会社側も夫なのにと思わず、休ませてほしい。少子化なのにお金の援助がいまいち。
15	男女共同参画は、男性もある程度分かっている人も、多くなっているように思います。ただ、働く時間が長く、分かっても出来きない現実があると思います。よりよく働き、幸せに暮らせるように、労働の制度を変えていくことなしに、男女共同参画は頭打ちになるのではないのでしょうか。
16	男女共同参画に関して、行政では各種の制度の充実や、法整備などの対策が求められると思います。しかし、男女が平等になるためには、いままで「女性だから」と甘やかされていた部分も、なくす必要があります。現在の女性の意識としては、平等にしてほしいと求めるだけで、そのような意識が欠如しているように思えます。なので、窓口相談や、託児所などを充実させることと同様に、男性、女性の意識を変えていくことが必要だと思います。
17	男女平等の意味を勘違いしている方も意外と多くいらっしゃるの、人としての等しさと、性としての等しさの違いをしっかりと伝えつつ、共同参画できたら良いと思います。
18	大学(名古屋)で、女性学の勉強をしているので、男女共同参画社会、DV、ワーク・ライフバランスなど詳しく知りました。女性が社会に対してまだ、平等とはいえない状態だと気付きました。名古屋では、女性教育リーダー研究会というようなセミナーをやっているの、地元鈴鹿でもやってほしいです。このセミナーを受けて、女性が社会に進出するということに対して、前向きに考えられるようになったし、視野が広がりました。鈴鹿にも、男女共同参画が浸透していくような環境になるよう、協力していきたいです。

30歳代<男性>

19	男女平等といっても、やはり女性は(子どもがいる人は)育児は責任ある育て方をしてほしい。学校での問題なども、小さい時の環境が、大人になって出てくるものだと思う。子育ても出来ない女性って最低だし、社会に出てもいい仕事ができないと思う。いつの世も、女性のでしゃばりは良くないと思う。
20	自分は男性だけど、女性が優遇されやすい質問が多いように感じた。頑張ったり、熱心なのは伝わるが、世間の目ってそんなんじゃないかもしれないよ、と思う質問も多々ありました。何より、個人を大切に思うことが大事だと思う。自分の周りには、元気で男性よりパワーもやる気も根性も持っている女性が多いのでピンときません。互いに思い合える世の中を作るのが大事ですね。
21	少子化が問題になっている時期に、女性の社会進出を促すのはどうかと思います。自立心があるのは良いと思いますが、女性にしか出来ないこと、男性にしか出来ないことがあると思うので、互いの居場所を失ってしまうことがあるかもしれないので、家庭内、夫婦内でよく話し合いをするのが一番ではないのでしょうか。法や条例、メディアで取り上げ過ぎるのはどうかと思います。益々少子化が進むのではないのでしょうか?

22	保育園の受け入れが少ないため、希望する園に入れなかった。そのことで母方の負担も増え、復帰にも影響があった。男女平等など考える時に、上記のような社会的な環境の整備をもっと行なってほしい。
23	男女共同参画とは、具体的にどのようなことですか？具体的な施策を提示することなく、アンケートを取って効果があるのでしょうか？女性を社会へ進出させようとする、経済的に負担を削減させる市としての取り組み(税金を減らす、子育て支援、支援金の配布)が必要だと考えます。(鈴鹿市は、市民税が高額なので…)
24	このアンケートにも男女差別があるような気がします。だから、差別はなくせないような気がしました。
25	今回のアンケートで初めて「ジェフリーすずか」などが、市内にあることを知りました。会社でも人権についての講習が毎年あります。私は、社内講習があるので、セクハラなどの言葉は理解できますが、一般ではそういった講習など聞くことや目にするのもあまりないので、もっと広く伝わるセミナーなどの開催や、学校、企業訪問など行なって知ってもらおうと、一層良いのではないのでしょうか？ショッピングセンターでのチラシ配りも効果があるかも。
26	女性に対するアクションばかりが目立つが、男性の協力、理解がなければ、到底実現できない。男性の理解はまだまだ低いと言わざるを得ない。より一層の啓蒙活動と、行政レベルでの支援が必要であると思われる。また、女性への職場進出、社会進出ばかりが取り上げられるが、男性が家事、育児、介護などに専念できる状況とは程遠い現状が、大きな足かせとなっていると思われる。男女共同参画というからには、男性、女性両者が共に仕事、家事、育児、介護、社会活動などに参画できるように、大きな意識改革が必要であると思われる。
27	子どものしつけで、男らしく、女らしく、は各家庭のやり方、考え方で良いと思います。大人になって、家庭の中で男性が女性だけに家事を任せるといった考え方にならないような子どもの頃からの教育は大切だと思います。女性が出産を機に、子どもの小学校入学を機に仕事を辞めざるを得ない今の状態はどうにかしてほしい。そのための保育所&学童保育の充実をお願いします。
28	自営業者にとっては、土日は休日ではない。そのため休日保育の制度が充実していない鈴鹿市では、自営業者は子育てがしにくい環境にあり、役所や園で非常につめたい対応をされた。鈴鹿市は、働くということを、土日休みと思いませんか？土日働く者のための政策も考えていますか？そういった質問への回答も、今後聞かせて下さい。よろしくお願いします。
29	くだらないことで税金を使うくらいならやめて下さい。いま現在、女性が働くくらいなら、男に仕事を与えてやって下さい。
30	悪質な不平等や男女差別は、法改正などで改善されるべきであるが、男女平等、男女共同参画と言っても、女性が大いに恩恵を受けている部分もある。完全に、男性側が不利な状況に追い込まれる。(冤罪の場合)その辺りも、平等にしない限り、完全なる平等は男女間では無理だと思います。ただし、性に対する(ゲーム、ビデオなどの)規制はするべき。

30歳代<女性>

31	すべてのことを、平等にすることにも無理があると思う。人それぞれの考え方、望み方があるだろうし。何が幸せで満足かは、本人が選べる社会がいい。その環境と選択肢は多い方がよい。どう頑張っても男性に出産はできません。何でもかんでも平等にとか、それは差別だと言うことにも、時に違和感を覚えることもあります。
----	--

32	神戸に住んでいますが、市役所が近く、ロビーをよく利用しますが、少し離れた「ジェフリーすずか」は一体何をしているところなのか、全く分かりません。広報などでもっと活動を取り上げた方が良いと思います。問 33 で、初めて図書コーナーがあるなどと知りました。ぜひお願いします。
33	性差別という程大げさではないが、「家事、育児<仕事」と思い込んでいる父親が多い。外で働き、お金を稼ぐということが別に偉いことでも何でもなく、一人前の大人として当然だということをもっと知らしめる必要がある。同時に、家庭内で、家事、育児を担当している女性は、旦那に対し、「食べさせてもらっている」という意識を取り除くべきである。結婚したのだし、世帯主になっている以上、当然の義務である。家事、育児＝仕事という価値観で日々暮らしているため、社会からの疎外感を感じることもないし、男性が優位などと思ったこともない。
34	便利な家電品や、宅配業などが増え、家事は昔に比べずいぶん楽ではないかと思っている人が多いと思います。どんなに便利なものが増えても、家事と育児は手を抜けないもので、一部の方で、他の協力者のもとでは仕事をフルタイムで頑張っている人や手抜き家事？などを見て、誤解されているところはあると思います。
35	特に役所に期待はしていない。出来ないことを出来るかのように言う市政は、全く興味も湧かない。
36	テレビで結婚した女性にだけ、料理や家事のことを聞くのはおかしいとも思います。有名人でテレビに出ているので、女性も仕事を持っている共働きなのですから、「家事の分担は？」と聞くのが正しいのでは。テレビではいまでも女性が料理などの家事をするものだと思われているようです。
37	保育園など、幼稚園児の対策の意見はよくありますが、小学生の子どもを持つ私たちが一番外へ出にくいのです。男女共同参画の前に、子育てしている私たちには、子育てのことで悩みがいっぱいです。こんなことをやっている暇があるのなら、もっと未来のために子育てのためになることをしていただきたい。子ども手当が少ない！なぜに小学生は 36,000 円の手当がもらえないのか！
38	男女は同権であっても、同質ではないと思います。お互いの役割を理解できる社会づくりが必要だと思います。女性を狙った犯罪は、ぜひ減らす方向で取り組んでほしいです。
39	働きながら子育てをしたい。もっともっと女性が家庭と育児が両立できるように支援してほしい。
40	仕事も男性並に責任のある役に就き、しかも少子化問題を解決すべく…なんて正直とても難しいことだと思います。本当に両立できるのでしょうか？ (男女で給料に差がある求人広告の貼り付け有り:時給 男 1,100 円/H 女 900 円/H)
41	男女雇用機会均等法という言葉は耳にして、数十年経過していますが、私の働く職場では、入社時と男女の差別は何も変わることがなく、いまでも寿退社を推進し、産休や育休を取った社員はひとりもいません。私自身、兄弟もなく、両親と同居しているため、いつかは介護も必要になり、会社も続けられない時がくるかと予想しています。せめてその頃には、もう少し、働く女性をバックアップしてもらえそうな環境になってほしいと思います。家事、育児、介護、どれも女性に適している内容だと私は思います。女性が主流となる役目だとも考えます。が、職場や男性のサポートや理解なしでは、女性の身体、心ともに負担が増えます。男女平等とは思っていませんが、協力と理解が不足しているように思えます。
42	子どもがいても働ける環境づくり。保育や学童の充実をもっとサポートしてほしい。

43	働くことばかりに集中しすぎて、子どもに目が行き届いていない(ほったらかし)。男性も、女性もと考えず、お互いが協力して生活し、思いやりがあればいいと思う。そのために、よく話し合い理解していく社会が必要。欲が深くなり過ぎ、本当に必要なことが見落とされていると思う。汚い仕事でも女性が関わり、男性と同じような仕事ができるこそ、女性の平等になると考えます。
44	いたずらに、男女を意識する、というよりは、子どもから年寄りまで広く巻き込んでいけるといいのでは。そうは言っても、現実はまだまだ男性中心社会なので(女性が首長を務める地方が圧倒的に少ない)。今のところは、女性の声やエネルギーを意識して拾いに行ったほうがいい。女性も自分の立場だけでものを言わないで、全体を見渡せる力量を付けないといけない。ハコモノ(施設)やルール(法律)以上に、ひとりひとりが主体的に動くことの方が大事。趣旨と外れるかもしれませんが、性差以上に世代間とか、価値観の異なる集団の間の断絶のほうが大きいように感じる。皆自分の身の周りの狭い世界しか見ていないし考えていない。そっちからくる問題のほうが深刻に思う。
45	「ジェフリーすずか」とは何なのか知りません。7人家族ですが、誰一人知りません。「ジェフリーすずか」ゆきのバスは見た事があります。何をするとところで、何のためのものなのかわかるようにして下さい。
46	女性も働かないと生活はやっていけないが、男は仕事、女は家の意識が根強く残っており、女性は仕事と家事、介護を両立させなければならず、悲鳴を上げている。小学生になると、夜までみてる施設もなく、仕事に限られるし、介護保険にも限度がある。結局、女性の負担が大き過ぎる世の中である。虐待のニュースを見て仕方ないと思います。
47	女性が、もっと心豊かに生きていけるよう、取り組んでいただきたく思います。
48	女性がもっと、社会に進出できるようにしてほしいです。結婚、出産しても、仕事ができるよう、雇用制度の改善、保育の面の支援などをお願いします。また、近頃では、事務職で正規で働く機会が少なく、派遣社員としての働き方しかほとんどありません。もっと、女性の雇用の機会を増やし、社会で活躍できるようにしてほしいです。
49	男女差別は良くないが、区別はするべきである。(身体の面などで)女性に向いていること、女性にしかできないことを、もっと紹介してほしい。
50	私は、美容師をしているので、仕事上は男女平等だと思っています。いま、妊娠中で、出産後の仕事には、いろいろ影響があると思いますが、できるだけ、努力したいと思います。男女平等ということについては、女の方が優遇されていると思います。「家事手伝い」「専業主婦」は、世間からの逃げで、甘えていると思います。「ニート」と同じだと思います。
51	鈴鹿市は歴史が古く、土着民、兼業農家が多いため、必ずしも家族全員(大人)が、社会に出て働かなくても食べていける文化がある。この古くさい文化を取り払わないと、女性の社会進出は促進しないと思う。少なくとも他府県出身の私としては、職場内を見渡してみても、男性の補佐的な仕事を好む女性がまだまだ多いのが、とても気になることです。
52	これからの社会における男女のあり方、役割について、こうあるべきというような画一的な見方は、望ましくなく、一個人として、その人らしさ(男らしさ、女らしさを含めて)をお互いに認め合うような、柔軟なものが見方が求められるのではないかと思います。

40歳代<男性>

53	問8で、父親が育児に専念する可能性を全く考えていないところが、男女共同参画課の根深い女性差別を感じました。問 21, 23, 24 は、空気の読める人なら、すべてに○を付けるでしょう。市民の意識調査を行なうのが目的であれば、「この中であなたが最も許せないと思うものを2つ(あるいは3つ)選んで下さい」といった設問に変えた方が良くと思います。子育てと介護に対する支援が増えれば、男女共同参画は進みます。そこに焦点を絞って、活動していただきたいと思います。
54	男性の意識改革や女性の自覚促進は困難。子どものうちに教育し、子どもから大人(親)に伝えていく方がまし。大人の意識や行動を変えるには、法律や制度で取り締まるしかないと思う。
55	世界の中で、日本人女性の人気はナンバー1. ところが、日本人男性は…。やはりこの国では、男は本当は魅力に欠ける。それなのに古くからの男性優位の教育、慣習、伝承、ならわしなどにより、男は守られてしまっている。世界では戦える男、世界を渉りあえる世界の女性にも男性にも認められる男が、そうならなければ、実は男女共同参画は絵空事になる。つまり、成功のカギは男がより男らしくなることである。
56	男女は平等ではないと思います。男女は差別されて当たり前だと思います。なぜなら、それぞれの役割が全く違うからです。どちらが偉いというわけではありませんが、男女共同参画という男女を同じステージの上に乗せ、平等に物事を行なっていくとすることでしょうか。男女は、それぞれ違った部分で、優劣があり、同じステージに乗せようとする事自体がまちがっていると思います。男は男らしく、女は女らしくあるべきだと思います、何でもかんでも、平等に…というのなら、男女共同参画に意味は有りません。ない方がましです。
57	この質問が、よく考えられていない内容も多く、担当者の方の知性を疑う。担当者こそ、固定概念のとりこになっているように思う。3,000人抽出は統計学上、無駄である。統計学の専門家に相談されたし。
58	この問題に限らず感じるのですが、(結果の)平等を謳うものばかりの感があります。本当に必要なのは「(機会の)公平」ではないでしょうか？社会に参画する機会(待遇も含め)公平であれば、「男女平等」にも繋がると考えます。
59	今後さらなる高齢化社会が進行する中、つつい高齢者に対する支援が(行政の)多くなると思われませんが、社会的な整備が整うには、まだいくつもの課題があると思います。現実としては、家族がみることが多く、特に女性の負担はこれから益々高まるものと思います。女性が出産、育児、社会進出をするためにも、育児、介護のバランスの取れた行政支援をお願いします。
60	今後、協力できることがあれば、参加したいと思います。
61	公的機関、上場企業には、男女共同参画という意識があっても、中小企業は、まだまだ男性社会です。そういうところから、意識を改善してほしいです。(中小企業、地域企業で働く女性は多いはずです！)
62	「男女共同参画」を、もっと市民に対し宣伝が必要と思います。このアンケートで初めて知りました。アンケートのため、詳しい内容(どのような社会環境にしたいのかなど)は分かりませんが、かなり根の深い問題もあるようで、時間と労力の掛かることと思いますが、頑張って活動を進めて下さい。
63	男女問わず、金銭的問題(不況)、生活費の問題に追われ、日常生活で疲れています。地域活動(自治会のゴミ当番)などで精一杯で、社会に協力して他人の手助けができる経済的(時間を持てる余裕のある生活)に市政が目を向けていくことからスタートして下さい。

40歳代<女性>

64	正直に申しますと、今回のアンケートによって初めて、男女共同参画を認識しました。今後、センターを利用してみようと思いました。
65	とにかく、DV、モラル・ハラスメントやパワー・ハラスメントなど、もっと多くの情報を発信してほしい。大阪や、東京などの対応などをしっかり研究して下さい。いま現在、困っている人は大勢います。
66	時代が変わっても、夫などの家事、育児の協力の考え方が昔とあまり変わらない。なので特に、今の時代、共働きをしている人たちにとって保育園、幼稚園の受け入れ月々の支払いなどをもっと考えてほしい。それと、これは関係ないかもしれませんが、世の中お年寄りが増えていきます。ひとり暮らしで、毎日何の楽しみもない、お金も趣味もないという方の相談窓口や無料で(収入の少ない年寄り)出入りできる施設、1日そこで楽しめる、または夕方まで過ごせる施設を設けてほしい。ひとり暮らしで1日中家にいて、鬱になりそうとか、暗い気分を楽にできる、雑談の場所でもいいので、そんなところを造ってほしい。若しくは、年2回～3回でも、市の職員で、そういう課を設け、ひとり暮らしのお年寄りのところへ、悩みだとか、相談事を聞いてあげるようにして下さい。皆、遅かれ早かれ、歳はとります。
67	60代以上の男性(父親くらいのひと)に男性優位の考え方の人が多くみられます。我が家では、父も家事や庭の手入れなど、定年後してくれています、「めずらしい」と友達に言われます。子ども(男の子)は、それぞれひとり暮らしをしていますので、家事などががんばってやっているようです。
68	このようなアンケートに答えられたことは、日頃から身につまる問題だけに、良かったと思っております。私は、子どもに恵まれず、いまはフルタイムの仕事(20歳からずっと)をしております。積極的に不妊治療をしなかったのは、自分の考えもありましたが、子どもを育てながら働き続けるということが、とてつもなく難しいように感じたからでした。私より若い女性の方が、仕事と育児、家庭生活を両立してできるよう、社会が変わることを望んでおります。ノルウェーのような国の施策を見本にしたらどうでしょうか？
69	昔人間かもわかりませんが、あまり男女共同参画には力を入れなくても自然のままでもいいと思います。それぞれの家庭、それぞれの会社に応じた方法で良いと思います。我が家は、自然体で子ども(男)も祖父、夫も料理も洗濯も手伝ってくれます。
70	男女の肉体的な違いについては、根本的に違う。互いに、互いを認め合い、共に社会を動かしていければよいと思う。
71	男性の意識を変える組織的な取り組みを考えていただきたい。家事に縛られている女性を解放するために、家庭内の役割について、明確に男女が契約を取り交わし、婚姻の際に法律の下、同意すべきである。あいまいになりがちな男女の家庭内における決定権を、両者の間で明らかにすべきである。行政もそのバックアップをしてほしい。
72	男女平等といって、女性だけが、家庭でも職場でも2倍も3倍も苦勞しなくてもよい世の中になるように、社会全体で意識を変えていく努力をしなければならないと思います。
73	男女平等というのは建前で、実際はまだまだ男尊女卑の風潮が残っていると思います。特に年配者の方に根強く残っていて、自己主張をする女性に対して攻撃的ですからあると思います。それがなくなれば、男女平等のよい社会になると思うので、これからの行事などに期待しています。

74	男性にも女性にも、相手に言いたいことはあると思うが、相手のことも考え譲り合いと協力がうまくいくようになれば、子どもも増え力のある子どもが育つと思います。教育は国力に繋がると思うので、結果自分たちの生活を守ってもらうことにもなる。男性は女性を、女性は男性を大切に、親や子どもを大切にできる社会環境が必要である。
75	私には、あまり理解できませんが、身体の違いがあるように、男女がすべてのことに同様レベルでできるとは思えません。自分が自分の能力に合った生き方を見出し、周りの人々がそれに協力し合える地域、家庭、社会であってほしいと思います。売春や雑誌などの仕事についている人は、自ら選んでいるのだと思うし、喜んでいる男性がいるからで、それはそれでその人の生き方であると思います。
76	三つ子の魂、百までという言葉もあるように、小さい頃に刷り込まれた観念は消せません。小さい頃から男も女も平等であること、女も仕事をすべきこと。結婚すれば、永久就職という妄想を捨てること。男も女も、経済的に自立し、家事、育児ができて当たり前という教育を施すことが大切。(今の大人には、いくら言っても馬の耳に念仏です)
77	「差別をなくそう」と啓発して差別はなくなりますか？「交通事故をなくそう」と啓発して事故はなくなりますか？啓発ポスターやパンフレットは意味がない。「男女平等」もしかり。例えば、諸外国の交通事故防止のCM(顔に事故でできた傷がある危機感を植えつけるもの)が必要。優先順位をつけて、予算、仕事を配分して下さい。ポスター、パンフレットは税金の無駄です。回覧板が回ってきても、誰も読んでいません。
78	私の世帯は、母子家庭ですが、ある程度2人の子どもが(小6, 中3)大きくなってからの離婚だったので、経済的にも、精神的にも、それほど困難なことはなかったように思いますし、現在は2人とも社会人となり、私自身も、自分の生活を楽しんでいます。しかし、小さい子どもを抱えて、母子家庭の母親は就職すること自体が困難で、貧困に困っている世帯が多いと思います。養育費もない家庭も多いので、まずは母子家庭の母親の安定した就業を支援してほしいと思います。私自身は若い頃から、パソコンの資格があったので、それを生かした職はある程度、年齢が40以上でも実務ができれば就職はできますが、専業主婦の人が、就職する時は、即戦力とはいかないので、会社側にメリットがなく、(子育て中なら欠勤も多いので)なかなか就職活動も難しいと思いますので、そのあたりの支援も進めていく必要を感じます。
79	質問があまりにも難しすぎて答えにくかったです。普段、平凡に過ぎていく毎日の中で、何も考えず生きてきたこと、男女共同参画に対して、いろいろな考えがあるのだと思いました。毎日が不幸なく過ごせること以外、何も望みません。
80	男女平等という考え方は、大切だと思います。すべて平等とすることができないもの(性別上の役割)があるのも事実です。男らしさ、女らしさは、差別ではなく、それぞれだけができることをきちんと理解した上で、男女関係なく助け合う社会であってほしいです。
81	女性しか「出産」(女性が男性に「次はあなたが産んでね」と言えない)できないので、平等は無理だと思うが、「公平」なら可能と思われる言葉を「公平」に変えた方がいいのでは？男が上、女が下の前提で、話が進みすぎている、違う場合も想定した方がよい。弱い男性がどんどん住みにくくなる。いきなり送りつけられたこんな大変なアンケートに協力したのに、感謝の念がたりないです。「無作為」の方法や、結果をどう使うのかの説明も足りないです。広報すずかに載せるのですか？

82	個性は、性差を越える、といつも思っています。私は育休(1年間)を取りました。子どもとゆっくり向き合えたので、新しい気持ちで仕事に戻りました。母乳育児もできました。育休は、就労の考え方や姿勢に変化をもたらせたと感じています。働きたいと考えている女性が、働き続けてゆくことの壁は、いくつもありますが、その状況もそれなりに楽しむ位のゆとりがほしい。常々感じています。
83	子どもの頃からの教育が大切だと思います。男には男にしかできないこと、女には女が得意とするところはありますが、男だから、女だからと決め付けるのは良くない。何でも協調性が必要と感じています。

50歳代<男性>

84	私の父親が健在であった頃は、「男子、厨房に入らず」が当たり前で、台所にいると、「早く出ろ！」と言われたものです。また、家事手伝いなんて、大掃除くらいでしたが、自分が家庭を持って、家内と休みの日に一緒に買い物に行ったり、私が暇な時は家事をしたりしています。時代の流れだと思えます。しかし、子どもから見て、父親はやはり、威厳があるべきだと思います。なぜなら、家族という船の船長が必要だからです。男女平等も必要ですが、あまり行過ぎるとシングルマザーなどが増加し、子どもの成長に良い影響を与えません。
85	男女共同参画以前に、自立できる若い男女の育成が重要と思う。
86	生活をしていく上で、一般生活を送るだけで(子育てを含む)お金が掛かり過ぎ。男女共同参画も必要でしょうが、もう少し、別の分野にも目を向けてほしい。
87	私は以前から知っていますし、研修にも過去参加したことがあります。これは、会社において、そのような機会を与えてもらったからであります。一般的な職業をお持ちの方は、仕事優先で、一日一日精一杯働いている中で、時間的な余裕もないのが現実であります。従いまして、まずは地域で、そのような講習などを何回も行なっていただき、例えば自治会単位で繰り返しやれば、参加しやすいですし、理解も得られやすいと思います。市の係の方も大変だと思いますが、地道な活動をお願いします。
88	男女共同参画社会の言葉の意味が、あまりピンときません。具体的に、こんなことをしています、(いっどこで)というのを教えてもらえれば、それを見て感想も言えます。社会だから、そういうものではないとしたら、今昔との比較を具体的に教えてもらえれば、その意味も分かってくると思うので、メディアなどを活用して、広くその行動をお知らせ下さい。
89	男女平等とは、一体何なのでしょう。男と女の役割は違うのでは？いまの世の中は、男女平等だと思っています。女性はやはり、子育てをしなければならぬし、男性は定年まで仕事をしなければならぬ気がします。女性も大変ですが、男性も大変です。
90	男女共同参画について、今回初めて聞いた。

50歳代<女性>

91	家族形態によって、違う立場、違う考え方があるし、生活形態によっても違う立場、考え方があると思う。無意味にならないよう、様々な情報提供は必要だと思うし、「考える」ことは大事なことだと思う。自分の考えを、自分以外に伝えることは、とても難しいと感じた。
----	---

92	私は、高校卒業後就職し、ずっと同じ会社で働いています。仕事も子育ても大変忙しく、残業も多く、家に持ち帰ってでもやり遂げるよう努力しました。会社でもパートの方がいっぱいいますが、働き方、考え方が甘い。これは、男女の差ではなく、個人の考え方の違いがあると思います。子どもたちも「お母さん、がんばって！」と言ってくれます。今年社会人になった娘は、お母さんのように、ずっと働きたいと言っています。
93	女性が経済的に自立することはなかなか難しいので、社会的な公的支援期間が、絶対に必要だと思う。それを利用できるだけの職場環境も同時に必要だと思う。加えて出産、育児はあらゆる面で心理的なものも含めて支援が必要だと自分の経験から切実に思う。自分にもう少し余裕ができれば、何らかの形で協力したいと思う。
94	時代に逆行しているかもしれませんが、若い時から一生懸命仕事をし、家事もこなしてきましたが、いま思いますと、生活が苦しくとも主人を頼って家庭を大事にし、仕事はほどほどの方が良かったようにも思います。
95	男女共同参画という言葉は、初めて聞きました。何もわからないので、もっとPRして下さい。よろしくお願いします。
96	まだまだ、社会全体で男女に対する偏見があると思います。特に、年配の方については、昔からの考え方が色濃く残っています。いまの子ども達は、それなりの教育を受けているので、将来的には良くなっていくのでは…と期待しています。男女の意識、特に女性自身の意識が低いのでは？とも思います。DVについては、女性側にも問題があるのでは？特に服装の乱れが気になります。女性がしっかりしていなくては、身分が向上しないと思います。
97	女性の労働力が男性と違うことが一番大きい。子育て、学校教育があっても、確実にその他の時間、子どもたちを見て育てなくてはならない、基本どおりにいかない。女性に向く職業に力を入れるべきと思う。核家族では、子育てが対応できない。2世帯、3世帯で子育てすれば、子どもも豊かに育つと思います。今の社会、子育ては保育所、学校などにウェイトを置きすぎて、仕事に出て、お金を得て豊かな生活を優先しているように見えます。今はまだ、女の甘えがあるように思います。男性は生活のためによく働いて見えます。
98	すべてに余裕のある人は可能であろうかと思われるし、余裕をつくれないと無理であるかと思われる。余裕のある家庭をつくらないと、上記の参画に関して、すべてに至らなくなってくるであろうと思います。
99	男女は必ずしも平等ではないと思います。体力、精神力などは明らかに違うはず。性の特性を活かした考え方ができていますか？
100	三重県は特に男性が強い。女性もそれをいいことに甘えていると思う。男女共同参画なんて無理だと思います。男が抑えつけ、それに甘んじている女性がいる限り。(他府県から来た者にとっては)
101	フルタイムで勤めていますが、職場では男と女は同じ年数勤めていても、給料は全く違います。公務員以外はどこでもそうだと思います。仕事をしていて、家事、子育ては女の仕事は当たり前です。男の人の協力は、これからの人は必要だと思います。
102	初めてのアンケート参加ですが、何も知らず申し訳ありません。利用もしたことがないので、企画案には参加したいです。

103	男性も女性も、互いに尊敬し、大事に思うことができるようになったらうれしいです。そのためには、まず家庭の中がうまくいくといいです。
104	このようなアンケートを取られたのなら、少しずつでも実行に移し、皆が住みよい社会にしてほしいものです。私たちの職場でもよくあることですが、アンケートはしたものの、改善に移さない。あのアンケートの結果はどうしたのかと聞くと、ただ声が聞きたかっただけとか、そのようなことにならないことを期待しています。
105	関心はありますが、活動内容などを身近に感じたことがあまりありません。人権から見た様々な企画もあるでしょうが、日常生活全般の様々な事柄に、人権を見るような活動がもっと増えたらと思います。趣味(音楽、スポーツ、絵画など)や、職場、介護、衣食住、誰もがどこかで目や耳にする機会があるように思います。更なる発想の転換とおもしろさを期待しています。
106	男性に見直しと言うよりは、家庭それぞれの家での話し合いだと思う。女性もいろいろな面に対し積極性と努力が必要、甘えがあると思います。
107	団塊の世代には、考えさせられる質問ばかりでした。「いまの若い者は？」とよく耳にしてきましたが、女性側には、ありがたいようで、男性側には、厳しい現実のような気がします。核家族が当たり前のような時代、改めて夫婦の話題になり、少しでもライフプランの参考にしていければと思いました。
108	私は、男性が働き、女性が家事という役割分担を悪いとは思わない。女性は、子どもを産み育てる間、ゆったりとした気持ちで育てればよい。男性が家事をする、しないは、それぞれの仕事を理解し、助け合えるかという根本的な人間性の問題である。家庭での男女平等と会社での男女平等は別ものだと思う。会社で、パートの経験はあるが、働いていない私は、会社のことは分からない。男女平等の行き過ぎのケース。ジェンダー:学校では男の子に「くん」、女の子に「ちゃん」と呼ばずに、皆「さん」付けだとか、女性がピンク、男性がブルーの色分けは性差別だとか、これは馬鹿げた平等感である。もっと本質を見るべきだ。

60歳代<男性>

109	まず、最近の女性は意識改革が必要。(どこに行っても、女性がグループばかり)例外は旅行、食事など。会話の内容にも考えさせられる。
110	だいぶ世の中も変わってきたが、まだまだ慣習が地区によって、しきたりの強い部分がある感じだ。難しいところはありますが、男と女とは基本的に異なることがわからない。人にとって、難しい問題だと私は思います。
111	真心を込めて、愛情(本当の)で接するように、勉強して大きな心を育てて下さい。(ジェフリーすずかの方へ)
112	男女共同参画という言葉、私が思っていたことと、このアンケートが言っていることが違う、ゆえに意味が理解できない。
113	世界の政治の場においても、女性の進出がめざましい。日本も知事、市長がたくさん誕生し、今後の男女共同参画に希望が持てるのではと期待しています。
114	現在のように、あまりにも男女共同参画を強制するのは、逆効果のように思います。

115	男女共同参画を知ったのは、「ジェフリーすずか」の会場での講座参加で知りました。地域と密着した会合をして、男女共同参画の意義を訴えてほしいと思っています。
116	仕事場をなくすことばかりして、税金ばかり取って、60歳以上は現場で仕事をさすなど言って、月3万円の住民税は大変きつい。そういうところから、考えを直さないとダメだと思う。
117	地域による、難しさがあるとは思いますが、積極的に取り組み、分かりやすく説明してほしいと思います。
118	女のくせにとか、女は何々だからとか、まだまだ偏見の目で見るところが残っている感がある。男女平等にするには、家事や育児について教育などが必要ではないかと思う。
119	若い人が作成したので、カタカナが多いです。後行のものには、良いとは思いません。高齢者もいます。「ジェフリーすずか」ですが、カタカナだけで見る気がしません。
120	このような検討が真剣になされているとは知りませんでした。機会があれば、参加したいと思います。このアンケートのまとめも報告いただけるんですか？
121	「ジェフリーすずか」の用語が示すように、この種の団体に何か参加している人が、高く見えて、教養とか学識(本人が思っている?)がない者が受け入れにくい存在に見える。本当に困っている人が、敷居が高くて相談しにくいように思われる。
122	せっかくのセンターがあるのであれば、この施設の主旨の大いなるPR(目的、及び利用法など)、活動が少なすぎる。もっと、皆様に広く、知ってもらおう努力が必要です。当方も、道路を通行中に見かけて、気付いたくらいです。
123	男女平等でない部分の一例。収入が高くて、母子家庭には、手当がつき、収入が低くても父子家庭には手当がつかない？
124	頭の柔軟な子どもに、自立できる力を付けさせるのが良いと思う。料理、洗濯、掃除は、生活する上で必要だと思う。男女ともに小さい頃から徐々に身に付けていくのが良いと思う。だから、親子で参加できる行事を開いてほしいです。

60歳代<女性>

125	一応チェックはさせてもらいましたが、あまりわかっていません。申し訳ありません。今後気を付けていろいろな面で目配せをしたいと思います。
126	男女共同参画の意味を市民に対してもっとPRしていただきたいと思っています。
127	「ふれあいセンター」「ジェフリーすずか」他にもコミュニティが似た名前のところがあり、具体的にどこにあるのかわかりやすくしてほしい。このアンケートで何を求めておられるのですか？もっと他に方法があるのではないですか？お金の使い方をもっと考えられたほうが良いように思いました。
128	数年前に「ジェフリーすずか」を利用させていただきました。昭和23年生まれの私ですが、私達も勉強し、さらにレベルアップしたことは確かです。若い人々の意見を参考にいただき、いまの若者を一層研究することが大切です。アンケートは実施する事は望ましいですが、ベターであって、ベストではありません。20歳代～40歳代の世代研究をして下さい。

129	サークル活動の場の利用に限られている。本来「ジェフリーすずか」の発信が少ない気がします。知名度が少ないと思います。とても良いと思うことは、交流スペースの場、使用料が安価で、日曜でも利用できること。
130	男女平等といっても、身体の構造、体力の違いがあり、仕事も向き不向きがある。でも、今の女性は、どこか平等を履き違えて、男性が少し気の毒である。結婚しない、出来ないの原因が、そこにある様な気がします。つまり、女性が強くなり過ぎて、男性が自信喪失のようである。もっと男性らしく、女性らしくの教育を。将来、男女がうまく関わり合える社会を望みます。
131	男女平等というのは、当然のことと思いますが、身体的には、同じではありません。女性には、できない力仕事もあります。何でもかんでも平等といって、職場で男性を困らせている場合もあります。性差を考えた上での平等には大いに賛成です。
132	アンケートが反映されることを望みます。
133	なかなか難しい質問でしたが、アンケートに出していただきありがとうございます。
134	いままでほとんど理解していませんでしたので、これから少しは分かるようにしたいと思います。
135	家庭とは、まず2人から協力してつくっていくものだと思います。「ジェフリーすずか」ができたとき、箱ものがまたひとつ補助金などでできたのかな？と思いました。一年間の予算は幾らか知りませんが、男女平等が少し大げさでは。今の時代当たり前のことです。
136	男女共同参画はいいが、日本の古い文化も残し、男も女も平等に生活をする。
137	個人の意見としまして、共同参画センターに参加したくても、車に乗れないので、いつも思うようにことが進みません。ここ10年ほど前からは、周りを見てもほとんど女性が社会進出しているため、特別なこと以外は、生活していく上での自立(家事他)は、男女問わずしていくべきだと思います。
138	家族の絆が壊れてきている。自己中心的な考えで、個人の存在を尊重して、お互いに感謝し合う気持ちを育てたい。当たり前のことだけど、人は人から育てられる。老人が若い人に愚痴を言っていました。仕事のし過ぎで身体の痛み、若い人が気力をなくす言い方をしたりする、人生の先輩なのだから、良き導きを。
139	我々は、戦後の教育を受け、男はこうあるべき、女はこうあるのが良いと教えられて育った。叩き込まれた考えは、そう簡単には消えない。主人は、だいぶ家のことも協力できるようになったが、子どもの頃の教育方針が大事だと思う。外国のよいところは取り入れるべきだと思う。

70歳以上＜男性＞

140	鈴鹿市役所の管理職以上の男女比を、調査すれば、具体的な男女共同参画の答えが出るはずだ。アンケートは結構だが、本気で問題に取り組むための事例はいくらでもころがっているよ！
-----	--

141	人権尊重, 温かい感受性を教育の場で修身させる努力(教育), 家庭は男女平等の各々の立場を相互理解。コミュニケーション, 協力して実践することが大切(対人軽視はトラブルの要因)。女性の職場, 職場の仕事の内容によっては積極的に登用し役職につける(地位向上)。共働き女性職場に託児所を設置し, 女性の進出に協力するよう要請(企業対等・一部費用援助)出生率の低下, 将来への経済的不安の解消。漸次「男女共同参画プラン」に対して今後積極的に, 予算を計上投入して, 対応することが肝要だと思います。
142	男女共同参画なんて言葉は聞いたこともないし, 何をやっているところかも知らないのです。
143	まだ, 女性に対する暴力や嫌がらせなど, 多くの人が困っているのでは。そういう人が気軽に相談できる窓口がもっと必要なのでは。
144	いままでの回答どおり, 関心がありませんでしたが, 基本法があり, また県, 市にそれぞれ条例ができ, さらに「ジェフリーすずか」の施設まであり, その上今回のアンケートの実施…少し焦り気味ではありませんか。家庭教育, 学校教育, 社会教育が三位一体となり, じっくり時間(年月)を掛けなければ, 真の男女共同参画は実現しないのではないかと思います。
145	子どものしつけ方について, 親を教育する機会が必要だと思う。
146	妻が知的障がい者(重度)のため, 大変です。
147	スポーツの卓球のように, レベルを合わせれば, 男女の差がなく楽しく交流できる。レベルを合わせられる作業を見つけて, 楽しみながら働ける計画が望ましい。
148	地域の慣習が, 男性優位になっている。
149	鈴鹿市から発刊される書物の中で, 鈴鹿市男女共同参画についての情報が掲載されているのが少ないように思いますので, 私たち市民が男女共同参画に対する理解, 及び協力が得られるよう, いろいろな角度からの情報を知らせていただけるようお願い致します。

70歳以上<女性>

150	78歳の主婦ですが, 不勉強のためか, 「男女共同参画」といった言葉をあまり耳にしたことはありません。もっと, 時代に遅れないよう, 私自身が勉強することが必要かと存じます。
151	私には, ドメスティックとかバイオレンスの意味が分からない。
152	内容の意味が理解できない。
153	私は大正生まれで新しいことは勉強不足です。これから少し勉強してみます。
154	アンケートに丸はさせていただきましたが, 現代人と過去の人との差が, また考え方があまりにも違って, 生活しにくい。すべて若者に合わせるのが難しい。
155	70歳以上の年金生活者ですから, 当てはまらない箇所もあったと思います。これからの若い人たちへの希望も込めて答えました。

156	<p>私には、このことが何の意味があるのだろうか時代と共に何においても変化していくのだから、教育の場において指導し、また親のしつけで自然と身についていくもの。特別な部署をつくり無駄な人件費を使って一体何の成果がでるのでしょうか。これを作って夫婦が別れる割合が減ったとか明確な基準があればですが、何秒にひとつか結婚しても別れています。第一、何事も男と女の中、お互いに話し合い、世界中が仲良くする心豊かな人を作り上げる教育こそが大切だと思う。子どものうちは頭、身体が柔らかいから、何でも小さいうちに教える事だと思う。それに対しての教科をひとつつくるのはいかなものか。</p>
157	<p>皆責任をもって、自覚のある言動ができる人間として存在すれば、男だ女だと騒ぐ必要はないと思う。男女平等なんて戦後から言われてきていることなのに、いまだにこんな初歩的、基本的なアンケートを送りつけてくる低俗さは、いささかやりきれません。</p>
158	<p>少しだけ利用させていただいたことはありますが、まだまだ本当の男女共同参画とは何か認識不足のところがあります。私と同じような人のためにも、これからはもっとアピールしていただきたいと思います。</p>
159	<p>自分ももっと参加したいと思いました。</p>

Ⅲ 参考資料

(アンケート調査用紙)

男女共同参画に関するアンケート調査

調査ご協力をお願い

日ごろは、市政全般にわたり格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。鈴鹿市では、一人ひとりの生き方を尊重する社会を目指して、平成17年6月に基本計画「男女共同参画プラン」を策定し、男女共同参画社会の実現に向けて様々な取り組みを行っています。

このたび、この基本計画の見直しにあたり、男女共同参画に関する市民の皆さんの生活実態や意識について調査を行うことになりました。

この調査は、満20歳以上の男女3,000人の方を無作為に選ばせていただき実施するもので、調査結果は基本計画策定の際の貴重な資料として活用させていただきます。

なお、今回の調査結果はすべて統計的に処理します。皆さんにご迷惑がかかることはありませんので、率直なご意見をお聞かせください。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、アンケートにご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成21年5月

鈴鹿市長 川岸光男

【記入にあたってのお願い】

- 1 回答は、封筒のあて名の方がご記入ください。ただし、ご本人の考えを聞いて、家族の方が記入されても結構です。
- 2 回答は、選択肢の中から該当するものの番号に○印を付けてください。
- 3 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、案内にしたがってお答えください。
- 4 回答は、鉛筆、ボールペンなどではっきりと記入してください。
- 5 記入後は、無記名のまま、同封の返信用封筒（切手は不要です）に入れて
6月6日(土) までにポストへ投函してください。

■ この調査についての問い合わせ先

鈴鹿市生活安全部男女共同参画課（火曜日～土曜日 8時30分～17時15分）

電話 059-381-3113 （担当：北川、^{まさき}眞置）

はじめに あなたご自身のことについてお聞きします

問A あなたの性別は	1. 男性	2. 女性	
問B あなたの年齢は	1. 20～29歳 2. 30～39歳	3. 40～49歳 4. 50～59歳	5. 60～69歳 6. 70歳以上
問C あなたの職業は (産前・産後休暇、 育児休業中の人も、 働いているものと みなします。)	1. 勤め人(フルタイム) 2. パートタイマー・アルバイト 3. 派遣労働者 4. 農林水産業 5. 商工・サービス業 6. 内職・在宅勤務	7. 自由業(具体的に：) 8. 家事専業・家事手伝い 9. 学生 10. 無職 11. その他(具体的に：)	
問D あなたの居住地区は	1. 国府地区 2. 庄野地区 3. 加佐登地区 4. 牧田地区 5. 石薬師地区 6. 白子地区 7. 稲生地区 8. 飯野地区	9. 河曲地区 10. 一ノ宮地区 11. 箕田地区 12. 玉垣地区 13. 若松地区 14. 神戸地区 15. 栄地区 16. 天名地区	17. 合川地区 18. 井田川地区 19. 久間田地区 20. 椿地区 21. 深伊沢地区 22. 鈴峰地区 23. 庄内地区
問E あなたは結婚していますか	1. 既婚(配偶者あり)	2. 既婚(離婚・死別)	3. 未婚
問F (問Eで「1. 既婚」と 答えた方にお聞き します。) 配偶者の職業は	1. 勤め人(フルタイム) 2. パートタイマー・アルバイト 3. 派遣労働者 4. 農林水産業 5. 商工・サービス業 6. 内職・在宅勤務	7. 自由業(具体的に：) 8. 家事専業・家事手伝い 9. 学生 10. 無職 11. その他(具体的に：)	
問G あなたにはお子さんが いますか	1. いる()人	2. いない	
問H (問Gで「1. いる」と 答えた方にお聞き します。) 一番下のお子さんの 年頃は	1. 未就学児 2. 小学生 3. 中学生 4. 高校生	5. 大学・短大・専門学校 6. 社会人 7. その他(具体的に：)	
問I あなたのお宅の 家族構成は	1. ひとり暮らし 2. 夫婦だけ 3. 親と子	4. 親と子と孫 5. その他()	

I 男女平等意識について

問 1 あなたは、「男女共同参画」という言葉を知っていますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

1. よく知っている
2. 少し知っている
3. 聞いたことがある程度
4. 知らない

問 2 あなたは、次にあげる①～⑦の分野において男女の地位が平等になっていると思いますか。各項目ごとにそれぞれ1つ選んで○印をつけてください。

	女性が優遇 されている	どちらか といえば女性 が優遇され ている	平等である	どちらか といえば男性 が優遇され ている	男性が優遇 されている
①家庭の中で	1	2	3	4	5
②職場の中で	1	2	3	4	5
③学校の中で	1	2	3	4	5
④地域の中で	1	2	3	4	5
⑤法律や制度上で	1	2	3	4	5
⑥しきたりや慣習で	1	2	3	4	5
⑦社会全体で	1	2	3	4	5

問 3 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方がありますが、あなたはどのように思いますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない
5. 分からない

Ⅱ 家庭生活について

問4 男女の家事分担について、あなたの理想としてはどのような形がよいと思いますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

1. ほとんど女性がする
2. 女性が中心で男性が手伝う
3. 男女で平等に分担する
4. ほとんど男性がする
5. 男性が中心で女性が手伝う
6. その他（具体的に： _____)

問5 出生率の低下が社会問題となっていますが、あなたは何が原因だと思いますか。次の中から2つまで選んで○印をつけてください。

1. 子どもの教育にお金がかかるから
2. 仕事をしながら子育てをするのが難しいから
3. 育児に身体的・心理的に負担がかかるから
4. 晩婚化など年齢的な理由から
5. 結婚しない人が増えているから
6. 自分の趣味やレジャーと両立しないから
7. 家が狭いから
8. その他（具体的に： _____)
9. 分からない

問6 一般的には、子育てをしている人の多くが女性といわれていますが、これについてあなたは
どう思いますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

1. 女性が子育てするほうがよい
2. 男性が子育てするほうがよい
3. 男性・女性どちらが子育てしてもよい
4. 男性も女性も共に子育てする方がよい
5. 分からない

問7 あなたは、子どものしつけや教育についてどう思いますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

1. 男の子は男らしく、女の子は女らしくしつけたほうがよい
2. 同じ様にしつけたほうがよい
3. どちらともいえない
4. その他（具体的に： _____)

問 11 (問 10で「1. いる」と答えた方にお聞きします。)

その人の世話は主にどなたがされていますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。
(*高齢者からみた続柄でお答えください。)

- | | | |
|---------|----------|-----------------|
| 1. 夫 | 5. 娘 | 9. ホームヘルパー |
| 2. 妻 | 6. 娘の夫 | 10. 老人ホームなどの施設 |
| 3. 息子 | 7. 子ども全員 | 11. その他(具体的に:) |
| 4. 息子の妻 | 8. 親 | |

問 12 一般的には、介護をしている人の多くが女性だといわれていますが、これについてあなたはどう思いますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

1. 男性が介護をすべきである
2. 女性が介護をすべきである
3. 男性・女性どちらが介護をしてもよい
4. 男性も女性も共に介護する方がよい
5. 男女にかかわらず、主に実の子どもが介護すべきである
6. その他(具体的に:)

問 13 あなたは将来、主にだれに介護をしてほしいと思いますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

- | | | |
|---------|----------|-----------------|
| 1. 夫 | 5. 娘 | 9. ホームヘルパー |
| 2. 妻 | 6. 娘の夫 | 10. 老人ホームなどの施設 |
| 3. 息子 | 7. 子ども全員 | 11. その他(具体的に:) |
| 4. 息子の妻 | 8. 親 | |

Ⅲ 就労・職業について

問 14 あなたは現在、収入を伴う仕事(産前・産後休暇、育児休業中なども含む)をしていますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

1. 仕事をしている
2. 仕事をしていない

問 15 (問 14で「2. 仕事をしていない」と答えた方にお聞きします。)

あなたは今後、働きたいと思いますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

1. 働きたい
2. 働きたくない
3. 分からない

問 16 (問 15で「1. 働きたい」と答えた方にお聞きします。)

あなたは、どのような形で働きたいとお考えですか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

1. 正規従業員
2. パートタイマー, アルバイト, 非常勤
3. 派遣労働者
4. 自由業, 自営業
5. 内職
6. その他(具体的に:)

問 17 女性の職業へのかかわり方について、あなたはどのような形が最も望ましいと思いますか。

次の中から1つ選んで○印をつけてください。

1. 結婚・非婚や子どもの有無にかかわらず、職業を持ち続ける
2. 結婚するまでは職業を持つが、その後は持たない
3. 結婚して子どもができるまでは職業を持つが、その後は持たない
4. 結婚や子育てなどで一時的にやめるが、子育ての時期が過ぎたら再び職業を持つ
5. 職業は一生持たない
6. その他(具体的に:)
7. 分からない

問 18 女性が仕事を持ち続けていく上で、大きな障害と思われることはなんですか。次の中から

2つまで選んで○印をつけてください。

1. 男性に転勤があることや、男性の勤務時間が長いこと
2. 家族の協力や理解が得にくい
3. 結婚退職, 出産退職の慣習がある
4. 責任のある仕事を任せられない
5. 男性に比べて賃金が安く、職種も限られている
6. 保育施設の数や内容が十分でない
7. 高齢者や病人の介護がある
8. 女性自身の職業に対する自覚が不足している
9. その他(具体的に:)
10. 分からない

問 23 配偶者や恋人など親しいパートナーからの暴力（ドメスティック・バイオレンス）が、社会問題になっています。次にあげる1～10の行為がドメスティック・バイオレンスに当たることを知っていますか。あなたが知っているものを、次の中からすべて選んで○印をつけてください。

1. 何を言っても無視する
2. 交友関係や電話内容を細かく監視する
3. 「自分が家にいるときは外出しないように」と言う
4. 「だれのおかげで食べていけるんだ」と言う
5. 口汚くののしる
6. 生活費を渡さない
7. 殴るふりをして脅す
8. 殴ったり、蹴ったり、物を投げつけたりする
9. 避妊に協力しない
10. 性的な暴力をふるう
11. その他（具体的に：）

問 24 ドメスティック・バイオレンスと同じように、セクシャル・ハラスメント（性的いやがらせ）やストーカー行為（つきまとい行為）も問題となっています。次にあげる行為がセクシャル・ハラスメントやストーカー行為に当たる場合があることを知っていますか。あなたが知っているものを、次の中からすべて選んで○印をつけてください。

①セクシャル・ハラスメント

1. 不必要に肩や腰などの身体にさわる
2. 性的な冗談を言ったり、質問したり、からかったりする
3. 繰り返し容姿や体型のことを言う
4. 性的な誘いをする

②ストーカー行為

1. 尾行し、つきまとう
2. 拒否しているにもかかわらず、面会や復縁を迫る
3. 拒否しているにもかかわらず、何度も電話をかけてきたりする
4. その日の服装や行動をあなたに告げ、監視していることを気づかせる

VI 男女共同参画社会について

問 27 あなたが見たり聞いたりしたことがある言葉を、次の中からすべて選んで○印をつけてください。

1. 男女共同参画社会基本法
2. 三重県男女共同参画推進条例
3. 鈴鹿市男女共同参画推進条例
4. 女子差別撤廃条約
5. 積極的改善措置（ポジティブ・アクション）
6. ジェンダー（社会的・文化的に作られた性差・性別）
7. 女性のエンパワーメント
8. 男女雇用機会均等法
9. ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）
10. 見たり聞いたりしたものはない

問 28 あなたは、政治や行政において、政策の企画や方針決定の過程に女性の参画が少ない理由は何だと思えますか。次の中からあてはまるものすべて選んで○印をつけてください。

1. 家庭，地域，職場における性別による役割分担や性差別の意識
2. 男性優位の組織運営
3. 家庭の支援・協力が得られない
4. 女性の能力開発の機会が不十分
5. 女性側の積極性が十分でない
6. 女性の活動を支援するネットワークが不足している
7. 女性の参画を積極的に進めようと意識している人が少ない
8. その他（具体的に： _____)
9. 分からない

問 29 生活の中での、仕事・家事・プライベート（趣味など）の優先度について、お伺いします。あなたの「希望」の優先度と、「現実」の優先度について、一番近いものをそれぞれ 1 つ選んで、○印をつけてください。

	仕事優先	家事優先	仕事と家事優先	プライベート優先	仕事とプライベート優先	家事とプライベート優先	仕事・家事・プライベートを両立
①希望	1	2	3	4	5	6	7
②現実	1	2	3	4	5	6	7

問 30 男女共同参画社会を実現するためには、今後どのようなことが必要だと思えますか。次の中から3つまで選んで○印をつけてください。

1. 古いしきたりや慣習への対応
2. 子どものときからの男女平等教育
3. 女性の社会参加・参画の促進
4. 女性の政治・行政への参加・参画
5. 女性の職場への進出
6. 女性の自覚と努力
7. 男性の協力と理解
8. 男性に対する啓発
9. 法制度の整備
10. 国、地方公共団体の積極的な施策の展開
11. メディア（新聞、テレビ等）の協力
12. その他（具体的に： _____)
13. 特にない

問 31 男女共同参画を推進していくために、今後、県や市はどのようなことに力をいれていけばよいと思えますか。次の中から3つまで選んで○印をつけてください。

1. 男女平等を目指した法律・制度の制定や見直しを行う
2. 女性を政策決定の場に積極的に登用する
3. 各種団体の女性リーダーを養成する
4. 職場における男女の均等な取扱いについて周知徹底を行う
5. 女性の職業教育や職業訓練を充実する
6. 保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実する
7. 学校教育や社会教育・生涯学習の場で男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する
8. 女性の生き方に関する情報提供や交流の場、相談、教育等のセンターを充実する
9. 男性に対する意識啓発や研修を充実する
10. 広報紙やパンフレットなどで、男女の平等と相互の理解や協力についてPRする
11. その他（具体的に： _____)
12. 特にない
13. 分からない

VII 鈴鹿市男女共同参画センター「ジェフリーすずか」について

問 32 あなたは、鈴鹿市男女共同参画センター「ジェフリーすずか」をご存じですか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

1. 利用したことがある
2. 名前は知っているが利用したことはない
3. 知らない

問 33 (問 32 で「1. 利用したことがある」と答えた方にお聞きします。)

あなたはどのようなかたちで男女共同参画センター「ジェフリーすずか」を利用しましたか。次の中からあてはまるものすべて選んで○印をつけてください。

1. ジェフリーすずか主催の催し物や講座に参加した
2. ジェフリーすずか以外の主催の催し物に参加した
3. 自主的なサークル活動の場として利用した
4. 印刷機を利用した
5. 図書コーナーを利用した
6. こどもの部屋を利用した
7. 弁護士相談や電話相談を利用した
8. その他(具体的に：)

問 34 あなたは、鈴鹿市男女共同参画センター「ジェフリーすずか」のホームページをご覧になったことがありますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

1. はい
2. いいえ

問 35 今後、男女共に利用できる施設として、男女共同参画センター「ジェフリーすずか」に何を充実してほしいと思いますか。次の中からあてはまるものすべて選んで○印をつけてください。

1. ホームページや広報誌等で様々な情報を提供してほしい
2. 親子が一緒に参加できる催し物や講座をしてほしい
3. 地域で活動しているグループを支援してほしい
4. 男性が自分自身の生活や意識を見直し、変えていくための講座をしてほしい
5. 地域に出向いて講座をしてほしい
6. その他(具体的に：)
7. 特にない

VIII 男女共同参画に関して、ご意見がありましたらご記入ください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

アンケートは以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。
なお、ご記入の調査書は、平成21年6月6日(土)までに、同封の返信封筒に入れて返送してください。

鈴鹿市男女共同参画に関するアンケート調査報告書

平成 22 年 3 月

鈴鹿市 生活安全部 男女共同参画課

〒513-0801

三重県鈴鹿市神戸二丁目 15 番 18 号(かんべ再開発ビル 3F)

TEL 059-381-3113 FAX 059-381-3119

E-mail danjokyodosankaku@city.suzuka.lg.jp
